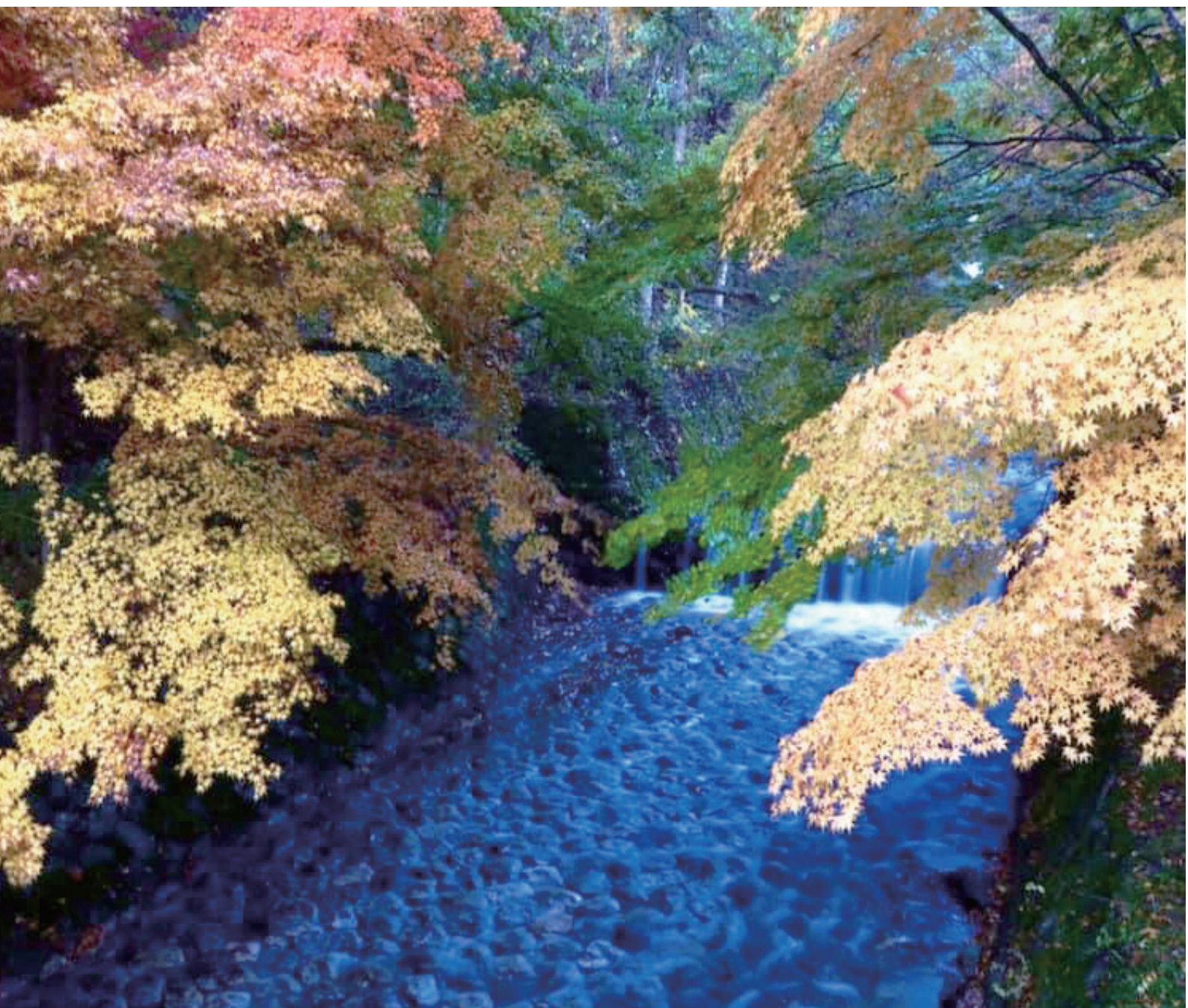


2026  
No.115

# 広報 ほねつぎ

公益社団法人 長野県柔道整復師会機関誌





巻頭挨拶

柔道整復師とは

- 2 柏木久明 会長  
4 後藤茂之 衆議院議員  
5 宮下一郎 衆議院議員  
6 井出庸生 衆議院議員  
7 若林健太 前衆議院議員  
9 宮下 厚 副会長・事業部長  
10 西條賢治 副会長・総務部長  
12 降旗秀徳 副会長・スポーツ支援部長  
14 石坂秀司 東信支部長・学術部長  
15 西條義明 北信支部長・保険部長  
16 木船 崇 中信支部長・広報部長  
17 西森六三 南信支部長・介護支援部長  
18 井出和光 理事・総務副部長

特集

- 19 中学校部活動から地域クラブ移行への現状  
20 部活からクラブ移行  
21 中学校部活動に関する地域移行の現状（佐久市の場合）  
23 中信地区中体連地域クラブ以降への今後の展望  
24 2023年から松本市内全中学校の野球部を合同チームに再編 “松本モデル” 「持続可能な部活を」模索続く地域移行  
25 南信地区での中学部活動 「地域クラブ移行」の現状

事業報告

総務部

- 27 （公社）長野県柔道整復師会と長野県医師会との懇談会開催  
29 令和7年度公益社団法人長野県柔道整復師会通常総会・長野県接骨師協同組合総会  
34 北信支部理事研修会  
35 事務職員退職式  
36 令和7年度 健保組合連合会長野連合会と（公社）長野県柔道整復師会との懇談会報告  
37 令和8年 関係官庁等新年挨拶まわり

保険部

- 38 令和7年度 第1回中信支部保険取扱研修会  
40 令和7年度北信支部保険取扱研修会  
42 令和7年度第1回東信支部保険取扱研修会  
43 令和7年度 南信支部保険取扱研修会

学術部

- 44 南信支部学術大会  
45 令和6年度東信支部学術大会を終えて…  
47 令和6年度 第51回長野県接骨学会  
51 令和7年度北信越学術大会福井大会報告  
54 有料セミナー「セラピストのための股関節セミナー」を企画・運営を通して得られたもの  
57 令和7年度 第41回中信支部学術大会

事業部

- 61 長野マラソン救護活動報告書  
62 「いってらっしゃい！」信州安曇野ハーフマラソン～安曇野市制施行20周年記念第11回信州安曇野ハーフマラソン救護活動～  
66 日本赤十字社長野県支部に寄付金寄贈  
67 令和7年度 日本赤十字社 長野県支部合同災害救護訓練  
69 令和7年度 松本市医療救護訓練  
71 第3回 佐久平ハーフマラソン 救護活動報告  
72 「第37回諏訪湖マラソン大会」救護ボランティア報告  
73 令和7年度安曇野市医療救護訓練

スポーツ支援部

- 75 第44回日整全国柔道大会を終えて  
77 第34回日整少年柔道大会  
79 第15回日整全国少年柔道「形」競技会・長野県予選会  
81 第44回日整全国柔道大会北信越ブロック予選会 in福井2025  
82 第30回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会南信予選会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会南信予選会  
83 第15回日整全国少年柔道「形」競技会  
84 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会 第30回長野県少年・少女チャンピオン大会東信予選会  
85 第30回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会  
86 第30回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会中信予選会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会中信予選会  
86 第30回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会南信予選会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会南信予選会  
87 2025年 スポーツ支援部 活動報告

介護支援部

- 97 介護予防事業報告【令和6年10月～令和7年9月】



## 北信越だより

- 100 NJS北信越ブロック親睦ゴルフ大会 夕食会
- 101 令和7年NJS北信越ブロック親睦ゴルフコンペ長野大会
- 102 石川県柔道整復師会創立100周年 社団法人設立50周年 石川県柔道整復師協同組合設立30周年記念式典・祝賀会
- 104 富山県柔道整復師会 社団法人設立65周年 富山県柔道整復師 協同組合設立20周年記念式典・記念講演会

## 支部だより

- 106 旭日双光章受章 高田保会員
- 108 長野県JSPO公認スポーツドクター協議会教育研修会 参加報告
- 111 第21回人体解剖学実習会参加報告
- 113 第45回北信越学術大会 福井大会
- 118 市民講演会 参加報告 演題「陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか」中央大学法学部教授 橋本基弘先生の講演を聴講して…
- 120 安曇野市市制施行20周年記念式典
- 121 長野県医師会様との親睦ゴルフコンペ
- 122 懇親談話会

## 会員紹介

- |          |          |       |
|----------|----------|-------|
| 123 北信支部 | さえき整骨院   | 佐伯 総太 |
| 124 北信支部 | すのはら整骨院  | 春原 大樹 |
| 125 中信支部 | 神田整骨院    | 碓井 裕平 |
| 126 中信支部 | 本庄泉の森整骨院 | 西脇 歩  |
| 127 南信支部 | 稲丘鍼灸接骨院  | 奥村 崇宏 |
| 128 南信支部 | いいだ整骨院   | 原 友仁  |
| 129 南信支部 | 増澤接骨院    | 増澤 孝信 |

## 会務報告

- 130 新入会員・会員の異動
- 131 広告

## 編集後記

138

# 柔道整復師とは

平成24年9月16日に日本医療福祉新聞社の発行した「営業法の解説」に、厚生省としての正式な見解を述べている。(これは昭和23年に厚生省の医務課現在の医事課で作成されたものの現代語版)

結論として、「本来は医師が当然行うべき医業の一部を免許により行うものである」こと、その業務は免許範囲内のものに限られる。営業法第一条は、国民医療法第一項に対する例外法、あるいは特別法として業務の範囲内において、医業の一部をなし得ることを規定している。

ここにいう免許は、医療禁止の一部解除を内容とする国家の行為であり、免許を受けた者は、夫々の業務の範囲内で医業の一部を行うことが許されることになる。そこで柔道整復師は、医業の一部を免許によって国から許された国家資格者である。

すなわち、柔道整復師は医業の一部を免許によって国から許されている柔道整復術について、国民が医療選択肢の一つとして理解できるように、自分たち柔道整復師も行政の行動を待つのではなく自分たちから情報発信するものである。

2014年の医療法の改正によって、医療法第6条の2の3項に「国民の責務」が盛り込まれた。「国民は、良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう、医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の提携の重要性についての理解を深め、医療提供施設の機能に応じ、医療に関する選択を適切に行い、医療を適切に受けるように務めなければならない。」

よって、国民が責任を負わされていることから、行政は国民のために、この条文に記載されている責務を果たすための必要かつ正確な情報提供を発信しなければならない。





## 回想・日整理事 立候補の動機

公益社団法人長野県柔道整復師会 会長 柏木 久明

公益社団法人長野県柔道整復師会の会員は元より業界、本会活動にご理解ご協力を頂いております関係者各位に感謝申し上げます。

さて、近年、我が業界を取り巻く諸問題は山積しておりますが、特に数年来、日常業務において重大なる懸案事項が2点ほどあります。

まず、第一に【併診・併給】についてです。『被保険者の療養費を柔整が請求した期間内に医師の診療を受けているので重複している日の療養費は支払いをしません』という保険者の対応です。

第二に、特に一部保険者による【過剰なる患者調査】であります。保険者側は療養費の適正化対策としておりますが、柔整側からしたら調査とは名ばかりで受診抑制にインセンティブ作用させております。

この2点については、本会の会員は必ずと言っていいほど苦い経験をされていることと思います。現状では個々のケースにおいて、各施術者、県保険部が対応しておりますが、保険者と柔整師との認識に大きな乖離が生じております。(あくまでも一部の保険者の認識ですので誤解の無いようお願いいたします。)

令和元年8月頃、私が公益社団法人長野県柔道整復師会の理事で保険部長として就任中に、会員から併診・併給の質問、要望がありました。

『患者が打撲・捻挫で医療機関を受診、その後医師の判断によらず自ら来院され、当該整骨院で施術を受けた。後日、療養費の支給申請に関して保険者から「医療機関で治療中の患者のため、整骨院に療養費を支払うことはできな

い』と言われ支給を拒否されました。保険者に支給拒否の理由を尋ねたところ、厚生労働省のHP『柔道整復師等の施術にかかる療養費の取り扱いについて』の「保険医療機関（病院、診療所など）で同じ負傷等の治療中は施術を受けても保険等の対象になりません」という文言が根拠になっているとのことでした。打撲・捻挫であっても保険医療機関で治療中の負傷等については療養費の支給対象外となるのか教えていただきたい。(全文)』

もっともな質問、要望ですので、【柔道整復師の施術に係る算定基準の実施上の留意事項】を根拠に関東信越厚生局長野事務所宛に問い合わせをしたところ、担当者から「本省に連絡、対応します」との回答でしたが、しばらく待っても一向に回答が無く、令和4年4月には併診・併給および保険者の不適切な患者調査等の説明、対応策相談のため関東信越厚生局長野事務所に赴き、健康保険法87条の保険者と柔整側の解釈乖離について、厚労省ホームページの不適切掲載、国会質問主意書、患者照会等について各資料を提示し、紳士的会談の末、柔整師側の解釈・主張の正当性は概ね理解いただきましたが、その場で決着が図られるものではないという共通認識に至りました。また、関東信越厚生局長野事務所の見解も上部組織での決着を薦められ、数年来解決されることのない、この2点の問題解決は県社団レベルではどうしようもない事と痛感致しました。

この時期に本会酒井会長は任期途中ではありましたが病氣療養のため会長を辞任致しましたので、筆頭副会長の柏木が本会会長を引き継ぎ



ました。このような長年の懸案を抱えたままの新会長となりましたが、我々の上部組織の日整を動かさなければ、全国で同じ思いを抱いている会員の苦境、心情を声高に訴えるべきだと思っていた時期ですし、日整の全国会長会での席上、併診・併給の返戻不支給については「俺たちは食い逃げにあっていようなものだ。全国の会長はどのように思っているのですか?」と啖呵を切ってしまった事もあり、口先だけではなく行動で意思を示そう、日整を動かそうとの一念で思い余って日整の理事選挙に立候補する決意を致しました。

日整の理事候補として選挙戦に出馬するということは一応、北信越ブロックの推薦を頂くことが慣例ですが、各県の会長は柏木の立候補に難色、反対を示しましたが私の決意は固く、北信越ブロック会の支持を得られずとも強硬に立候補するという決意が洪々認められ3名立候補体制となりました。結果的には3名の立候補者は全員当選致しました。

その後、私は令和5年の日整人事（職務分担）で長尾淳彦会長より総務部担当理事危機管理室長・保険部オブザーバー・社会保障審議会医療保険部会柔整療養費検討専門委員に任命されました。特に療養費検討専門委員を初理事に任命と厚遇を頂き、療養費検討専門委員会、日整理事会では事あるごとに前述の併診・併給お

よび支払い側の過剰なる患者調査等の問題点を、協定三者である甲（保険者・厚生局）、乙（都道府県知事）、丙（公益社団法人都道府県柔道整復師会会長）の柔整療養費の取り扱いの齟齬を解消するため、甲・乙・丙の代表者に対し、全国レベルでの会合の開催を理事在職中の2年間訴え続けてまいりました。特に長尾会長にはしつこく三者会談開催を訴えて参りましたが、残念ながら理事在職中に実現することは出来ませんでした。しかしながら、令和7年12月7日に開催された公益社団法人富山県柔道整復師会の社団法人設立65周年・協同組合設立20周年・記念式典記念講演会の日整会長講話において、柔整師が歴史的に制度等をグレーのままにしておいた弊害についても触れられた表現がありました。現在、私は残念ながら日整理事の椅子を手放してしまいましたが、このような認識を持たれているならば、日整として当たり前に明確な療養費の取り扱いについて、或いは保険者の過剰なる患者照会に毅然と対峙していくものと期待しております。

結びに、昨今、業界を取り巻く環境は相当厳しい状況となっておりますが、我々長野県柔道整復師会としましても、一致団結し諸問題について取り組んでいく所存でございます。引き続き御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。





## ご挨拶

自民党政調会長代理 雇用問題調査会長  
「こども・若者」輝く未来創造本部長  
元経済再生大臣 厚生労働大臣  
衆議院議員

後藤 茂之

長野県柔道整復師会の皆様方には大変お世話になり、有難く厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、柔道整復の進歩・発展と柔道整復師の資質向上にご尽力され、国民の健康・福祉に大きく貢献してこられました。柏木会長をはじめ、皆様のご尽力とご貢献に対し、深く敬意を表します。

現在、社会全体や医療分野のDXが進む中で、公的な関与の下に請求・審査・支払いが行われる仕組みとして、療養費のオンライン請求の導入が検討されております。併せて令和6年12月より、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行し、オンライン資格確認の導入が進んでおります。

このような動きが、施術所等の事務の効率化や施術のさらなる質の向上につながり、国民に良質な施術が提供されることを願っており、貴会のご協力には大変感謝しております。

また、今年は令和8年度柔道整復療養費改定に向けた検討を進めていきます。皆様のご意見を丁寧に伺いながら、現場の皆様がより良い施術をできるよう、検討を重ねていきたいと思っております。

さらに、ご承知のとおり、我が国はこれまでにない少子・高齢社会を迎えており、国民が安

心で、生き甲斐を持って暮らせる豊かな社会を築き上げることが重要な課題となっています。また、近年、国民の健康に対する関心が高まるとともに、健康サービスへの需要は多様化してきています。

このような状況の中で、傷病を抱える方々も含め、国民が生活の質の向上を図りながら安心して地域で暮らしていくために、柔道整復師の果たす役割は、引き続き大きなものと考えております。

長野県柔道整復師会の皆様におかれましては、地域に根差した取組を通じて地域社会にも貢献いただいておりますが、引き続き、良質な施術を県民の皆様提供いただくことを期待するとともに、これまでの輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、更にその真価を発揮なさっていくことを願う次第です。

私といたしましても、皆様と手を携えて柔道整復師が活躍できるような環境を整えられるよう、これからも努力を重ねてまいりますことをお誓い申し上げます。

最後になりますが、貴会の益々のご発展と皆様方のご活躍を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。





## ご挨拶

自由民主党長野県支部連合会会長 衆議院議員 宮下 一郎

長野県柔道整復師会の先生方におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素より、力強いご支援を賜っておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、先生方には、長野県における医療福祉の向上や、健康増進、青少年の健全育成などに大きなお力を頂いておりますことに、深く敬意を表します。

昨年は、憲政史上初の女性内閣総理大臣となる「高市早苗」政権の誕生や、大きな盛り上がりを見せた「大阪・関西万博」の開催、日経平均株価の「5万円」突破による最高値更新など、歴史的な転換期を迎える一年となりました。

私自身も、自民党の農業・林業政策の取りまとめ役である「総合農林政策調査会長」や、首都機能のバックアップ体制整備を図るための日本維新の会との実務者会議「統治機構改革協議体」の会長、また衆議院において災害対応や防災庁設置の審議を行う「衆議院災害対策特別委員長」など、様々な責任ある立場で精力的に活動を行ってまいりました。

本年も、引き続き国政において、大転換を迎える農業の構造転換を集中的に進め、食糧安全保障の確保を目指すとともに、頻発化・激甚化する地震や豪雨など自然災害への対応や、多極分散型国づくりと地方創生の推進に全力で取組

んでまいります。

柔道整復師の先生方は、日本の伝統医療を通じて県民の健康を守り、地域の皆様の信頼を得ながら100年以上の長い歴史を積み重ねてこられました。これからの人生100年時代を迎えるにあたり、誰もが健康で元気に暮らせる生涯現役社会の実現に向けても、健康寿命を延伸させるための日々の健康づくりや、重症化予防、外傷・疾患への適切な施術など、柔道整復師の先生方の役割が益々重要になっております。

また、人口減少や高齢化、過疎化や物価上昇等の影響により、地域の医療を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、こうした状況を踏まえ、「令和7年度補正予算」においては、「重点支援地方交付金」を活用した物価高騰支援策や、「令和8年度診療報酬改定」の効果を前倒しし、医療・介護・障害福祉分野の現場で働く幅広い職種の皆様の賃上げを支援する「医療・介護等支援パッケージ」などが盛り込まれております。今後も、先生方に益々お力を発揮して頂けるよう、環境整備に力を尽くしてまいります。

結びに、長野県柔道整復師会の益々のご発展と、県民の健康増進と地域医療の充実に日々ご努力を頂いている柔道整復師の先生方の更なるご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。





## ご挨拶

衆議院議員 井出 庸生

長野県柔道整復師会の皆様には、日頃より地域の健康を支えていただき、心より感謝申し上げます。整骨院・接骨院が、怪我や痛みを抱えた方々にとって身近な相談先となっていることを、私自身の経験や、地域を回る中で実感しています。施術の技術だけでなく、患者さんに寄り添う温かい姿勢が、私たちの暮らしを大きく支えてくださっています。

国会は、衆参とも自民党が過半数を大きく割り込む中、他党との連立や、政策ごとの連携による丁寧な議論が求められています。目の前のことだけにとらわれたり、党利党略に陥ったりすることなく、国民のため、国家のための政治を遂行しなければなりません。国会に送っていただき14年目に入りました。政策を進める力と学びを深め、同志にも恵まれてきたと思います。ご期待をいただくだけでなく、厳しいご意見にも向き合い、結果を出していきたいと強く思っています。今後も質実剛健、謙虚、不撓不屈の言葉を胸に、山積する国や長野県の課題を一つ一つ、地元の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

近年、柔道整復の療養費をめぐるっては、国でもさまざまな議論が進んでいます。療養費の適正化の名のもと、不正請求防止の強化や実態把握の徹底が求められる一方、現場で誠実に施術を続ける皆様の努力が、十分に理解されていないのではという危惧もございます。また、支給申請のオンライン化や施術録の標準化など、デジタル移行に向けた議論も加速しています。こ

うした動きは制度の維持には重要ですが、現場の負担を増やすだけの改革であってはなりません。必要な施術を必要な方に届けるという、本来の役割が損なわれないよう、丁寧な制度設計が不可欠です。

人口減少・少子高齢化が進む中、地域の医療や介護の現場は、より複雑な課題に向き合っていくことになります。医療費の増大という数字だけが先に取り上げられることがありますが、地域で暮らす人々が安心して生活できる環境をどう守るかを置き去りにしてはいけません。整骨院・接骨院は、施術だけでなく、介護予防や日常生活の支えとして重要な役割を果たしていただいております。その価値が制度の中で正しく評価されるよう、国政の場でしっかり声を届けてまいります所存でございます。

私自身、政治家を志した時から、有権者の皆様と同じ立場に立って声を聴き、地域の力を生かすことを政治の中心に置いてきました。医療や福祉も、現場の知恵と経験を尊重して制度をつくるのが大切です。柔道整復師の皆様が専門性を存分に発揮し、地域の健康づくりの中心として活躍していただけるよう、国政から支える役割を果たしていく決意でございますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、長野県柔道整復師会の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## ご挨拶

前衆議院議員 若林 健太

憲政史上初の女性総理大臣である高市早苗内閣が発足しました。「日本列島を強く、豊かに」というビジョンを掲げ、責任ある積極財政によって政策を前に進めていくとの訴えは、多くの皆様に受け入れられ、高い内閣支持率を維持しています。しかし、発足間もない高市内閣の人気は期待先行とも言えます。目の前の諸課題に、着実に答えを出して実績を重ねていかなくてはなりません。

グローバリズムの時代からデカップリングへと世界が変わり、米中二大国の対立を軸に、新たな秩序が模索されています。自由と民主主義を基礎とする陣営の主要な一員である日本は、海を隔てて目の前に中国・ロシア・北朝鮮といった独裁国家を抱える、地政学的なリスクを背負っています。東アジアの平和と安定に貢献していくためにも、日米安全保障条約を基礎として、わが国の安全保障体制を強化していかなくてはなりません。戦後、GDPの1%に抑えられていた防衛予算も、ついに2%までの引き上げが行われました。世界の真ん中で信頼される日本であり続けるため、外交・安全保障の体制強化が求められています。

第4次産業革命ともいわれるデジタル革命が進む中、人口減少社会においても、技術革新によって経済成長を実現していくことが求められています。サナエノミクスの挑戦が、いよいよ本格的に始まっています。「新しい資本主義実現会議」を改編し、「産業成長戦略会議」を設置。高市総理を中心に成長戦略が着実に進められています。総理大臣が交代してからというもの、自民党本部にも明るさが戻り、日本を強く

豊かにするために、皆が前向きに政策立案に奔走している空気を感じます。私も、一日も早く戦列に復帰し、日本とともに「北信に活力を」実現するため、汗をかいてまいりたいと考えております。

柔道整復師会は、日本古来の武術に根源をもつ柔道整復術を、西洋医学とは一線を画す東洋医学としての位置づけを守りつつ、国民に良質な医療と介護サービスを提供すべく、長年努力を重ねてこられました。100年を超える歴史の中で、多くの諸先輩方によって制度の発展・拡充に尽力されてきたことに、心より敬意を表します。

現代においては、規制緩和の流れの中で専門学校などが急増し、柔道整復師が大量に輩出されることで競争が激化。不正請求や悪質な事例の発生など、業界が抱える課題は山積しています。「医術は政治によって決められる」——この厳しい現実を前に、柔道整復師の先生方が政治にも積極的に参画していただき、自由民主党の有力な支援団体として確固たる地位を築いてくださっていることに、深く感謝申し上げます。私の初当選以来、有志の皆様により「健整会」を組織していただき、不定期ではありますが、柔道整復師会の課題についてご教示いただく機会をいただいております。本当にありがとうございます。いただいたご恩は、必ずお返ししてまいります。

厳しくも苦しい浪人生活の中、柔道整復師の先生方からいただくお励ましが、身に染みるように有り難く感じております。衆議院は常在戦場、いつ解散総選挙となるか分かりません。そ



の日に備えて、引き続き精進してまいることを、ここにお誓い申し上げます。

会員先生方のご健勝とご活躍、ならびに長野

県柔道整復師会のさらなるご発展を心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



## 健康が第一

公益社団法人長野県柔道整復師会 副会長・事業部長 宮下 厚

令和7年5月の県総会において、4期目の事業部長を仰せつかりました南信支部の宮下厚です。

私が平成23年から理事になって、早や14年が過ぎようとしています。まさかこのように長期間に亘り理事を務めることになろうとは思いませんでした。県の役員を務めるには頑張る忍耐力がないと駄目だと思いますし、特に健康に留意することが第一だと強く感じます。

私は40歳の時に市の健康診断を受けましたが、診断の結果「3～4項目位の数値が悪いですよ」と言われましたが、それ程気にしていませんでした。その検診以降ある事がきっかけで、毎年2～3回献血を70歳になるまで行い、約30年間で120回の献血回数となりました。送られてくる結果により、「数値が良く無いようなら医師の診断を仰ぐように」と言われましたが、病院へ行くことはありませんでした。

県の事業として、生活習慣病予防健診があります。事業部長就任を機に献血を行うことはやめてしまいましたので、代わりにその検診を受けるように切り替えました。この検診は日曜日に受けられることと、さらに細部にわたり様々な検査も同時に行えますので、たいへん有難く

感じています。幸い診断結果を保健師さんに見ていただいておりますが、今のところ大丈夫だと言っております。

毎年の検診の数値を見て、自分なりに食事と体重を特に気にしているので、毎日朝と夜に40分から50分の軽いジョギングをしています。我々は体が資本です。病気をすれば資本金が無くなりますし、元の資本金に戻るまでには大変な努力が必要です。

もし検診を受けられていない会員がおられましたら、年1回の生活習慣病予防健診を受けてみてはいかがでしょうか。病院の検診だと平日に休みを取って行かなくてはなりません。自分では大丈夫だと思っていっても、いつ急に病気になるかもしれません。そうなるのを極力防ぐためにも、予防検診を受けることをお勧めします。

私も74年間、大病もせずに元気でいられたのは、私を丈夫に産んでくれた両親のおかげだと感謝しています。私のこれからの目標は、現在1歳から20歳まで6人いる孫全員の結婚式に出席できるように健康で病気もせずに元気でいられる事です。会員の皆さんも目標を持って健康第一で過ごして下さい。





## ご 挨 拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 西條 賢治  
副会長・総務部長

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の総会におきまして、新役員が選任されまして早くも8か月が過ぎました。前年度に続きまして総務部長を拝命し、柏木久明会長を支えております。

総務部として、まず理事会及び理事研修会を開催し、関係官庁及び関係諸団体との連携を大切にしながら、(公社)日本柔道整復師会事業の目的達成に協力をして参ります。

まず関係官庁及び関係諸団体との関係構築がありますが、療養費の請求側と支払い側との乖離が問題であると考えております。過去において失われた柔道整復師の社会的信頼を回復するために(公社)長野県柔道整復師会として様々な機会を通して再生を図り、公益社団法人としての公益事業を理解していただくように努力をしております。

公益法人として県民の為に努力をしていますが、なかなか理解を深めていただけないのが現状です。しかし我々は諦めてはなりません。柔道整復師会を県民の皆さんに理解していただくためには、公益事業を通して知っていただくことが一番の近道と考えます。そしてその延長線上に地位の向上や業務の拡大があることを信じております。

具体的に一つの例として、県内健康保険組合連合会長野連合会との懇談会を通じて、お互いの立場を超えて保険行政の理解を深めております。先にも述べましたが療養費の支払い側と請求側との乖離を、できるところから歩みよいた

いと考えており、問題なのは一方的な保険者の言う柔整師の適正化であり、それは保険者自身の適正化でもあるべきと考えます。

もう一つは、県の医師会との関係構築です。昨年は、日本医師会副会長の釜范敏先生を会員の皆様の多大なる選挙協力によりまして参議院議員の全国比例区で国政に送り出すことができました。県医師会長の若林透先生から皆様にお礼の挨拶をいただいております。

さて、公益法人長野県柔道整復師会といたしましては、組織の充実と円滑な会の運営を目指し、努力しております。今後の課題としては、公益法人法の改定によりまして外部理事と外部監事制度の導入が決まっております。現在理事会の皆様のお力をお借りして定款の変更(案)を理事会で協議・決議のうえ、来年度の総会に提出する予定です。

内部におきましては、理事会の機能を最大限に生かすためにも、理事の皆さんのお知恵を拝借し、より一層内容の濃い理事会にしていきたいと考えています。そのためには事前に理事会資料に目を通していただき、意見や考えを持って参加していただきたいと思います。また、支部長を兼ねている理事の先生方は支部内での課題を取り上げていただきたいと思います。

最後に、毎年、会館の維持管理費も増えております。現在、各方面への資金対応もひっ迫しており、必要に迫られたところから順次対応しております。今後に不安を残すような問題も多々ありますが、会員のみなさまのご協力をいただきながら全理事、力を合わせ乗り越えてまいります。当然、公益事業等も定款の許す範囲

内で見直しも必要と思われます。色々とお願  
ばかりとなりましたが、会員の皆様におかれま  
しては、くれぐれもお体を大切にしてご活躍を

されることを祈念いたしまして、ご挨拶といた  
します。





## 公益社団法人の 今後の組織運営に当たり

公益社団法人長野県柔道整復師会 降旗 秀徳  
副会長・スポーツ支援部長

令和6年10月14日（月祝）メトロポリタン長野に於きまして、長野県柔道整復師会創立100周年、社団法人設立55周年の記念事業として、多くのご来賓をお迎えした式典と、質素且つ本来の懇談を目的とした懇親会が執り行われました。その後、令和7年5月18日（日）公益社団法人長野県柔道整復師会の通常総会にて理事承認を受け、柏木会長より副会長兼スポーツ支援部長を仰せつかり、もう直ぐ1年となります。会創立101年目が過ぎ、現在の立場で今後の公益法人の組織運営をどのように進めていかなければならないのか、毎日が自身の施術と公益の会務との間で模索する日々が続いています。公益社団法人として長野県柔道整復師会は、柔整療養費受領委任払い制度の健全な運用と、会員の信頼向上を目指していく必要があります。近年、医療制度の変化や社会的なニーズの多様化に伴い、柔道整復師を取り巻く環境も大きく変化しています。特に受領委任払い制度については、患者の利便性向上と事務手続きの効率化を両立させるため、会員への研修や情報共有の強化が求められています。

また公益法人である当会は、地域社会への貢献をさらに深めるべく、公益性の高い事業や啓発活動を積極的に展開していくことが重要です。今後は会員一人ひとりが地域の健康増進に寄与できるよう、行政や他の医療団体と連携しながら、信頼される専門職団体として成長し続けることが期待されます。持続可能な組織運営と時代に即した制度改革を通じて、柔道整復師会の未来を切り拓いていくことが求められています。

次に本会の会員組織率についてですが、地域の柔道整復師が一丸となって公益性の高い活動を推進するうえで重要な指標となります。しかし近年の少子高齢化の進展に伴い、会員の高齢化や新規加入者の減少がここ数年前から現実味を帯びてきており、組織率の維持・向上が課題となっています。このような状況に対応するため、若手柔道整復師への積極的なアプローチや、女性会員の活躍推進、地域密着型の研修・交流会の開催など、多様な世代やライフスタイルに合わせた入会促進策が必要です。さらに、福利厚生の実施や業界最新情報の提供、行政・医療機関との連携強化を通じて、会員にとってのメリットを明確化し、会員組織率の向上を図ることが求められます。また、少子高齢化社会に向けては、高齢者の健康維持・介護予防への貢献や、地域住民の健康相談窓口としての役割を果たすことが期待されています。これにより、地域社会からの信頼を高め、公益社団法人としての存在意義をより一層高めることができます。

個人契約や他団体の柔道整復師との差別化について、公益社団法人の会員であることによる信頼性や、最新の研修・講習会への参加機会、医療・福祉分野との連携による幅広い活動領域などが強みとなります。加えて、会員間のネットワークや情報共有体制、地域貢献活動への参加など、個人では得がたい価値を提供することが、今後の組織強化と差別化の鍵となるでしょう。

今年度よりスポーツ支援部長として長野県スポーツ協会や競技力向上対策本部の医科学専門

委員会の構成メンバーとなり、3回の医科学専門委員会へ出席し、2028年開催予定の「信州やまなみ国スポ」に向けて、長野県版AT（アスレティックトレーナー）養成事業について勉強させて頂いています。長野県柔道整復師会はスポーツ現場での安全管理や選手の健康サポートにおいて重要な役割を担うことが期待されています。特に柔道整復師としての専門知識やその技術を活かし、AT養成プログラムの企画・運営に積極的に関与することで、地域のスポーツ振興と選手のパフォーマンス向上に貢献できるよう、各競技団体との連携も推進しています。

今後は会員への研修や講習会の開催を通じて、ATに必要な知識や技能の向上を図るとともに、県内のスポーツ団体や教育機関との連携強化を進めることが重要です。また、大会期間中には救護活動や医療サポートの体制構築にも携わり、柔道整復師の専門性を広く社会に発信する絶好の機会となります。長野県柔道整復師会が積極的に関わることで、「2028信州やまな

み国スポ」の成功と、地域におけるスポーツ医療体制の充実を実現できるでしょう。

結びに、副会長に指名され、まだ1年も経過していませんがより責任ある立場としての重圧に、ふと逃げ出したくなることがあります。これまでもいろいろな事業に携わる中、一度引き受けたものを安易に放棄してしまうことは、柔道整復師という職種に対して、対外的な信頼を損なうものであると考え継続してきました。しかしながら前述の通り、その時代時代に伴い事業の見直しや新規事業への参入などについて、慎重に組織運営をせざるを得ません。公益の名の下、県民に不利益が及ばないように、療養費受領委任払い制度の堅持を掲げ、会員が気持ちよく保険請求ができるように行政・医師会・保険者・他医療団体等と良好な関係を継続し、次の100年に向け微力ですが、お役に立てるよう努力したいと思います。何卒今後ともご指導の程お願い申し上げます。





## これからの柔道整復師会の 取り組みについて

公益社団法人長野県柔道整復師会 石坂 秀司  
東信支部長・学術部長

私が長野県柔道整復師会理事に推挙されて、今年度で20年となりました。

初めて理事に就任した時、会長には今は亡き西條春雄先生、副会長には内山・阿部・高田先生というお歴々が顔を揃えておりまして、最初は何もわからず、理事会では隅っこでおとなしくしておりました。が・・・

私が一番年少で、私の上は元会長の高田先生がおられまして、いつも「お前は顔もデカいが、態度もデカい」と揶揄されていました。

この20年で一番の出来事は、やはり公益社団法人に移行した事でしょうか。日整が中心となって各都道府県の柔道整復師会を公益社団法人化して行きました（※日整が長野県柔道整復師会の公益社団法人化したと言う意味ではありません）。この時の会長は内山先生で副会長の酒井先生、高田先生、安藤先生たちがご尽力・苦勞されて無事公益法人移行されました。

また、この20年間での変化は、会員数の減少でしょうか。この問題は理事会でも話し合われていますが、これといった解決策は出ていません。一方で、社団外の柔整師は急激に増えてい

ます。本会でやっているボランティア活動が原因なのでしょうか？ 会費が高いのでしょうか？ 私は学術部長ですので、こちらの立場で言わせていただくと、これからの柔整師の地位を上げていくには柔道整復学の確立が急務ということで、ガイドラインの作成を行っています。それと同時に柔整師がレベルアップしなければいけません。

日整学術部では年4回「匠の技」講習会を実施しています。これは主に骨折・脱臼の整復・固定、エコー観察の実施などを積極的に公開しています（これらは県学会で発表しています）。

社団の会員であれば、支部・県・北信越と3回の学会に無料で参加できます。

個人の能力を高めるために他の学会・サークルなどに参加している人たちも大勢いらっしゃると思いますが、皆様のスキルアップを願っています。そして、公益社団法人 長野県柔道整復師会をさらに発展・拡張させて行きましょう。

こんな事が、社団社外の柔整師に届かないかなあ・・・。



# 柔道整復師の現実と課題

～三者協定を踏まえた柔療養費制度の  
信頼を次世代へつなぐために～

公益社団法人長野県柔道整復師会 西條 義明  
北信支部長・保険部長

柔道整復療養費制度は、長年にわたり地域医療の一翼を担い、国民の身近な存在として機能してきました。しかし現在、制度を取り巻く環境は大きな転換期を迎えており、柔道整復師を取り巻く現実決して楽観できるものではありません。保険者や行政の視線は年々厳しさを増し、制度全体に対する信頼そのものが問われています。

柔療養費は、施術者・保険者・行政による三者協定を前提とした公的制度です。本来、三者は対立する関係ではなく、それぞれが異なる役割と責任を担うことで制度の公正性と持続性を支えています。しかし現状では、施術内容や判断の根拠が十分に共有・可視化されていないことから、柔道整復師の専門的判断が正しく評価されにくい場面も少なくありません。いま私達に突きつけられている課題は明確です。柔道整復師の判断は、慣習や経験則に依存したのではなく、専門教育と臨床経験に裏付けられた職能判断であることを、記録と説明を通じて客観的に示していくことです。施術の適正性、患者への丁寧な説明、正確な施術録の作成は、もはや個々の努力目標ではなく、制度を支える最低限の責務といえます。また、療養費に過度に依存した業務構造から脱却し、柔道整復師本来の専門性と社会的価値を高めていく視点も欠かせません。制度が厳しさを増す今だからこそ、柔道整復師が国民から「必要とされ、選ばれる専門職」であり続けるための姿勢が問われています。保険部では、三者協定を制度運営の前提として正面から受け止め、研修体制の充実や情報共有を通じて、会員が適正な判断と対応を行える環境づくりを進めております。柔療養費の信頼は、一部の対応によって守られるもので

はなく、会員一人ひとりの日常の積み重ねによって築かれるものです。与えられた制度に依存する存在ではなく、現場から信頼を積み重ね制度と職域を自らの手で育て、未来を「受け継ぐ側」ではなく、「つくる側」として、挑戦できる領域があり必要とされる余地があります。柔整師の信頼を次世代へ確実につないでいくことは、今を担う私たちの責任です。

## 「次世代の会員の皆さんへ」

自らの可能性を信じこの道を選んだことに誇りを持てる未来を、自分たちが制度と職域をつくる主体になれる！正直に言えば、柔道整復師を取り巻く環境は、決して楽なものではありません。療養費制度は厳しさを増し、将来に不安を感じている会員も多いと思います。その感覚は決して間違いではありません。

しかし、柔道整復師という仕事そのものの価値が失われたわけではありません。人の身体と向き合い、回復を支え、日常生活を取り戻す手助けをする専門職は、これからも社会に必要とされ続けます。いま求められているのは、ただ施術ができる柔道整復師ではなく、自分の判断や施術をきちんと説明でき、信頼を積み重ねられる柔道整復師です。

これからの時代、制度は「守ってもらうもの」ではなく、自分たちの行動によって「信頼をつくっていくもの」になっていきます。皆さんには、柔道整復師の未来を受け身で待つのではなく、現場から新しい価値を生み出していく存在になってほしいと願っています。柔道整復師の未来を形づくりまします。本会は、その挑戦を支え、ともに歩んでいきます。



## 広報部長就任にあたり

公益社団法人長野県柔道整復師会 本船 崇  
中信支部長・広報部長

令和7年5月に開催された県総会におきまして、理事に選任されるとともに中信支部長及び、広報部長の役職を承りました。広報の意義を胸に微力ではありますが、今後は会務に真摯に向き合い活動する所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

柔道整復師会にとっての広報の役割は、「整骨院・接骨院と関係する地域の人々（患者さん）との良好な関係を作ること」だと言えるでしょう。

現在の世界を見渡すと、終わらない戦争、民族間の小競り合い、貧富の格差など、多くの国・地域に課題があります。国内においては初の女性総理大臣として高市早苗氏が就任しました。失われた30年と言われ疲弊した国力を再び上昇させるために、どのような政策を打ち出し新たな日本の礎を築くのか、国民の一人として今後の行方に関心を寄せています。

医療業界全体にも多くの課題がありますが、その中の一端を担う柔整はどういった活動が必要なのでしょうか。DX化による変革期中で、解決しなければならない懸案事項はありますが、それとは別に私はやはり会全体で今まで培ってきた公益活動を継続することだと感じま

す。地道ですが、行政や地域社会とのつながりを図り、多くの方々に柔道整復師を理解していただくことが必要と考えます。

毎年一回発行している広報誌『ほねつぎ』には、中体連やスポーツイベントへの救護活動、青少年の健全育成に寄与するための少年柔道大会の開催、介護予防事業に係る地域の皆様への健康指導、学会の際に一般聴講者へ向けた講演会等、年間を通じての公益活動内容を掲載しています。是非これからを担う若い世代の柔道整復師の方々には公益社団法人である当会の会員となっていただき、一緒に活動できるようになることを願っています。

私は平成13年7月に入会と同時に開業し、今年で25年が経ちます。このタイミングで理事及び支部長に就任したことは、自分の人生において何かしらの意味があるのだろうと思いながら、現在は目の前にある会務を確実に積み重ねていくように心掛けています。役に就いてから早や半年を過ぎましたが、まだ戸惑うことも多い反面、支部事業を一つずつ会員とともに進めることの達成感もあります。

今後とも会員の皆さまには、ご理解とご協力を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。





## ごあいさつ ～新理事・介護支援部長って～

公益社団法人長野県柔道整復師会 西森 六三  
南信支部長・介護支援部長

令和7年5月18日、公益社団法人長野県柔道整復師会通常総会におきまして本会理事に選任を頂き、柏木久明会長より南信支部長及び介護支援部長を委嘱され、理事1期目として本会の役員を務めさせて頂きます。諸先輩方のご指導を仰ぎながら、若輩者ではありますが会務を遂行していく所存です。

就任年齢62歳と歳を取りすぎでの就任と思うところではありますが、42歳より旧南信濃村の村議会議員になり政治の世界に足を踏み入れました。しかしながら「平成の大合併」にて飯田市に合併し議員失職となりましたが、飯田市は合併に伴い市民の自主参画型の地域自治制度の導入に踏み切り市内20地区に「地域自治組織まちづくり委員会」を設置、初代の会長として合併後の検証をさせて頂きました。その後公民館長に就任、令和3年4月より飯田市議会議員となり令和7年4月に退任しました。接骨院業務とかけ離れた世界に居り、当会の活動に対してはご無礼をしておりました。

私の志向は「先ずは自分が楽しいと思えることを考え、それが皆の楽しいことに成り得ることに進む」です。次の世代の会を背負っていただく先生方に良きバトンタッチが出来るよう会務に向き合っていきたいと思います。

個人的趣向は、山猟師と川漁師です。故郷へUターンして33年、猟師歴も同様となりました。祖父の代から数えてマタギ3代目でありライフル所持狩猟者の為、飯田市熊対策対応狩猟者としても手を挙げています。また、南アルプスを源流とする遠山川水系にて物心つく頃から溪流釣りをを行い、遠山川漁業協同組合副組合長を仰せ付かる程となりました。

南アルプスと遠山川に囲まれ、重要無形民俗文化財「霜月祭り」があり、浜松市との間で「峠の国盗り綱引き」を行い、ユネスコ協会のエコパーク・ジオパークに認定されている飯田市「遠山郷」にて、地域に根差した接骨院を目指し頑張っています。





## ご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 井出 和光  
理事・総務副部長

私は、鶴田隆理事の後任として、五月の県総会にて選任されました。理事を拝命した以上は、会員の皆様のために活動していきたいと思っています。

現状、我々を取り巻く環境は厳しさを増しています。私も閉塞感に押しつぶされそうになります。「柔道整復師とは何者なのだろう？」未だ結論は出ませんが、考え方の切り口として3つの視点から考えてみます。

### 【医療分野】

現代の医療は非常に細分化されています。柔整師の世界はいまだに明治を生きています。柔道整復師法はほとんど当時のままであり、現状と乖離しています。この法律が制定された当時は医療も未熟で、現在の整形外科という領域はありませんでした。しかし、整形外科が発展している今日でも柔整師は存在し続けていることは、国民から確かなニーズがある証拠です。柔整師の治療は、投薬や、外科手術を行わない、保存療法であり、自然療法という独自のものなのです。

### 【文化的側面】

柔道整復術は、連綿と日本で受け継がれて来た施療であり、日本固有の文化だと思います。

古くから武士が行っていた「活法」「殺法」に由来し、武術を教える道場を行う者により発展しました。明治時代に医療改正により消えかけたが、講道館柔道の創始者である、嘉納治五郎先生が西洋医学を取り入れた柔道整復師の基礎を築き、現在に繋がっています。私も柔道をやってきましたが、整復操作においては患者さんの状態を把握して施術をする。一連の動作は、柔道の技を掛ける運動原理と共通する部分が多いと感じます。柔道と医療の融合は文化的側面だと捉えています。

### 【人類への貢献】

今後、日本のみならず高齢化の波が押し寄せてきます。世間では「健康寿命」「フレイル予防」など良く聞かれますが、柔道整復師ほどこの分野に適した人材はいないと思います。また、発展途上国や災害現場などでも、電気を使わない治療として何処でも活動できる。AIが発達しても、実際に患者に触れて状況を診ながら判断できる。ローテクと言いますか昔ながらの施術ですが、「一周すれば最先端」となれば良いかと思います。夢は柔道整復の「世界無形文化遺産」の登録です。

# 中学校部活動から地域クラブ移行への現状

広報部長 木船 崇

現在の日本は、さまざまな分野で改革が必要とされていますが、標記についてもその一つと言えるでしょう。一昔前では考えられなかったことと思われませんが、これからの柔道整復師にとっても大きな関心事です。

現在の長野県の中学校の部活動はどうなっているのか、特集として限定的ではありますが、主に広報部が収集した情報とスポーツ支援部の情報をもとに、県や地域の現状をお伝えしたいと思います。

## 【長野県の現状と取り組み】

長野県では、2025年度までの3年間で改革推進期間として、公立中学校の休日の部活動から段階的に地域クラブ活動への移行を進めています。県が「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」を策定し、地域の実情に沿う推進計画を促しています。長野県中学校体育連盟（中体連）の大会には、すでに地域クラブからの参加が認められており、モデルケースとして長野市、松本市、岡谷市、南牧村などですでに事業が実施されていて、民間スポーツ教室、スポーツ少年団、合同部活動などによる地域クラブへの移行が進められています。市町村によっては、地域クラブ活動の体験会を開催し、子どもや保護者に多くの選択肢を提示することで、保

護者へ地域移行への理解促進を図っているようです。

## 【課題】

指導者の質と量の確保が課題です。各々の地域の指導者の掘り起こしや育成が大事なとは言ってもありませんが、それには金銭面も含めて進めなければならないでしょう。行政からの財政支援がなければ、指導者への報酬が家庭負担となり、本来は無償活動の部活動から、「習い事」化＝月謝が必要 となることへの懸念があります。しかし、その財源確保のため全国の自治体から国へ支援を求める声が高まり、国で根拠法となる法の整備の検討に入るとの報道もあります。今後の推移が気になるところです。

他に課題は活動場所の確保、生徒の移動（特に中山間地域）に関することがあります。文化系の地域クラブへの移行も、場所や指導者確保の面で難しく、検討段階にあることが多いようです。

県は教員の働き方改革と、さまざまな生徒の活動機会の保障との両立を目指し、地域全体で持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境整備に取り組んでいるようです。



## 部活からクラブ移行

---

北信支部 広報部 山内 明

数年前より中学校の地域クラブ移行が徐々に始まり、北信地域では今年の夏以降、ほぼすべての部活動が終了し、クラブへと移行されました。

（公社）長野県柔道整復師会を通じて、数年前より中体連（中学校体育連盟）の日曜日に開催されている大会において救護活動ボランティアを行っています。この秋の中学校新人体育大会では、野球、バスケットボール、バレーボールに関わらせていただきました。

野球は、春の時点でクラブに名前を変えて、出場しているチームが殆どで、元々野球部のない学校が集まり、数年前より活動していたクラブがあるため、他の中学校単位での変更もスム

ーズだったと思います。

バスケットボールは、夏までは中学校単独や合同チームで出場していましたが、新人戦よりクラブとしての活動になりました。ただ、住み分けをしているのか、クラブカップに出場しているクラブは新人戦には出場していませんでした。バレーボールも移行以前よりも前から、クラブ化が進んでいました。

物事を変えることは大変ですし、初めは、混乱が多いことは当然ですが、一番は大切なのは学生・子供が楽しく、切磋琢磨できるクラブ移行であってほしいと願いながら、日々の施術をしていこうと思います。

# 中学校部活動に関する地域移行の現状 (佐久市の場合)

## 【はじめに】

東信支部 スポーツ支援部 寺嶋 久程  
平成30年に働き方改革が閣議決定され、運動部活動の点においては、文部科学省スポーツ庁と文化庁の有識者を主体として、運動部活動の地域移行が徐々に進められるなかで、地域の人材確保、運営団体の確保、保護者の費用負担等の問題を解決するために、地域スポーツクラブや体育協会、地域スポーツ事業者等が、運動部活動の地域における受け皿の整備を行ってきました。

これまでは、学校教育の一部として、「日本一になりたい」「勝ちたい」「競技で勝てなくても部活動を頑張りたい」「友達を作りたい」等、様々な想いのもと中学校の運動部活動が行われてきましたが、学校での運動部活動が制限されていくなかで、「スポーツクラブでは費用が高いため通わせられない」「近くに指導者がいないため、自宅から遠方のスポーツクラブまで通うことになるので時間的に難しい」との声のほか、「勝利主義が強くなることで実力格差が生まれ、運動すること自体が嫌になってしまう子供達が増えてしまうのではないか」との懸念の声が聞かれます。

また、令和9年より全国中学校総合体育大会において9競技が廃止・縮小が決定していますが、大会自体は存続するなかで、大会の主催は学校職員となるため出場するチームが変わるだけで、現状に変化は大差がないのではないかと考えている関係者も少なくありません。

労働者にとって働き方改革は必要かと思いますが、部活動の地域移行には、まだまだ多くの問題が山積しています。持続可能な運動部活動を実施していくためには、主管庁だけの問題ではなく、官民一体となり様々な問題を解決して

いく必要があるのではないかと考えます。

## 【佐久市の現状】

東信支部 広報部 浅川 健一

現在、市内には公立中学校7校と私立中学校1校が設置されている。少子化の進展により、市立中学校の生徒数は令和6年度と平成25年度との比較で454人減少。生徒数が減った学校においては、サッカーや野球など団体競技の活動維持が難しくなっている。また、生徒・学級数の減少に伴う教師の減少により、部活動の顧問が配置できなくなるなど、部活動の減少・活動低下を招いている。

このため佐久市では、これまで学校部活動が担っていた役割や機能を、「新たな地域クラブ活動」体制へと移行・展開し、すべての市民が支え合い、輝き続けるスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進めるため、下記の通り「方針」「基本的な考え方」を定めている。

### 「方針」

～生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ環境づくり～

### 「基本的な考え方」

- ① 休日部活動から地域移行を目指していく（平日部活動については、休日部活動の状況を見ながら協議・検討）。
- ② 競技・活動の特殊性や地域の実情に応じて、できることから地域クラブ活動へ移行を実施する。
- ③ 新設する佐久市クラブ活動人材バンク（仮称）を活用し、指導者の確保に力を入れる。

### 地域クラブの方針

・運営団体

多様な主体が地域クラブ活動の運営主体に

なることが想定されることから、競技・活動ごと、あるいは地域ごとの実情に応じ、受け皿となりうる団体が、それぞれ可能な範囲で活動を行っていく。

・指導者

指導者不足が懸念されることから、人材バンクを創設し、指導者の確保を図っていく。指導者はコンプライアンス等研修を受講、ハラスメント行為など根絶に努める。希望する教職員は、兼職兼業の手続きにより、引き続き指導を可能にする。

・活動内容

現行の部活動の考え方を引き継ぐことを基本とし、学校施設を利用、土曜・日曜は長くとも3時間程度の活動とし、どちらか1日は休養日とする。

中体連を含む大会やコンクールへの参加は、地域クラブが要領等により判断する。

・保護者負担

地域クラブは、将来にわたって持続可能な活動を実施するため、参加者による費用負担（受益者負担）を原則とした自立的な運営を行う。

通学する学校以外が会場となる場合も想定されるが、保護者の送迎を基本とする。

課題→今後の方向性

以上のような方針から、まず先行的に地域移行が進んでいる剣道をモデルケースとし、これを参考に地域クラブ活動の運営について部会ごとに協議・検討し、地域移行を推進することになっている。筆者は中体連の救護ボランティアに参加しているが、サッカーなど一部の競技においては、地域クラブが大会に参加するなどし

ている反面、部員の足りない学校同士の合同チームによる参加も以前より増えており、まだ試行錯誤している段階であることが伺える。また吹奏楽では、学校以外の練習場所をどう確保するのか、大型の楽器等の運搬はどうするのか…等、部によって独自の課題を抱えているケースもある。

指導者についても課題は多く、令和5年度に佐久市教育委員会で行ったアンケート調査結果では、顧問をしている教職員の約6割が経験のない競技・活動を担当し、負担を感じていることに加え、部活動地域移行後の指導は教職員の約8割が希望しない、という結果となっている。また、地域にどれだけの指導者候補がいるのか把握できていない状況もある。

よって、持続可能な運営体制を構築するため、

・「佐久市クラブ活動人材バンク（仮称）」を活用して地域の指導者を学校・企業・地域から確保、また研修等により指導者の質の確保にも努める。

・各種スポーツ団体、文化団体、各学校のコミュニティスクールなどを含む地域との連携・協力体制を築き、地域全体で子どもがスポーツ・文化芸術に親しめる環境を整備する。

といった取組を地域一体となって検討・実施していくことで、地域全体で子どものスポーツ・文化芸術に親しめる環境を整備する運びとなっている。

参考資料：佐久市部活動地域移行の方針  
（佐久市教育委員会）



# 中信地区中体連地域クラブ以降への今後の展望

広報部長 木船 崇

現在は移行期であり、競技や地域によって判然としないところもありますが、全体の概要として中信地区の今後の大会参加の方向性としては、以下のような状況となっています。

## 【野球】

松本市……………松本国際中は単独で参加（松本市内中学校については宮澤輝会員の記事を参照）

塩尻市……………合同チームから塩尻市を一つにしていく方向

安曇野市……………All 安曇野として、1つのチームとして活動

大北……………大北クラブとして大町・松川・池田・白馬で1チームとして活動

小谷……………小谷クラブとして1チームで活動

その他……………民間クラブも1チーム

## 【サッカー】

松本市……………学校の部活動をベースに旭町・鎌田・筑摩野・梓川を母体としたクラブ化

松本国際中は単独で参加

安曇野市……………現在は合同だが、今後は安曇野市で調整

塩尻市……………現在は合同だが、今後は塩尻市で調整

その他……………民間クラブも1 or 2チーム程度

【バスケット】……………中体連参加チーム（部活・クラブ）と中体連に参加しないチー

ム（クラブを）明確に分ける。  
徐々に中体連の規模を縮小。

【水泳】……………長野県中体連の規約ではクラブチームは参加できないため、学校所属として参加

【バレー】……………現在は学校単位や合同チームだが、野球と同じように地域ごとでクラブ化の動き。  
民間クラブ2チーム程度参加

【柔道】……………ほぼ民間クラブからの参加。学校名での参加は少数

【新体操】……………ほぼ民間クラブからの参加。学校名での参加は少数

【剣道】……………民間クラブ+学校名での参加

【卓球】……………まだ学校名（部活動）での参加が多い。クラブからの参加も増えている。

【バドミントン】……………ほぼ民間クラブからの参加。

令和7年度 ➡ 休日部活動がなくなる方向

令和8年度 ➡ 平日部活動がなくなる方向

令和9年度 ➡ 中学校から部活動がなくなる方向（地域移行完了）

※ 以上 令和7年12月現在の方針



# 2023年から松本市内全中学校の 野球部を合同チームに再編 ”松本モデル“ 「持続可能な部活を」 模索続く地域移行

中信支部 広報部 宮澤 輝

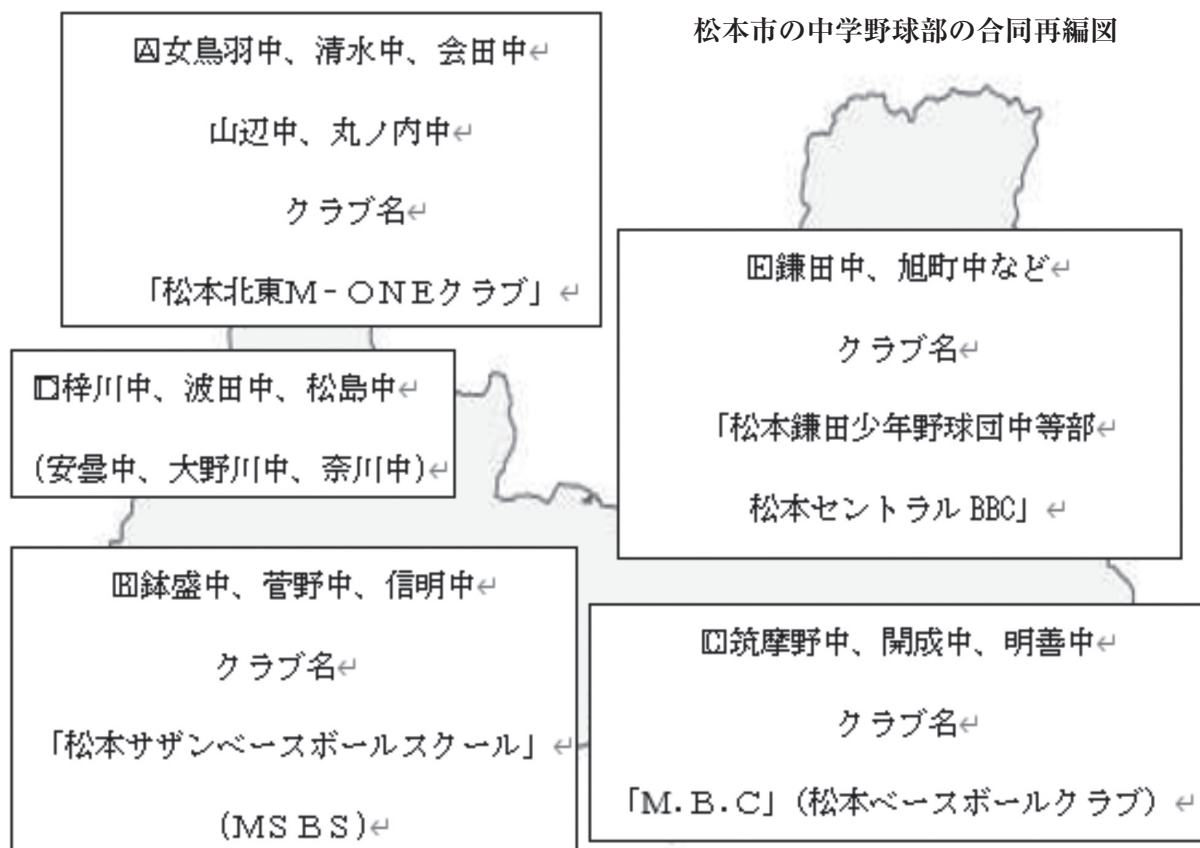
中学校の部活動は、国（文部科学省スポーツ庁）の政策により、2023年度（令和5年度）から3年間（令和7年度）を学校主体の部活動から地域クラブなどに移す「地域クラブ移行」の推進期間にしています。

松本市では、2023年度から複数のモデル事業を実施しています。その一つが市内中学校の軟式野球部14チームを「5つの合同チーム」に再編するという思い切った取り組みで、目指すは「持続可能な部活」です。また野球部のなかった8校も「5つの合同チーム」に参加できることになりました。

2025年度には「5つの合同チーム」のうち4チームが「地域クラブ」に移行しました。外部指導者の確保、報酬の設定、運営ノウハウの確立といった課題をクリアしなければならず、全チームの「地域クラブ移行」には至っておりません。

持続可能な部活動の仕組みを作るには、自治体、学校、地域、保護者の協力や理解が不可欠のようです。

\*2026年度（令和8年度）の秋に行われる新人戦を最後に部活動は終了する見込みです。



# 南信地区での中学部活動 「地域クラブ移行」の現状

南信支部 広報部 牛丸 定孝

10月に剣道の中学校新人体育大会の救護を担当した際、競技委員長の先生に、南信地区におけるクラブ移行の現状について伺いました。

南信は他の地区と比べて、だいぶ遅れており、都市部である長野や松本の様には進んでいないそうです。また、地域差も大きく、小さな町や村が多い為、どこも生徒数が減少しており、クラブより中学校同士の合同チームが増えているとのこと。競技によっても差があり、剣道はそれでも多い方で、今大会でも2～3割位は地域クラブの参加があり、既存の道場

がある剣道や柔道は、ある程度の進行状況にある様に感じました。そして南信の中では諏訪・岡谷あたりが一番進んでいる様な印象を受けました。

先生からは「地域クラブの活動をしていても大会に参加してないクラブもあるので、正確では無いかもしいないが、大会の実施要項を調べてみれば、だいたい把握できるのでは？」とのご助言を頂き、他の競技も分かる範囲で調べてみました。

《令和7年 中学校新人体育大会参加の地域クラブ占有割合》

競技名			出場数	地域クラブ数		出場数	地域クラブ数	割合
剣道	団体	男子	12チーム	4チーム	女子	8チーム	2チーム	2～3割位
	個人		83人	20人		57人	9人	
柔道	団体	男子	5チーム	2チーム	女子	2チーム	1チーム	3～4割位
	個人		16人	8人		17人	3人	
バレーボール	団体	男子	24チーム	2チーム	女子	36チーム	5チーム	1～2割位
軟式野球	団体		28チーム	4チーム				1～2割位
バスケットボール	団体	男子	27チーム	1チーム	女子	24チーム	1チーム	1割未満
サッカー	団体		17チーム	0チーム				0
ソフトテニス	団体	男子	22チーム	0チーム		26チーム	0チーム	0

\*表の地域クラブ数には名称が中学校では無いチームで、中学校合同チームは入れていません。

陸上、卓球、バトミントン等は調べられませんでした。地域クラブの参加率は2割を下回ります。南信全体を総合的にみると地域クラブへの移行率は、おおよそ2割程度でしょうか？

現状では移行の遅れている南信ですが、調べてみると各市町村で様々な計画が立てられているようなので、主なものを紹介いたします。

## 【主な市町村の現状と計画】

・飯田市

令和8年度末までに休日部活動の移行を目指す。

「公認地域クラブ」制度を導入し、飯田市の教育委員会が認定した団体が行うことにより安全・安心を担保する。来年度以降募集。

又、「NPO法人南信州クラブ」が中心となり、飯田市と下伊那郡の町村をカバーする



広域的な受け皿作りが進んでいる。

・諏訪エリア  
すでに活動している野球の「オール諏訪」の様に諏訪市・岡谷市・下諏訪町・茅野市等自治体の枠を超えた広域チーム化を計画中。  
また、地元企業と連携し今までに無い「デジタル系・IT系クラブ」を作ろうとしている。

・伊那市  
令和8年度末を目処に、近隣校との合同部活や地域クラブへ誘導し、市内の中学校の部活動数を現在の60から40程度に集約させる。

・飯島町  
モデル地域である飯島町ではすでに、隣接する中川村を含めたIPOC（飯島プラス1チーム）が、7つの運動クラブを運営しており、地域指導者がいて活動を希望する生徒がいれば、IPOCの団体として

新たなクラブ活動を設立できる柔軟な仕組みを目指している。

・南箕輪村  
中学校部活動加入者は総合型地域スポーツクラブ（NPO法人南箕輪わくわくクラブ）に加入し、休日の部活動を地域クラブへと移行。持続可能な体制作りを目指している。

・辰野町  
町内に大きな受け皿団体が少なく、現在バトミントンのみが総合型地域スポーツクラブに受け入れられている。現段階では無理な全面移行は避け、コーディネーター（事務局）による町外クラブや個人指導者とのマッチング体制の強化を進める。

《県ホームページ資料参照》

その他の市町村でも同様に様々な取り組みが進められており、令和8年度以降、南信でも中学校部活動の地域クラブ移行は大きく進展するものと予想されます。

## (公社) 長野県柔道整復師会と 長野県医師会との懇談会開催

副会長 三澤 茂明

令和7年3月5日（水）午後5時30分から令和6年度（公社）長野県柔道整復師会（以下県柔整師会）と長野県医師会（以下県医師会）との懇談会がホテルメトロポリタン長野（2F 皇華）で開催されました。

前日から中信地方では降雪がありましたが交通機関にはさほど支障なく、参加予定者はすべて揃い懇談会が開催されたことに安堵いたしました。

若林透（わかばやし とおる）県医師会会長の挨拶では、日本医師会副会長の釜范 敏（かまやち さとし）氏の参議院出馬について協力依頼と、柔道整復師会の日ごろの活動への協力に対し感謝の意を伝えられました。柏木久明県柔整師会会長は、参議院選挙に対する協力の約束と、いろいろな分野での事業に対する協力依頼をいたしました。



次に野呂敏夫県医師会副会長の司会進行により自己紹介を行いました。対面式のテーブルには県医師会より8名、県柔道整復師会より9名が着席し、すべての出席者が在籍地や地域の状況などを話しました。

その後、県柔整師会の宮下副会長の乾杯から懇親会に移りました。



各席において、それぞれの課題などについて話が弾んでいましたが、中締めということで、一本締めにより閉会となりました。

## 懇談会参加者名簿

### 長野県医師会

会 長 若林 透  
副 会 長 野呂敏夫  
常務理事 田中昌彦  
常務理事 溝口圭一  
常務理事 岡野和弘  
常務理事 前澤 毅  
事務局長 大林武夫  
総務課長 金井智弘

以上敬称略



### (公社) 長野県柔道整復師会

会 長 柏木久明  
副会長 宮下 厚  
副会長 西條賢治  
副会長 三澤茂明  
理 事 石坂秀司  
理 事 西條義明  
理 事 降旗秀徳  
理 事 鶴田 隆  
常 務 小池則夫

以上敬称略



# 令和7年度公益社団法人長野県柔道整復師会通常総会・ 長野県接骨師協同組合総会

総務部 井出 和光

## 〔公益社団法人長野県柔道整復師会通常総会〕

令和7年5月18日（日曜日）午前10時より、公益社団法人 長野県柔道整復師会館3階柔道場にて通常総会が開催された。

司会者である西條義明理事の号令により、昨年度お亡くなりになられた3名の会員を忍び全員で黙祷を捧げた。お亡くなりになられた会員は、南信支部 原幸夫会員（令和6年11月1日享年75歳）、北信支部 海野明彦会員（令和6年11月22日享年67歳）、南信支部 木下正人会員（令和7年3月20日享年71歳）以上、ご冥福をお祈りいたします。

開会に先立ち降旗秀徳理事より「柔道整復師倫理綱領」の朗読を行い、司会者より総会次第に沿って進行する旨と日程についての説明、西條賢治副会長より定款第19条「開会の定足数」の報告として、会員総数390名、本日の出席会員数57名、委任状提出者218名にて過半数に達し、令和7年度総会が成立することを宣言した。

続いて宮下厚副会長より「開会の辞」、柏木久明会長より「業界は現状氷河期にある！日整の役員選挙、外部折衝、療養費の件、全ては国民の健康・福祉のために我々も努力しよう！」と力強い挨拶があった。

次に、お集まりいただいたご来賓の方々よりご祝辞を頂戴した。後藤茂之衆議院議員、宮下一郎衆議院議員（代理）、井出庸生衆議院議員（代理）、若林健太前衆議院議員、特に後藤茂之先生より、厚生労働大臣の経験から、現在の医療情勢、もうすぐ行なわれる参議院議員選挙長野選挙区より出馬予定の藤田ひかるさんのお話をいただき、祝電の披露があった。

引き続き西條賢治総務部長より「令和6年度

会務報告」、事務局小池則夫常務より「会員異動」の報告があった。

西條司会者より、表彰及び記念品授与について、総会関係書類に記載の「長寿祝」、「永年功績50年」、「永年功績20年」、「学術部関係」、「生涯学習関係」及び「ボランティア関係」の各受賞者の名前を読み上げ、登壇を求め、柏木会長より賞状及び記念品が授与された。受賞者を代表し北信支部松本毅会員が謝辞を述べた。

議事に入る前に定款第16条について諮り、会場より「執行部一任。」との発声があり、執行部から議長を矢嶋大輔会員（南信支部）、副議長を永澤健志会員（中信支部）が指名された。議長、副議長の就任挨拶に続き、議事録署名人は「議長一任。」との会場からの発声により、定款第20条により石坂秀司会員（東信支部）、を選出して議事に入った。

第1号議案、第2号議案が一括上程され、高橋文彦監事より監査報告があり、執行部よりの補足説明は無く、質問事項は提出されておらず、本案は採決され承認された。

第3号議案「役員改選について」矢嶋議長より上程され、役員改選の順序に関して会場より「執行部一任。」の発声を頂き、議長が執行部の意見を次のように発表した。現役員の退任、次に役員選任委員長より、役員選任規定第11条に基づく立候補者について理事立候補者の発表、会長候補者、理事及び監事の選任について候補者一人ずつ総会の決議により承認を頂く。総会終了後に別室にて理事会を開催し、会長及び副会長を選定し新会長が役員を代表して挨拶をする手順で進めて良いかを諮り、全員の拍手により承認された。

矢嶋議長は現役員の退任を行うため役員全員

の起立を求め、柏木会長が代表して退任の挨拶を行った。

続いて、議長は役員選任規定第16条により、選任投票の方法などの選任事務は、役員選任委員会に移行させる規定なので、役員選任委員会保尊伸昭委員長より、会長・理事及び監事の立候補者についての発表を指示した。

保尊委員長より、選任規定11条により立候補者を1名ずつ読み上げた。【会長候補】東信支部 柏木久明会員。【理事候補】東信支部 石坂秀司会員、北信支部 西條賢治会員、西條義明会員、井出和光会員、中信支部 降旗秀徳会員、木船崇会員、南信支部 宮下厚会員、西森六三会員、以上9名。

【監事候補】東信支部 小林久雄会員、中信支部 三間慎一郎会員、以上2名の立候補があった事を発表した。

矢嶋議長は、定款22条により発表があった候補者を1名ずつ読み上げ、承認して頂ける場合は挙手を求めた。選任委員長より発表された、会長候補1名、理事候補8名、監事候補2名、すべての選任が承認された旨報告があった。

続いて、定款22条に会長及び副会長は、理事会において選定すると規定されています。理事に選出された方は、総会終了後に緊急理事会を開いていただき、会長と副会長を選定して頂きたい旨説明があった。

続いて、報告事項1「令和7年度事業計画」及び報告事項2「令和7年度歳入歳出予算について」関連があるので一括上程し、朗読の省略を諮り、承認を受け、執行部よりの要点説明、質問事項の有無を確認して、本案について諮り全員の拍手により承認された。

本日提案のあった第1号議案から第3号議案については、議決承認された。

「その他の事項」として、事務局に質問事項の有無を確認し、小池常務より質問事項の提出はない旨報告された。

矢嶋議長は、本日の議事が無事終了したと述

べ、永澤副議長と共に退任した。

引き続き司会者が、柏木会長に「議事関連議案」の提案を求め、会長より別紙の「令和6年度の長野県柔道整復師会会員互助会収支決算書」について上程報告があった。

西條司会者より長時間にわたる慎重審議の労いの言葉の後、三澤茂明副会長より閉会の辞の挨拶で令和7年度通常総会を終了した。

続いて「令和6年度長野県柔道整復師連盟の会務報告及び収支決算書」について、柏木会長より報告があった。

その後、定款第22条による「緊急理事会」を2階会議室にて新たに選出された新理事により開催され、併せてその間の暫時休憩となった。

西條司会者は再開を宣言し、緊急理事会の選定結果を報告。会長に柏木久明・副会長に西條賢治（総務部長）、宮下厚（事業部長）降旗秀徳（スポーツ支援部長）。支部長に石坂秀司（東信支部長・学術部長）、西條義明（北信支部長・保険部長）、木船崇（中信支部長・広報部長）、西森六三（南信支部長・介護支援部長）、井出和光（総務副部長）が選定し、各支部長より支部役員の指名があった。

柏木新会長より、日整理事としての再選を目標に、自分のできる限りを尽くし、会の発展に努めたい。会員の皆様のご協力と引き続きのご支援をお願いしたい旨挨拶があった。

続いて西條司会者より、日整の代議員選挙及び補欠代議員選挙について、日整会員を対象とする議案として、先に公示済みの「日整の代議員、補欠代議員」の選出をお願いしたい旨の発言があり、事務局 小池常務より代議員に柏木久明会長、宮下厚副会長。補欠代議員に西條賢治副会長、降旗秀徳副会長の立候補がある事が発表された。司会者より代議員の立候補者については、挙手にて選出決定したい旨諮られ、満場の挙手にて選出決定がなされ、令和7年度長野県柔道整復師会 通常総会は終了した。

## 〔長野県接骨師協同組合総会〕

西條義明司会者より、引き続き令和7年度長野県接骨師協同組合 通常総会の開始が宣言された。当組合の現組合員数 390名、本日出席者数 57名、書面議決書提出者数221名、委任状提出者数 なし、合計 278名。以上、過半数の出席を戴いており、定款第41条の規定により本日の総会が成立する事が報告された。

宮下厚専務理事より開会の辞があり、柏木久明理事長より、「新型コロナ感染症も5類となり、経済活動が回復してきています。当組合も積極的に組合員の方々に利用していただきたい。」と挨拶があった。

定款第42条の規定により、会場の了解を得た上で、西條司会者が議長を指名、南信支部の矢嶋大輔組合員を選任、指名を受けた矢嶋議長は議長席に着き就任の挨拶後に審議に入った。

矢嶋議長は議事録作成人の選出について会場に諮り、「議長一任」の発言で井出純一理事を指名した。

第1号議案「令和6年度事業報告承認の件」と第2号議案「令和6年度収支決算承認及び財産目録剰金処分（案）承認の件」、は関連があるので一括上程され、審議に入る前に高橋文彦監事より監査報告を求めた。高橋監事より書類・帳簿を監査した結果適正である事が報告された。矢嶋議長は、議案の朗読省略について会場に諮り、全員の賛成で承認を得た。続いて事務局に質問事項が無いことを確認し、執行部に補足説明があるかを確認した上で採決し、原案通り承認可決された。

第3号議案「令和7年度事業計画書（案）決定の件」と第4号議案「令和7年度収支予算（案）決定の件」について関連があるので一括上程された。矢嶋議長は、議案の朗読省略について会場に諮り、全員の賛成で承認を得た。続いて事務局に質問事項が無いことを確認し、執行部に補足説明があるかを確認した上で採決

し、原案通り承認可決された。

第5号議案「役員改選について」を上程し、定款第32条2の規定により、連記式無記名投票の方法により事前に投票いただき、総会前に開票作業を終了した。立候補者名、投票数を本会の選任委員を選考委員に指名して発表頂きたい旨、会場に諮り承認を得た。また選考結果を発表する前に現理事を代表して柏木久明理事長より退任の挨拶があった。

役員選任委員長の保尊伸昭組合員より次の通りに結果発表があった。【理事】東信支部 柏木久明組合員（232票）、浅川健一組合員（231票）、北信支部 西條賢治組合員（227票）、篠崎裕一組合員（233票）、中信支部 永澤健志組合員（231票）、南信支部 宮下厚組合員（230票）、太田栄造組合員（229票）、【監事】中信支部 三間慎一郎組合員（232票）。当選者は全員就任を承諾し、会場では満場の拍手にて当選を決定した。

矢嶋議長は、上程された議案はすべて議決され、議事の終了を告げて退任、降壇した。

西條司会者は、長時間の慎重審議を労い、令和7年度 長野県接骨師協同組合通常総会の終了を告げた。引き続き定款28条により、理事長及び専務理事は理事会にて選出する規定がありますので、理事に選出された方は別室に移動し緊急理事会を開いていただき、理事長と専務理事を互選して頂きたい旨発言があり、会場は暫時休憩した。

理事会の結果、理事長（代表理事）には柏木久明組合員、専務理事には宮下厚組合員が選出された。

西條司会者は、宮下厚専務理事に閉会の辞を求め閉会した。

最後に柏木久明会長より、2年間の日整理事の経験からの現状報告と、今後の抱負を会員に時間を延長して話していただきすべての日程を終了した。





学術関係表彰（左）・生涯学習関係表彰（右）

○学術関係表彰

（敬称略）

第44回北信越学術大会長野大会発表者	中信支部	今村勇治
第33回日本柔道整復接骨医学会発表者	東信支部	北松豪太・國友康晴・野田広巳
	北信支部	中澤幸仁
	南信支部	伊藤 篤・牛山正実・牛山正明
		小野真理恵・原 隆・矢嶋大輔

○生涯学習関係表彰

生涯学習高単位取得者	東信支部	兼田 佑	ボランティア高単位取得者	東信支部	小林 毅
	北信支部	小林克徳		北信支部	布施谷貴博
	中信支部	今村勇治		中信支部	宮澤 輝
	南信支部	木下陽子		南信支部	尾曾共春



議長・矢嶋大輔会員（右）  
副議長・永澤健志会員（左）



事務局



役員改選・前理事退任あいさつ





役員改選の様子



選任委員



(公社)長野県柔道整復師会 新理事・新監事  
左から 西條義明・西森六三・木船崇・井出和光・降旗秀徳・西條賢治・柏木久明・宮下厚  
小林久雄(監事)・三間慎一郎(監事)・石坂秀司 (敬称略)



長野県接骨師協同組合 新理事・新監事  
左から 篠崎裕一・西條賢治・宮下厚・柏木久明・太田栄造・永澤健志  
浅川健一・三間慎一郎(監事) (敬称略)

## 北信支部理事研修会

北信支部総務部長 伊豫田 幹幸

令和7年7月23日（水）当会会館2階審査会室にて理事研修会が行われました。

理事研修会は行政と柔道整復師会の意思疎通を図る為に、長野市の関係各課より講師を招いて毎年開催されています。

長野市より北澤哲也市議会議員と箱山正一市議会議員、長野市保健福祉部 国保・高齢者医療課より柄澤貞久課長と小林幹幸課長補佐、生活支援課より戸谷和久課長と石坂様樹係長と小池拓実主査、長野県中学校体育連盟事務局より水落洋平幹事と小林慎弥幹事の9名が出席され講義が行われました。

北信支部からは西條賢治常任顧問、西條義明支部長、井出和光副支部長、宮崎剛副支部長、布施谷貴博事業部長、大月康彦保険部長、古岩井裕之学術部長、山内明広報部長、高原義勝スポーツ支援部長、大塚祥司介護支援部長、宮本義豊経理部長、伊豫田幹幸総務部長の12名が受講し、各課の柔道整復師との現状などが説明されました。

最初に柄澤課長より、国民健康保険給付の療養費や自己負担限度額の説明を頂き、次いで小林課長補佐から令和7年度の施術内容回答書、啓発チラシ、第三者行為について等の説明がありました。

生活支援課戸谷課長より、生活保護の状況と施術給付「打撲・捻挫・挫傷の患部に手当てする場合及び脱臼または骨折の患部に応急手当をする場合は医師の同意は不要」についての説明があり、我々から文章の再確認と担当者引継時の際、この内容の申し送りの徹底を要求しました。

長野県中学校体育連盟水落幹事より中学校部活動の地域展開に係る中体連の現状と課題について、令和9年度以降の開催競技の説明、長野県中体連の喫緊の課題として組織を運営する人材確保と財源確保、中体連の果たすべき役割、維持の必要性等説明がありました。

普段中々聞くことの出来ない内容のお話ばかりで、非常に有意義な研修会となりました。





## 事務職員退職式

広報部 山内 明

令和7年7月31日に会館1階応接室にて、2名の退職式が行われました。



戸田佐保書記

戸田佐保書記は、担当部として事業部・IT・広報部・介護支援部を担当され約10年会務の手助けをしていただきました。



両角千代書記

両角千代書記は、担当部として、保険部・スポーツ支援部を担当され、約8年間に会務の手助けをしていただきました。

退職式ではまず、柏木久明会長より、感謝の言葉があり、退職者2名に辞令と理事会より花束が贈られました。



すべての式が滞りなく行われ、笑いあり、涙ありの退職式となりました。

両名とも、新しいところでも頑張ってもらいたいと思います。

# 令和7年度 健保組合連合会長野連合会と (公社) 長野県柔道整復師会との懇談会報告

総務副部長 井出 和光

令和7年11月17日（月）午後4時よりホテルメトロポリタン長野12階ウラノスにて、表記の会議並びに懇親会が柔道整復師会の主管により開催されました。

司会の小池常務の進行のもと、開会の辞を宮下副会長、挨拶を柏木会長と大久保会長が行い、参加者の自己紹介をした後に審議に入りました。議題は国会の代表質問のように、事前に組合側から3題、柔整側より4題の質問状に答え、各出席者より意見がある場合は発言するという形式で進行された。組合からは、マイナ保険証に関わる質問が2題、償還払いに関わる質問が1題、柔整からは、柔整療養費に関わる質問が2題、療養費の併給併施に関わる質問が1題、労災に関わる質問が1題出されました。

また柏木会長からは、「長野県では県内の健康保険組合の皆様と良好な関係が構築されているが、前期まで上部団体の理事をしていましたが、何度提案しても話し合いのテーブルすら作ってもらえず、非常に残念な結果になっています。今後も皆様と忌憚のない話し合いをして良好な関係を作って行きたい。」との発言がありました。

会議終了後、別室に移動して懇親会が行われました。健保組合の出席者からも、「痛くなると柔道整復師の所で治療してもらっていますよ!」といった声が聞かれるなど、終始和やかな雰囲気が進み、柏木会長の一本締めで散会となりました。私は新理事でもあり初参加でしたが、良い勉強をさせていただきました。

出席者名簿（敬称略）		
健康保険組合連合会長野連合会		
会 長	大久保 淳	長野県農協健保組合・常務理事
副 会 長	麦嶋 俊彦	エプソン健保組合・常務理事
保健医療分科会会長	西 淳一	法令出版健保組合・事務局長
保健医療分科会副会長	山崎 利幸	日東光学健保組合・常務理事
柔整師施術療養費審査委員	宮崎 朗	八十二グループ健保組合・事務長
柔整師施術療養費審査委員	近藤 悟	甲信越しんきん健保組合・常務理事
事 務 局 長	鈴木 靖彦	長野連合会
(公社) 長野県柔道整復師会		
会 長	柏木 久明	
副 会 長	宮下 厚	事業部長
副 会 長	西條 賢治	総務部長
副 会 長	降旗 秀徳	スポーツ支援部長
理 事	石坂 秀司	東信支部長・学術部長
理 事	西條 義明	北信支部長・保険部長
理 事	木船 崇	中信支部長・広報部長
理 事	西森 六三	南信支部長・介護支援部長
理 事	井出 和光	北信副支部長・総務副部長
常 務	小池 則夫	事務局

# 令和8年 関係官庁等新年挨拶まわり

副会長 降旗 秀徳

令和8年1月7日（水）に正副会長による新年挨拶回りを行いました。挨拶を行った関係団体は以下のとおりです。

1. 長野県国民健康保険団体連合会審査業務課（自治会館 4F）
2. 関東信越厚生局長野事務所長（長野第2合同庁舎 4F）
3. 長野県庁内（3F、4F）
  - ・長野県知事 阿部守一 様
  - ・健康福祉部長 笹渕美香 様
  - ・健康福祉部医療政策課企画管理係
  - ・健康福祉部健康福祉政策課企画調整係
  - ・健康福祉部介護支援課
  - ・健康福祉部医師・看護人材確保対策課
  - ・健康福祉部健康増進課国民健康保険室
 阿部知事との懇談では柏木会長の新年の挨拶

挨拶に続いて、西條総務部長から当会が抱えている諸事情や保険取扱いの現状、今後の課題など総論をお話し頂きました。また、宮下事業部長から日本赤十字社との防災訓練や各市町村での医療救護訓練などについて当会の取り組みを説明頂き、降旗スポーツ支援部長は中体連や各種スポーツ大会への救護派遣活動と2028年信州やまなみ国スポでの取り組みなどの説明を行ないました。

阿部知事からは、大規模災害時や中学校部活動のクラブチーム移行後など、柔道整復師会の関わり方が非常に有益になることの評価を頂き、30分足らずでしたが当会の公益活動の現状と課題を直接伝えられる非常に有意義な新春の懇談となりました。



4. 長野県医師会事務局（三輪）
5. 全国健康保険協会長野支部（朝日八十二ビル 8F）
6. 健康保険組合連合会長野連合会（農済会館 1F）
7. 長野県農業協同組合健康保険組合・自動車部（農協会館10F・9F）
8. 損害保険料率算出機構長野自賠責損害調査事務所（南千歳TSビル）
9. 長野労働局労働基準部労災補償課（中御所 3F）



# 令和7年度 第1回中信支部保険取扱い研修会

中信支部 保険部長 堀内 光春

日 時：令和7年10月25日 午後6:30～9:30  
場 所：塩尻総合文化センター大会議室  
出席者：58名（北信支部3名、南信支部4名含む）

## 研修内容

- ① 労災申請書の書き方
  - ・ガイドブックに沿って記載方法、注意点について保険部から解説した。
- ② 四支部統一課題
  - ・マイナ保険証の利用促進協力金について保険部から報告及び解説した。
  - ・オンライン資格確認結果のレセコン連携補助金について保険部から報告及び解説をした。
- ③ 後期高齢広域連合患者照会について
  - ・保険部から報告及び解説した。
- ④ 審査会状況、療養患者照会の対応について
  - ・審査会審査員から報告及び解説を頂いた。

- ⑤ 県建設国保患者照会について
  - ・降旗秀徳中信支部常任顧問より報告及び解説を頂いた。
- ⑥ 保険組合が受診者に対して行う、同意書について
  - ・木船崇中信支部長より注意点等、報告及び解説を頂いた。
- ⑦ 長野県柔道整復師会会長講話
  - ・柏木久明会長から、現在の本県及び日整の現状などについて詳しくお話いただいた。
- ⑧ 質疑応答
  - ・会員から内容全般において怒涛の質問が出され、丁寧な解説で対応し補足も飛び交い、活発な意見交換が行われた。

全体として大変活発な意見交換があり、当初予定していた時間を大幅に延長し大変有意義な研修会になった。会員の皆様、ご参加いただき誠にありがとうございました。



長野県柔道整復師会 柏木久明会長



降旗秀徳 中信支部常任顧問



木船崇 中信支部長



会場の様子

# 令和7年度北信支部保険取扱研修会

北信支部 保険部長 大月 康彦

令和7年11月1日（土）、午後7時から午後9時10分まで長野県柔道整復師会会館の3階にて北信支部保険取扱研修会が開催された。出席者は83名（北信80名・中信3名）であった。

- ・司会進行 福澤 亮 北信支部保険部副部長
- ・開会の辞 塚田 剛 北信支部保険部
- ・支部長挨拶 西條 義明 北信支部長
- ・柏木久明会長 講話（日整の現状、柔整療養費、についてご講話いただいた。）
- ・西條賢治副会長・後期高齢者内容審査員 講話
- ・質問 今後の柔整療養費の動向について等
- ・謝辞 井出 和光 北信副支部長
- ・研修会内容 大月 康彦 北信支部保険部長

## 1. 協定書について

三者協定について地方厚生（支）局長、都道府県知事、そして全国の（公社）都道府県柔道整復師会との間で締結される協定、具体的内容の説明をしました。

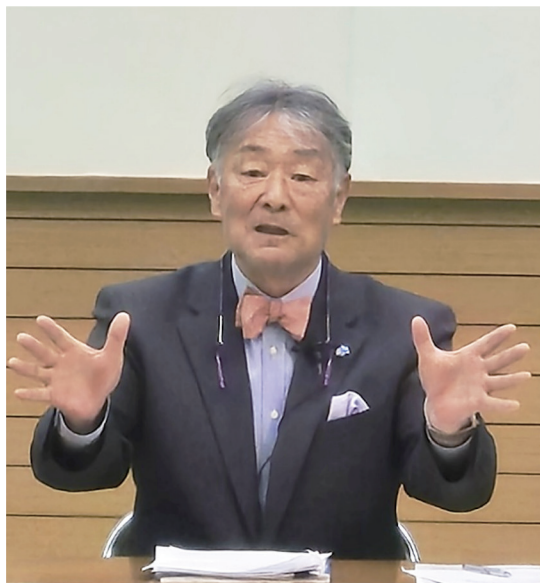
## 2. 労災申請書記載方法・注意点

3. 後期高齢者広域連合患者照会について
4. 建設国保患者照会について
5. 給付に関する同意書について中信支部より情報提供
6. オンライン資格確認導入義務化の対象外となる「やむを得ない事由」の報告方法について  
報告方法に電話での報告も加わったことの説明をしました。
7. 長野市国保からの患者照会について
8. 令和7年4月からの会員の質問について
9. 審査会からの報告・注意点等  
宮崎剛審査員より原因の書き方、印字ずれ、申請書の新旧用紙の注意等
10. 質疑応答  
挙手での質問なし  
一会員より事前質問数が多く、回答が長文になったため回答を直接お渡ししました。

- ・閉会の辞 西條友教 北信支部保険部

会長、副会長、支部長より日頃から請求時に注意しなければならないことを伝えていただき、保険部からも解説と説明ができました。





# 令和7年度第1回東信支部保険取扱研修会

東信支部 保険部長 西村 公紀

日時：令和7年10月4日（土）午後6時～

会場：長野救命医療専門学校（東御市）

司会進行：東信支部副保険部長 出田雅士

開会の辞：東信支部保険部 浅川加世

支部長挨拶：東信支部長 石坂秀司

県会長挨拶：（公社）長野県柔道整復師会会長  
柏木久明

## 研修会内容

- 1 後期高齢広域連合患者照会について
- 2 労災申請書記載方法、注意点
- 3 マイナ保険証の利用促進協力金について
- 4 オンライン資格確認導入義務化の対象外となる「やむを得ない事由」の報告方法について

以上について、西村公紀東信支部保険部長より詳しい報告及び解説がありました。

## 5 審査会からの報告等

審査会の審査員を務める小林久雄会員から、返戻事由の状況や注意点について、報告及び丁寧な解説を頂きました。

## 6 県会長講話

柏木久明県会長から、上記の内容及び併診・併給問題、日整の状況などについて講話がありました。

## 7 質疑応答

会員から労災関係及び併診併給関係等について、事例の紹介を含め質問が出され、活発な意見交換が行われました。

閉会の辞：東信支部保険部 大沢さやか

全体として大変活発な意見交換があり、当初予定していた時間を大きく延長し大変有意義な研修会ができ、無事終了しました。

# 令和7年度 南信支部保険取扱研修会

南信支部 保険部 木下 甲太郎

日 時 令和7年12月21日(日)  
13時～13時55分  
\*南信学術発表会・学術講演会と  
同日開催のため例年より時間短  
縮で開催

会 場 アイパル3階エトワール  
駒ヶ根市東町4-3

出席者数 70名  
(南信68名・北信1名・東信1名)

司会進行 肥後和樹会員

1. 開会の辞 藤森彰人会員
2. 支部長挨拶 西森六三南信支部長
3. 研 修 木下甲太郎 南信支部保険部  
長 (配布資料、パワーポイ  
ント資料に沿って進行)

- (1) 後期高齢者医療広域連合による患者照会  
について
- (2) 保険者による「給付に関する同意書」の  
取扱いについて
- (3) 県建設国保による管理柔道整復師への照  
会について
- (4) 申請内容からみた部位の傾向について

- (5) レセコン連携機能利用に係るレセコン改  
修費用の一部補助実施について
- (6) オンライン資格確認導入義務化の対象外  
となる「やむを得ない事由」の報告につい  
て

- (7) 施術所等での資格確認について
- (8) 労働災害と公務災害について
- (9) 公的審査会より状況報告

・宮下厚県理事より国保審査会での審査状  
況について、また労災申請書記載時の注  
意点について

・西森六三南信支部長より単純ミスによる  
返戻の指導

・牛山正実療養費審査補助員より審査会で  
感じた傾向、考えさせられた点について  
の意見

- (10) 質疑応答

時間の都合上、割愛。質問は南信保険部  
員を窓口に改めて対応させていただくこと  
を伝えた。

4. 閉会の辞 中塚裕美会員

以上をもって研修会終了とした。



開場の様子



南信支部長挨拶



木下甲太郎南信保険部長



## 南信支部学術大会

南信支部 学術部長 原 翔一郎

令和7年1月11日（土）15時より飯田市エス・バードにて令和6年度南信支部学術大会・学術講演会が開催されました。

年末から飯伊地区にてインフルエンザ警報が発令され、感染症対策を講じながらの開催となりました。

会員研究発表は、牛山正明会員による「変形を伴う外傷性膝関節炎の診断」、清水仁美会員による「介護予防事業における当院の取り組みについて」、土岐一生会員による「高校総体帯同活動報告」の3題の発表があり、座長は、原翔一郎が行った。

本年度の学術講演は、飯田短期大学・生活科学学科教授・栄養学博士の友竹浩之先生を招聘

し、「体づくりと低栄養予防を重視した食事について」と題し、栄養の重要性と健康管理について、エネルギーの摂取と消費・脂質の取り方・アスリートの食事・健康的な食生活と運動について解説いただきました。質疑応答では、講演中に会場から集めた質問事項に対し丁寧に時間いっぱい対応いただき、聴講者からも高評価をいただきました。

本学会の開催にあたり、学会役員の皆様、講師の友竹浩之先生、各地区から選出された会員研究発表者の皆様、ご協力いただいた実行委員の皆様、当日ご参加くださいました皆様全てに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



牛山正明会員



清水仁美会員



土岐一生会員



講師の友竹浩之先生



記念撮影

# 令和6年度東信支部学術大会を終えて…

東信支部 学術部長 國友 康晴

「内容も専門用語も難しすぎて、ついていられないよ。」

昨年の東信支部学会を終えた後の、ある会員からの正直な一言に、ハッとさせられました。東信支部の学術部長を拝命してから、ただひたすらに“柔道整復師の学術レベル向上”として、学会内容や、使う用語を、医師たちの学会と同等のものにしようと尽力してきました。それが正義だと思い込んでいたので。…今思えばなんと自分勝手でおこがましい振る舞いでしょう。それに、「無理です」「書き方がわからないので遠慮する」と論文作成を拒む会員方に、無理矢理お願いしたり、更なる高みを要求し追い込んだりと、独り善がりも甚だしかったです。そんな我儘で作り上げた学会では、そのような言葉が出て当たり前です。我々が目指すべきは、聴講者みんなが勉強になる学会なのです。

医療界の他業種の先生方からは、「柔整師は歴史も長いし、触診で判断し骨折も脱臼も治せるのが強みでしょ？何で論文にしないの？」とよく言われます。その通りなのです。我々、柔道整復師には歴史と伝統技術があるのに、表に出てこない。その打開策は、無理にでも論文を書いてもらうしかないと思い込んでいました。でも、柔整師の会員方は、皆様、勉強してないわけではないのです。自院で日々施術に励み、その方法には創意工夫があり、何とか患者様の痛みを取ってあげたいと、研究されているのです。「その技術や知識を多くの会員と共有できれば、柔整師全体のレベルアップに繋がる！」そんな思いから、今回は通常の会員発表とは形式を変え“症例検討会”という新たな試みを企画しました。「一つの症例でもいい！」珍しい症例やその工夫した技術を、簡単な“症例

報告書”と言う雛形に書き込むだけでほぼ論文形式になる用紙を作り、会員にお願いしました。すると、いつも論文依頼で苦労したのが嘘の様！いくつも症例報告書を頂けたのです！思った通り、会員方は、素晴らしい技術も知識も持っていたのです！今回は5名の会員を選抜し、そこに担当学術部員が付き、更に学会の趣旨にご賛同頂いた拡大部員と柔整校学生を加え「グループ」として、内容の精査やパワポの作成を進めました。昨今の柔整校既卒者の（公社）日本柔道整復師会離れは甚だしい様で、これも一つの打開策になるのではと思い学生達からも御協力頂きました。となると、内容全体や用語を学生でも理解できるものにする必要があります。とは言えレベルは下げたくない状況から出た案が“発表時にサブスクリーンにて用語解説や参考文章を提示する”ことでした。準備段階でLINEグループを作り、用語や内容確認を皆で意見し進められたのは、内容の精度向上も勿論ですが、グループ内での団結や学生との繋がりも出来、大きな収穫だったと思います。



学会場の様子



学会当日は、症例検討会として坂口卓会員の「外側半月板ロッキングセルフ整復法」、出田雅士会員の「腰部由来神経症状への超音波照射」、松澤真会員の「打撲へのアイシング」、土屋進会員の「マレットフィンガー症例」、西村公紀会員の「股関節への手技」という5名の会員より、グループで作りあげた内容を発表頂きました。その後、質疑応答を行い、更に其々5つのブースに分かれ、実技やエコー画像実演などを行って頂きました。全ての症例報告が内容も実技も素晴らしく、特別講演で『膝関節におけるスポーツのケガ』として講義頂いたスポーツ医の相澤充先生からお褒めの言葉「柔整師さんたちもすごく勉強していますね」を頂いたのは、最大の収穫であり、今までのみんなの努力が報われた気がしました。



各ブースに分かれ実技

初めての試みでしたので、何が正解かはわかりませんが、参加者から回答頂いたアンケートには称賛の言葉が多く、これからの柔整師の学会の新たな一つの形になったのではと自負しております。ご協力頂いた多くの方々には、いくら感謝しても足りませんが、特に発表者と担当学術部員には、言葉ありません。そして、会場で色々と質問などして下さった柔整師の会員方の方々の日々の施術への熱い情熱が、成功へと導けたと考えております。今後も、その情熱をより多くの会員や学生たちにご披露頂き、東信だけに留まらず、長野県、いや全国の柔道整復師のレベル向上につながればと思っております。混沌とした情勢の中で暗中模索は変わりませんが、一筋の光が見えたと思っております。本当にありがとうございました。



写真上：左から柏木久明本会会長、講師の相澤充先生、石坂秀司東信支部長、金児充東信副支部長



写真左：後列左から時計回りに、松澤真会員、出田雅士会員、國友康晴東信支部学術部長、石坂支部長、西村公紀東信支部保険部長、相澤充先生、土屋進会員、坂口卓会員



# 令和6年度 第51回長野県接骨学会

中信支部 学術部長 吉澤 貴史

令和7年3月2日（日）に松本市、キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）中ホールにて『第51回長野県接骨学会』が行われた。出席者は東信支部22名、北信支部17名、中信支部42名、南信支部23名、一般その他432名、計536名とかつてないほどの来場者数となった。受付開始前よりホール入口には長蛇の列ができていたため、当初250席ほどを準備していたが、急遽設定を変更しイスを増やした状態で入場開始となった。

本年度の一般公開講座は松本市の社会医療法人 抱生会丸の内病院より副院長（整形外科部長、手術部長）縄田昌司先生をお招きして『股関節と膝関節の疾患～医接連携の視点から～』という演題でご講演いただいた。今回は縄田先生からのご提案により、医師が何を行い、何が出来るのか？ 柔道整復師が何を行っているのか？ 患者さんや指導者は何を求めているのか？を一般来場者と柔道整復師と医師の三者が互いに理解を深める機会とすることを目的として構成された講演でした。投薬の在り方、運動療法の在り方、サプリメントの在り方、手術の在り方と患者さんが欲しい情報を順に説明があった。私たちが日常の業務の中で、手術を勧めるべきタイミングを考えるとありますが、『術後に影響する事柄』を考えなければいけないことを知った。これはどういうことかと言うと、例えば手術前に股関節の筋肉が硬くなったり弱くなったりしていると、手術したからと言っても硬くなった部分や、弱くなった部分が即座に回復する訳ではないということだ。足の爪を切る時に痛みで切れないのか？硬くなって切れないのか？が重要であると言う訳だ。なので、私たちは日頃から患者さんの痛みと向き

合いながら、筋肉など周辺組織が可動域制限に影響しないように観察し、影響を及ぼすようであれば医師に任せるべきだと言うことだ。私たちの判断で患者さんの今後に影響を及ぼす可能性があることは理解すべきだと実感した。今回は上述したように柔道整復師が何をやっているのか？と言う部分を縄田先生司会の元に、当会から小島弘光会員（北信）、西村公紀会員（東信）、降旗秀徳会員（中信）がパネラーとなり、来場者へ向けて実技披露する形となった。今回の来場者の中には接骨院や整骨院がどのようなことを行う場所かを知らない方も多くいたようで、会場はこれまでにない盛り上がりを見せ、講演終了後もテーピングの実技を教わりに来る来場者も多数おり、今年度の一般公開講座は大盛況に終わった。

休憩を挟み、会員研究発表に移り、1席「通所型サービスA-1事業における当院の取り組みについて」南信支部の清水仁美会員による発表が行われた。私たち柔道整復師業界は保険請求額が年々減少し、収入の幅を広げなければいけない時代に突入してきた。その中で私たちは、どのような選択をおこなって行くのか、その一つとして介護予防事業がある。伊那市は全国的にも珍しく法人化を行わなくても通所型サービスA-1事業に参入できるというまれなケースであるが、私たちが何を行えるのか？を細かに解説していただいた。他の市町村では参入することのハードルは高いかもしれないが、法人化して参入している会員も沢山いる。私たちがこれからどのように生き残っていくかに対しての重要なツールになるのは間違いないと思われる。

続いて第2席「Foot Posture Indexを用いた

足関節の評価」北信支部の小林竜太郎会員による発表が行われた。当学会でも足について多くの論文が発表されてきたが、人間にとって地面に設置する足はとても重要だと言うことがわかった。今回は障害からの目線ではなく、障害予防からの目線と言うことであった。Foot Posture Indexは静的立位時の足部肢位に関する評価方法であるが、視診と触診で評価出来るという点は重要である。検査結果に対してトレーニングすることにより成果がハッキリしているのも素晴らしいと思う。今回のデータを基に障害を持つ患者さんに実践し、どのように改善してくかをデータ化出来れば、もっと素晴らしい研究になると思われる。

続いて第3席「腰部由来の神経症状に対する超音波照射の効果考察」東信支部の出田雅士会員による発表が行われた。超音波を使用した施術は昔に比べると大変ポピュラーになってきた。その一方で使用方法を間違えると患者さんへの負担が大きいと言われている。今回の報告はそういったことも踏まえ、患者さんとのインフォームドコンセントをしっかりと行い、術者が照射する方法をしっかりと把握して行い、成果がしっかりと現れた報告であった。音波痛などはデメリットもあるが、ハイリスク・ハイリターンと言うことが、この報告だけではなく、医学の中では沢山あるので、術者と患者さんとの間でメリットとデメリットを十分把握し、デメリットが最小限になるように技術を磨くことも重要だと考えられる。とても興味深い内容であった。

最後に、第4席「上腕骨顆上骨折の一症例肘内障を疑い整復した柔道整復師の判断過程と見落とし」中信支部の碓井裕平会員による発表が行われた。私たち柔道整復師は問診、視診、触診で患者さんの状態を評価し判断を行う。近年では超音波観察装置を導入して、可視化にて判断することも増えてきたが、柔整界全体で見るとまだ僅かだ。今回は『先入観』と言うことが全てとなってしまう。ただ、支部学会に参加さ

れた2名の医師から転位の無い上腕骨顆上骨折は非常に見つけにくいとのご意見を頂いた。このようなことを踏まえて自身の判断をしっかりと疑問視して、早急に医師へ診断を求めたことは素晴らしい判断であったと思われる。

4名の会員による発表が無事に終わり、会員研究発表は幕を閉じた。会員研究発表後は表彰と撮影があった。閉幕後に開かれた北信越学術大会福井大会推薦論文選定会議では、色々な意見が飛び交ったが、南信支部の清水仁美会員が長野県代表として推薦することに決まった。

会員研究発表のあとはワークショップ『匠の技伝統プロジェクト』が行われた。本年度のワークショップはランチョンセミナーを兼ねており、初めての試みとなった。今回で3回目となるワークショップだが、整復固定は足関節の骨折、超音波観察装置（エコー）は足関節について行われた。匠の技指導者候補として現在、長野県から4名の会員が講習を受けているが、今年度もその指導者候補が講師としてステージに立つことになった。整復固定指導は北信支部の井出和光会員、中信支部の吉澤貴史、エコー指導は東信支部の國友康晴会員、南信支部の佐藤光洋会員が担当した。まず、座学として國友会員が足部の解剖について解説があった。いつも思うのだが、解剖的な事は勉強を行っていないのであれば本当に難しいと思う。ただ、医師やその他の医療従事者が当たり前知っていることを、私たち柔道整復師は知っているのか？または知らなくても良いのか？と言う疑問がある。「何を言っているのかわからない」、それは患者さんには関係ないことで、知っていて当たり前だと思って色々聞いて来る。故に私たち柔道整復師はもっと勉強するべきだと國友会員の解説を聞くたびにいつも痛感する。続く佐藤会員のエコーについての解説だが、外果骨折を中心に、その他の疾患や外傷も踏まえたものとなった。エコーによる観察は熟練すればとても有用性があることを改めて認識する機会となった。最後に井出会員による外果骨折の整復と固定の解説

が行われた。私たちは骨折や脱臼の整復や固定が出来て当たり前の職業であり、日頃から、そういった患者さんが訪れることを念頭に置きながら業務に就かなければならないと思っている。今回はまず日整水準の整復固定を動画にて視聴し、その流れで実技へと移行した。外果骨折は足関節捻挫とも非常に関係が深いので、私たち柔道整復師は特に注目しておかなければいけない骨折の一つだと考えられる。井出会員によるデモンストレーションの後には、実際に若い会員を会場から募集し整復指導が行われた。近年では、骨折や脱臼の整復や固定を行う機会が激減しており、特に若い会員は経験が非常に不足している。しかし、捻挫だと思って来院した患者さんが、実際は外果に骨折があった場合に、術者が動揺してしまえば患者さんも不安となり、更に信用を失ってしまう場合もある。そういった患者さんを見抜くことが第一条件であるが、それを最後まで処置して医療機関へ送ることが出来れば、会員自身の自信にもなり、患者さんとの信頼関係の構築にもつながるのではないかと思われる。続いてエコーの実技が行われた。エコーについては現在養成学校のカリキュ

ラムに組まれており、国家試験においても出題される。よって、新卒の先生方は研修先の会員が『エコーを使用出来るのが当たり前』だと思って勤務することが想定される。よって『私はエコーが使えません』と言うのは新入会員を失う一因となる可能性がある。現在の若い整形外科医はエコーを診ることが出来るのが当たり前と言われるくらいに普及しており、私たち柔道整復師も同等に扱えるようにならなければ、今後相手にされなくなることも想定しなければならない。今回まだ未導入の会員の皆様は、かなり熱心に参加されていたので、今後に繋がればと実感した実技となった。終了予定時刻より時間を大幅にオーバーしながらも満足いくワークショップになったのではないかと思われる。以上で全日程を終了した。今年度の県学会は来場者数が想定の倍以上となり、過去最高の来場者数となった。それでも実行委員の会員一人一人が責任を持って、臨機応変に対応したお陰で、高齢者の来場が多い中、事故などがなく、無事に令和6年度の県学会を終了することが出来た。今後への課題も多いが大きな結果を残せた学会となった。



講演をする縄田先生



徒手検査を行なう縄田先生





開会の辞を述べる 宮下副会長



左から降旗中信支部長、小島会員、西村会員



左から清水会員、小林会員、石坂学術部長、宮下副会長、出田会員、碓井会員

# 令和7年度北信越学術大会福井大会報告

南信支部 清水 仁美

令和7年度の北信越学術大会が福井県で開催された。長野県南信地区から福井県までの道りは遠く、地元の伊那インターより中央道～名神高速～北陸道を乗り継ぎ5時間ほどかけて福井インターチェンジに到着。(途中、高速道路修繕工事による渋滞があり目的地にたどり着くまでにかなりの時間がかかった。)田園風景を進んでいくと、突然高いビル群がそびえ立ち広い道路には路面電車が走っていて、福井市の中心街に入ったことを実感した。北陸新幹線が延線した福井駅前には、あちらこちらに恐竜のオブジェがあり、よく見るとリアルに咆哮し動いていて、さながら恐竜の動物園にでも来ている気分を味わった。(さすが恐竜王国福井と謳うだけあります。)距離もさることながら前日の打ち合わせ会に参加すべく前日会場入りする必要があり、土曜日は朝からゆとりをもって行動した。

令和7年6月29日(日)福井市「ザ・グランユアーズフクイ」にて第45回北信越学術大会が開催された。午前中、特別講演会が行われ講師に福井大学医学部附属病院 救急科総合診療部 教授 林寛之先生が「知って得する救急のピットフォール」と題して講演が行われた。身近に起こりうる救急疾患について、笑いも交えながら丁寧に解説いただいた。夏に起こしやすい症状として熱中症があるが、水分補給は脱水予防にしかならず、予防対策として重要なのは適切な冷房使用で体温を下げることで、高齢の家族の部屋に入ったときに明らかに「暑い」と体感したら迷わずにエアコンを使用し、室温を下げるのが大事とのことだった。日常診療においては、いかに病歴を聴取して隠れた病状を発見し、診断に導くことができるのか深い学びとなりました。林先生はNHKの「ドクターG」にも出演されていて、番組内での裏話を教えてく





ださり、研修医に配慮しつつ撮影している様子など冗談を交えつつお話しいただいた。一般聴講者においても終始笑いの絶えない講演で、2時間があっという間に感じるほど充実した内容の講演を聞くことができました。

午後の会員発表では実技発表1題、学術発表5題があり、実技発表は長野県が務め、北信支部学術部長古岩井裕之会員座長のもと北信支部の井出和光会員が「私が行う肩関節脱臼の整復（スキー場での応急処置経験）」と題し、スキー場の救護室での、肩関節前方脱臼の整復法の映像を中心に発表された。実際に肩関節が脱臼している状態や生の整復している動画が映し出されると、会場からは「おお」と感嘆の声が挙がっていた。若い柔道整復師は骨折、脱臼の整復現場に触れる機会が少なく、日常の施術においても減少しつつある。その中で、実際の整復動作、症例画像を見ることは大変貴重な学びとなりました。

学術発表第1席は「棒体操 伸ばす・ほぐす」石川県の高熊二夫会員による発表で、全長

120cm、直径3cmの棒を用いた室内体操の実践報告でした。体操の実践課程は写真によって詳細に示され、その一部は介護予防体操に応用可能な要素を含んでいた。

第2席は「膝関節に対する術者胸部でのKicking Resistance Movement」富山県の水野克彦会員による発表で、この研究報告は、膝関節の疼痛抑制および機能改善を目的とした抵抗運動「Kicking Resistance Movement」の効果について論じたものである。高齢者における膝関節痛は筋力低下に起因する関節の不安定性が一因となることが指摘されており、膝関節疾患に関するガイドラインにおいても運動療法の有用性が支持されている。本稿で紹介された知見は臨床現場における施術への応用可能性を示唆していた。

第3席は「整骨院における拡散型（ラジアル）体外衝撃波R-SWの有用性」新潟県の關満彦会員による発表で、拡散型（ラジアル）体外衝撃波（R-SW）は運動器疾患に対する物理療法の一つとして注目されつつある。疲労骨折部





に対してR-SWを適切に照射することにより骨癒合期間の短縮が認められたとの報告で大変興味深かった。

第4席は長野県代表として清水が「通所型サービスA-1事業における当院の取り組みについて」を発表。事前準備を行い本番に臨んだのだが、やはり大舞台は緊張するもので、パワーポイントのスライド操作をスムーズに行えない場面もあったが、座長の南信支部学術部長原翔一郎会員のサポートのおかげで無事大役を終えることができた。

第5席は「左手第2指基節骨骨折から早期競技復帰した一症例について」福井県の齊藤和利会員による発表で、左第2指基節骨骨幹部横骨折の診断を受けたホッケーチームの選手にナックルキャストを応用した固定具を作成、固定した状態で大会に出場することができた症例報告で、会員が考案した固定具はホッケーのスティックを把持できるように工夫されており、発表

後、実際に作成した固定具を試着する機会を得ることができた。

今回、研究報告を作成するにあたり長野県学術部の方々にご指導いただいたが、とりわけ東信支部学術部長の國友康晴会員に多大な協力を頂き、北信越学会に対応した内容に再構成していただき、会員方のお力添えあつての発表であり、國友会員、原会員はじめ長野県学術部の皆様に改めて感謝の意を伝えたいと思います。また、お忙しい中にもかかわらず学術発表を見守ってくださった柏木会長、宮下副会長、石坂学術部長、関係各位のみなさまには心より感謝申し上げます。北信越学術大会にて発表できたことは今までにない貴重な経験となり、また学会に参加し講演会および学術発表から多くの知識を得ることができ、今後も学んだことを日々の施術に生かせるよう努力して参りたいと思います。

# 有料セミナー「セラピストのための股関節セミナー」を企画・運営を通して得られたもの

東信支部 國友 康晴

「知ることは楽しい。知らないことを知ることとは、もっと楽しい」(寺田寅彦：物理学者)

股関節のスペシャリストである丸の内病院の縄田先生が長野県学会で講演頂いた際、股関節の解釈や最新の処置等、様々なことが進歩し変わっていることにワクワク感が抑えられなかったのを思い出します。この「股関節への探求心」は聴講した柔道整復師のみではなく、関心の高さも含め一般参加者も同じようで、今までの県学会での動員記録を大きく塗り替えたことから伺えました。

「股関節」——。二足歩行における重要な関節であるため、障害に悩む患者さんも多く、同時に難解であるため我々セラピストをも悩ませます。そんな股関節の施術のヒントを求め様々なセミナーに参加していたある日、ある先生からご提案を頂きました。

「凄い先生とタッグを組んで、股関節の知見を広めるセミナーを企画しているのだけど、長野県でどう？」



講師：左から宇都宮啓先生、畑中仁堂先生

柔整師でありながらドクターからも一目置かれる埼玉県柔整師会の雄、畑中仁堂先生がそう

言って下さいました。しかも、その仁堂先生とタッグを組むのが宇都宮啓先生という、アメリカでの股関節研究を経て、数々の名立たる病院やYoutubeでも活躍するビッグネームがセミナーをやってくださるという…こんなチャンスはなかなか無いと、直ぐに所属する長野県柔整師会学術部のみんなに提案し企画・運営が始まりました。

こんな素晴らしいセミナーを主催するにあたり、まずコンセプトとして「柔整師に留まらず、県内の様々なセラピストが股関節への知識も技術も高みを目指し、その先にいる患者さんやクライアントのために勉強する。そして、次の日から使える技術を身につける！」を目標に掲げ準備を進めていきました。しかし、いざとなると「有料セミナー」の聴講料や経費などが思ったより高いハードルとなり、難航気味になりました。しかし、長野県柔整師会の諸先輩方から教わり培ってきた知識を駆使し、実現へと着実に進むことができました。

講師二人のセミナーを何度も聴講している私ではありますが、準備をLINE会議で進める中、改めて医療的なレベルは然ることながら人間性の高さを感じることができ、そして何より、「長野県の勉強熱心な先生方にレベルアップしてもらいたい」という、お二人の有難く非常に凄い熱意を感じました。その事は、両講師から頂いた配布資料の質の高さと量にも感じられましたが、この膨大な資料を惜しみもなく提供できる人間的な大きさに驚嘆を感じざるを得ませんでした。

「セミナー当日は朝も早いですし、もし先生方のご都合がよろしければ、前日から長野にいられて前夜祭などいかがですか？」との問いに

「喜んで！」と言って下さったお二人でしたが、宇都宮先生は何とその日が結婚記念日だった様で、同行された早苗夫人にも前夜祭にご参加いただき、更に宴は盛り上がる事ができました。



前夜祭

「大切な記念日に申し訳ありませんでした…」とする私に、「いや、逆にいい記念日になりました！」と労わって下さる宇都宮夫妻は、日本酒好きもあってか長野の酒や宴をご堪能頂けたようでした。そして何より、柏木会長や石坂部長など前夜祭から参加頂いた方々からの「素晴らしい前夜祭だった」との感想は、宇都宮夫妻と畑中先生のフランクな人柄に加え、あの場でしか聞けなかったであろう「ディープでアカデミックな話」や「Youtubeの裏話」などのお陰だったと思います。そんな「セミナー当日は朝が早いから」ということで計画した前夜祭がまさか日を跨ぐとは思わず気を揉みましたが、いろんな意味で勉強になった夜となりました。



早朝、善光寺にて

前日の睡眠時間と酒量から思えば普段ならば動くことのできない朝でしたが、前夜祭でのノリで急遽計画された「朝七時からの善光寺参拝」で得られた善光寺パワーと、「え？昨夜、あれだけ飲んでいたのに…」と目を疑うほど元気な講師お二人の熱量から、「今日のセミナーは成功間違いなし！」と確信できました。

暦の上では「秋」なはずのセミナー開催日8月末日は、まだ猛暑真っ只中であつたため、長野県柔整師会会館の柔道場の冷房フルスロットルでの開催となりました。しかし、セミナーが始まると、参加者の「しっかりと勉強して自分の知識・技術にしていやる！そして、患者さんに還元する！」という熱い思いが強く、それは講師二人にも伝わり、冷房機器の故障を疑うほどの熱く素晴らしい座学でした。最新の知見や技術の話は我々の予想を遥かに超えるレベルで、後半の実技に関しては、まさに「明日からすぐ使える実践的な技術」で、講師二人の凄い手技を何とか身につけようと必死になる参加者の姿がうかがえ、フランクな講師の姿勢も加わり、今までに見たことがない「質問が飛び交う」実技講習となりました。



宇都宮先生、畑中先生による実技講習





当初の募集人数50名を超える64名の参加で開催できた「長野県柔整師会初の有料セミナー」は、終了予定時刻を超えてまで行われた現状も然り、心配していた決算額も最終的に若干の黒字となり、成功裏に終えたと自画自賛しております。しかし、これは当然、素晴らしい講師を呼べた奇跡あってのことですが、私一人には到底できる仕事ではありません。今まで長野県柔道整復師会の学術的な礎を築き、学会や講習会等をやってこられた諸先輩方の足跡・指導の賜物であり、ご協力頂けた当会の小池常務や、学術部が常にお世話になっている北澤さん他、事務局の方々の御尽力あってのものです。また、ご指導を頂きました柏木会長、石坂学術部長、セミナー運営委員のメインメンバーとして様々なご意見を交わし協力頂いた会員、東信支部学術部員、そしてここに書ききれない、関係して頂いた多くの皆さんのおかげです。感謝の意を心より伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

セミナー後の参加者アンケートに「今後もこの様なセミナーを企画・開催してほしい」の回答が多かった事は我々の今後の励みとなり、何より「知ることの楽しさ」を追い求める皆様の代表である学術部は、これからも全力で「柔道整復師」や「セラピスト」のレベルアップのた

めに尽力していく所存です。今回のこの貴重な経験を活かし、今後、運営も含めて、自分達だけでは決して成り立たないビッグイベントへと成長させたいという夢があります。そして、県内外の様々なセラピストや、長野県柔道整復師会の会員の意欲と協力の元に皆で高みを目指し、その先に「ありがとう」と言ってくださる患者さんのために、頑張っていきたいと思います。今後とも、皆様のご指導の下、尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。



実行委員の皆様、お疲れ様でした。



宇都宮先生、畑中先生、ご参加くださった皆様、ありがとうございました！

# 令和7年度 第41回中信支部学術大会

中信支部 吉澤 貴史

令和7年12月14日に松本市駅前会館（歯科医師会館）にて、第41回中信支部学術大会が開催された。出席者は中信支部会員38名、他支部会員・一般来場者12名、計50名の方々に出席していただいた。

学会は13時20分より開会し、13時30分より市民公開講座が行われた。本年度の講師は信州大学医学部運動器健康推進講座 准教授 林正徳先生に「手外科疾患の診断と治療」についてご講演いただいた。



林正徳先生

講演内容としては大きく3部に分かれており、①手外科疾患の性差について②メノポハンドについて③上肢のスポーツ障害についてだった。私たちが日常の施術にて、手指の痛みで来院される患者さんについて考えた時、圧倒的に女性が多く、今回はその理由がハッキリとわかりました。まず手指の手術についてだけで見た時に性差は女性がやや多い程度だが、年齢で見た時に男性は10～19歳に多く、女性は50歳以上に多く、そして女性については狭窄性腱鞘炎（ばね指）、手根管症候群（CTS）、手指関節症が多く、特徴的なのが「ばね指はCTSが原因となっている」とのことだった。そして何より重

要なことが女性ホルモン（エストロゲン）レベルが低下することにより、身体へ様々な影響が出はじめる。エストロゲンには $\alpha$ と $\beta$ の受容体があり、 $\alpha$ 受容体は主に生殖器や副腎や腎臓で働き、 $\beta$ 受容体は脳や内臓の他に骨、滑膜、血管で働く。よってエストロゲンの欠乏は急性炎症や血管新生に関する遺伝子発現に大きな影響を及ぼす。次にメノポハンドについてだが、私自身はこのメノポハンドについては初めて聞いた言葉だったので、とても興味が大きかった。メノポハンドとは「更年期女性の手外科疾患」について絞ったキャッチフレーズとのことで、これも先ほどのエストロゲン減少が関係してくる話であった。メノポハンドに含まれる疾患は狭窄性腱鞘炎、絞扼性神経障害、手指変形性関節症がある。しかしこれらには関係性が存在し、エストロゲンが低下すると腱や腱鞘が腫れる（ばね指など）→手根管内で神経を圧迫（CTS）、関節に慢性的な牽引力が働く→関節の摩耗（ブシャー結節）、エストロゲンが低下→関節の腫脹や摩耗や関節裂隙の狭小（CM関節症、ヘバーデン結節）などとなっている。これらの治療は近年ではステロイド注射が主流で外科的処置は減少している。ただし、ステロイドにはデメリットも存在し、リモデリングを抑制してしまうこともあり、大量長期の投与で腱組織の破壊も起こるので慎重にならなければいけないとのこと。そして、今回の講演の中で一番「明日から患者さんへ使える話」があり、それは女性ホルモン欠乏が原因でメノポハンドが起こるのであれば、女性ホルモンを補えば良いと言う事になり、エストロゲン様物質である「エクオール」を摂取することがおすすめである。エクオールは医薬品ではないので副作用の



心配がない。効果が未知数な部分があるが、エストロゲンと同等な作用をしており、更年期症状・乳がん・皮膚（しわなど）・認知症・循環器・高脂血症・骨粗鬆症などに期待されている。そして「エクオール」は腱や軟骨への影響も期待されており、関節症（ヘバーデンなど）へも近年では多くの効果が報告されている。もちろんこれはエクオールだけ摂取していれば良いということではないが、「自分で出来る事」の一つとして、とても手軽に取り組めることだと思う。最後に上肢のスポーツ障害だが、三角線維軟骨複合体（TFCC）損傷と上腕骨小頭離断性骨軟骨炎（OCD）の解説を行っていた。TFCC損傷は『捻挫』として扱われることが多いため、保存療法にて治癒が見込めることが多いのに対し、OCDは初期で判断出来れば保存療法で治癒に至ることも多いが、進行してしまうと外科的治療となってしまう。そして割合としては進行してからの来院がとても多いとされている。これは学童期（6～12歳）で発症することが多いため、痛みの初期で通院しようと思えることが少なく我慢してしまうためだ。私たちもこういったケースの窓口になることが多いので、OCD患者さんが来院された場合はいち早く紹介することが、患者さんのためになると考える。まとめとして①メノポハンドについては、女性ホルモンが関連する②ELCによる予防③メノポハンドや上肢のスポーツ障害は、特徴を知ることによって早めの予防や治療が可能である。この3つをポイントとして講演に幕を閉じた。

休憩を挟んで会員研究発表が行われた。今年度も前回に引き続き3題の発表となった。

第1席は松本北の関崎直樹会員による『ゴルフスイングによる腰痛の左右差について』であった。関崎会員は以前よりゴルフを行う患者さんが訴える痛みの場所が右腰に多いことに疑問を感じていたと言う。そこで今回はその疑問が正しいのかを過去に遡り患者データを確認したところ、右腰への痛みを訴える方が多いことが

判明した。これはスイングの特性によるものが多いと思われるが、こういったことへ着眼して疑問に感じる姿勢がとても素晴らしいと感じた。また、普段より患者さんの痛みに関して詳細な記録をされていることに、見習わなければいけない部分を多く感じた発表であった。

第2席は安曇野大北の三間慎一郎会員による『非荷重による上位頸椎への影響』であった。この発表は構造医学をベースとしながら、自分自身独自の考えを加えながら研究したとのことだ。骨盤を基に頭部までの構造にてバランスが崩れた場合、それを補うためにバランスを取ろうとする。するとその上でも補う連鎖が起こり、最終的には頸部では大きなバランスの崩れが生じる。それを非荷重側ではどうなっているのか？と言う研究をされた。ただ、内容が一般的にはわかりづらい内容であり、実技発表を行うことにより、よりわかりやすくして頂けた発表であった。

第3席は松本南の小林由弥会員による『前十字靱帯術後のスクワット動作パターンと下肢筋力の関係』であった。小林会員は松本市内の整形外科に勤務されている柔道整復師である。私たち柔道整復師にとって、整復固定と同等にリハビリの過程はとても重要である。ただ、ケガをした後にどの筋力を重点的に鍛えるべきなのか？と言うことを確実なデータとして持っている会員は少ないと思う。今回の小林会員の研究はそういった意味でとても重要であり、貴重なデータで、日本人は現代でも床で生活をする人が多く、立ち上がる際に両足同時に力が掛かることは無く、片足で途中までは体を持ち上げる。このようにスクワット的な動作でも、両足が健常でない場合には不自由さが出てしまうこともある。少し研究内容とはズレた話になってはいるが、結局私たちは患者さんのADLを守って行かなければいけない。そういった部分と合わせながら、私は今回の発表を聞いた。

今年度も各会員の研究は素晴らしく意義のある発表であったと思う。研究発表後は顧問医師



である磯部研一先生と小林博一先生より、発表に対しての総評をいただいて学会は終了となった。



磯部研一先生と小林博一先生より発表に対しての総評

学会を運営するにあたり『聞いてみたい、参加してみたい、発表してみたい』と思ってもらえるような学会を作るのは非常に難しい。近年は研究発表に対して会員が消極的になってしま

っている傾向がある。ただ現在の柔道整復師を取り巻く環境は決して良い状況ではないと私は考える。それは国の所為なのか？保険者の所為なのか？と考えた時に、それはその機関を納得させるだけの力を私たちは持っていないからだと思います。今回、都合上中止となってしまったが特別協議として『患者さんのためのカンファレンス』を行う予定でいた。これはお題（今回は前距腓靭帯損傷）に対して初診時の評価、復帰までのプロトコル、復帰判断の評価を会員で協議する予定でいた。これは私たち柔道整復師が一定の評価基準を持っていないからだ。このように何となく患者さんと向き合っているにもかかわらず、やはり自身が日頃より『何故そうなるのか？』を考えながら研究し、それを発表し、それを皆で協議し、一定の評価基準を作っていくと言うことが重要であると考えます。このような学の構築を会員全員で出来るような学会を目指していきたいと考える。



左から小林由弥会員（百瀬整形外科クリニック） 三間慎一郎会員（みつま整骨院）  
関崎直樹会員（天寿堂整骨院） 木船崇大会実行委員長（きぶね整骨院）



前列中央3名 左から礪部研一先生、林正徳先生、小林博一先生

# 長野マラソン救護活動報告書

北信支部 端山 千草

令和7年4月20日に第27回長野マラソンが開催され、約1万人を超える県内外のランナーと車いすマラソンのランナーが満開の桜の下、長野市の東和田長野総合体育館から、南長野のオリンピックスタジアムまで駆け抜けました。

(公社)長野県柔道整復師会から16名の会員が救護補助員として12か所の救護所に配置され、医師の指示のもと救護活動を行いました。担当した車いすフィニッシュ救護所では例年同様に負傷者は少なく擦過傷が1名でした。

女子フィニッシュ救護所で本会会員が担当した救護者は、熱中症による熱性けいれんの対象者に、医師による点滴処置後、下肢けいれんのストレッチの指示を行いました。その他は膝、

股関節、下肢のマッサージやアイシングを医師の指示に従い対応しました。

曇り空でしたが蒸し暑く、昨年より脱水症状で救護所を訪れるランナーや、転倒による擦過傷の負傷者が多く発生したように思います。

県外からのランナーより、「救護所での処置で、歩くことも困難な痛みが緩和し安心して帰宅できることや、沿道の応援や満開の花を見ながら、高橋尚子さんと一緒に走ることができ、「どの大会よりも楽しく走りきることができた。」と感想を頂きましたことをご報告いたします。

当日参加されました会員の皆様、大変お疲れ様でした。





# 「いってらっしゃい！」信州安曇野ハーフマラソン ～安曇野市制施行20周年記念 第11回信州安曇野ハーフマラソン救護活動～

中信支部 三間 慎一郎

Great team of members

降旗秀徳、木船崇、保尊伸昭、倉科正、征矢野勝利、清水謙次郎、関崎直樹、  
折口裕史、郷津純、三間慎一郎



2025年6月1日（日）午前8時30分スタートの「安曇野市制施行20周年記念 第11回信州安曇野ハーフマラソン」救護活動に今年は10名の救護チームで協力をしました。残雪のアルプス、大地の芸術である田んぼが美しい季節がやってきました安曇野市。豊科南部総合公園ANCアリーナをスタートゴールに、ハーフマラソンと2kmのファミリーラン合わせて6,025人のランナーを支える活動となります。

（公社）長野県柔道整復師会は毎年、信州安曇野ハーフマラソンの医療救護に協力しています。ご興味のある柔道整復師の方はぜひご入会いただき、一緒にグレートチームとしてスポーツ救護の場でも活躍しませんか。大会での救護活動は、医接連携をしながら大変貴重で学びの

多い1日となり柔道整復師会ならではの活動の一つです。どの救護所でも「いってらっしゃい！」と送り出せるよろこびを感じているときに我々は輝いています。

それでは輝きを放つ各救護所の会員に聞いてみましょう。

### Q 1. 今回のハーフマラソンはどうでしたか？

- 出走ランナーにとってマラソン日和であったのか、自己ベストが出たという会話を多く聞き、天候に恵まれ重大事故の報告もなく、全体としては大成功の大会だったと思います。(降旗)
- 一時、救護の手が足りませんでした。(倉科)
- 安曇野マラソン初めての救護参加でした。地元の方が一生懸命大会を盛り上げ、沿道の応援もランナーの助けになっているように感じました。(折口)
- 第2救護所はコースの折り返し地点で地元の方が多数声援していました。田園風景を楽しみながら走るのには最高のロケーション、その中を往復する選手を応援しつつも活動ができました。唯一雲が多くて山が望めなかったのはちょっと残念です。(保尊)
- 自分は今回初めてコメディカル①で活動をしたのですが、3年前からあったようで柔整師の配置は今大会からでした。筋痙攣6件、肉離れ2件で私に対応することが多く、運営側が柔整師をそこに配置した意味が分かりました。また、今大会から自転車救護隊にGPSがついたようで、救護が必要な人がいた場合のより迅速な対応ができるよう運営側の対応が向上していると感じた。(関崎)

### Q 2. ランナーへの対応はどうでしたか？

- 自分は同じ本部で救護2回目なので安曇野日赤のスタッフと上手く連携できたと思います。これは安曇野の先生が第1回から今回11回まで続けてきたお陰だと思います。今回コールドスプレーは無く、氷を使ってビニール袋に小分けしてランナーに配ると喜ばれ、効果と費用の面で良かったです。あと最後に救急搬送が5件でした。(征矢野)
- 本部救護所：処置する側の医療スタッフから見ると、完走後のセルフケアが不十分なランナー、実力以上に120%を出したランナーが多く見うけられ、ゴール地点の救護所は大

変でしたよ。(降旗・木船)

- 中症1名(リタイヤ) 軽症2名(復帰) その他観客2名軽症(年配の方が足もつれて転倒、観戦中息切れした) スタッフで連携して活動できました。(保尊)
- 「足が痛いのでテーピングしてもらえますか？」と2.5kmの段階で来たので、テーピングを行い「もし痛みがあり無理そうならリタイヤして下さい」と送りだしたが、18.5kmの救護所に寄ってきて「痛みが軽くなって走る事が出来ました」と報告してくれました。少しでもランナーの役に立てた事が嬉しかった。(関崎)
- 3人のランナーを対応しました。内訳は左下腿部の肉離れ1件・下肢の筋けいれん2件。(郷津)

### Q 3. 医師、スタッフとの親睦はどうでしたか？

- 医師・保健師・看護師・医事スタッフともにコミュニケーションは取れており、軽症ランナー対応の中でも筋痙攣については柔道整復師に声がかかることが定例となってきた。(降旗)
- 安曇野日赤のスタッフと上手く連携できたと思います。お疲れ様でした。(征矢野)
- 本部救護所：救護者が続々と搬送されてくるにしたがい、徐々にそれぞれの役割を理解し交流が生まれました。柔整師への理解が深まるいい機会であったと思います。(清水)
- 毎年同じ場所で、同じ医師、スタッフでの対応ですので皆さんに本当によくしていただいております。(倉科)
- 医師会の先生、看護師、市の職員の皆さま気さくにお話ししていただきとても有意義な時間を過ごしました。(折口)
- ランナーを救護する際にはスタッフの皆さんと連携して対応ができ、ランナーが来ない間にはいろいろお話ができて親睦を深めることができました。(郷津)

Q 1 からQ 3、皆様ありがとうございました



た。

今回、路上で動けなくなっているランナーがいるとボランティアの方が救護所に連絡してくれた。すぐに駆け付け下肢の痙攣の処置しマラソンに復帰することはできたが、しばらくその状況が続いていたためか走ることを非常に怖がっておられた。まず一緒に歩きはじめ、一緒にしばらく走り異常が出ないことを確認したが、ランナーからは「一緒にゴールまでついてきて」と要望された。だが、今回より簡易救護所ができたためそこまで大丈夫だから頑張って、ランナーにとっては救護所が心の支えとなり、「いってらっしゃい！」で送り出した。少しは寄り添えたかな。ランナーを復帰させた判断は間違っていないと思うが、この経験で素晴らしいのは、救護所まで知らせてくれたボランティアの方、また声援を送っていた市民の方が自分の座っていた椅子をランナーに差し出し座らせて休ませていたことだった。みんなでランナーを守っているハーフマラソンは最高であり

感謝です。

適切な処置を行いながらも丁寧な声掛けを行い、安心できる環境を作っていくことは救護を行っていく上で重要であると考え。受傷の状況に応じて、大会への参加を中断せざるを得ない場合もあり、救護を行う際に受傷者の思いも尊重しながらも、身体状況を確認し、専門職として客観的な判断を行っていくことが重要であると考え。そして、参加者の健康維持のため、中断をしなければならない状況の場合は、身体状況や競技復帰に関するリスクを十分に説明することが大切である。そのために救護活動を行う我々には、説明能力やコミュニケーション能力、交渉力も必要な技術であると考え。また、メディカルスタッフは発生時を想定した心肺蘇生法（CPR）とAED使用の実践的なトレーニングが重要であると考えている。柔道整復師は普段から一次救命処置を頻繁に実施する環境にない者が多く、準備機会を定期的に用意しなければならないと感じた。









## 日本赤十字社長野県支部に寄付金寄贈

事業部長 宮下 厚

令和7年6月19日（木）、今年度の日赤長野県支部への寄付金の贈呈のため、柏木久明（公社）長野県柔道整復師会会長と私とで、日本赤十字社長野県支部を訪問しました。

本年度も日赤長野県支部の2階で、日本赤十字社長野県支部事務局長・伊藤一紀様に寄付金20万円を柏木会長から手渡しました。その後、事務局長伊藤様と事業推進課長小柳由佳様、救

護係長関様と私たちとで15分ほど色々と話をしました。

最後に、本年度も日赤と長野県柔道整復師会赤十字奉仕団と日赤救護隊との関係を密にして救護に当たっていききたいとの事でした。また救護係長関様から、本年度もお願いする事が色々ありますが協力お願いしますとの事でした。



寄付金 贈与

事務局長伊藤様（左）  
柏木県会長



# 令和7年度 日本赤十字社 長野県支部合同災害救護訓練

北信支部 布施谷 貴博



まだまだ暑さが残る9月28日、飯山赤十字病院のご協力により、令和7年度日本赤十字社長野県支部合同災害救護訓練が行われました。

長野県柔道整復師会から、北信支部5名（井出和光・端山千草・武士和哉・藤巻雄太・布施谷貴博）、東信支部から4名（坂口卓・佐藤直幸・横関徳夫・浅川健一）、の合計9名の参加がありました。

目的は、「人道を理念とする赤十字の第一義的任務である災害救護活動を的確かつ敏速に実施するため、日本赤十字社救護規則、日本赤十字社長野県支部災害救護計画及び令和6年能登半島地震における災害救護活動の経験を踏まえ、自治体や防災関係機関、地域住民との連携を図りながら、長野県支部と県内赤十字社施設が有する全機能を発揮し、災害時に即応できる体制の確立に資することを目的とする」です。

訓練内容は、長野県赤十字救護隊15名と合同でエアートント設営・通常テント設営・

簡易ベッド設営・担架準備などをして、4人一組の3班編成に分かれ、トリアージ後の負傷者をテント内へ搬送しました。柔道整復師会赤



十字奉仕団は、トリアージ後の緑タグ軽傷者の処置を担当しました。持参した段ボール・厚紙副子・包帯・三角巾・タオルを使用して応急処置を行ったのですが、処置の時間内は本来の班編成の役割が果たせず、規律行動を乱してしまい、今後の課題が浮かびました。

訓練終了後、炊き出しのご飯と豚汁を頂き、反省会を経て解散となりました。どの訓練も緊張感がありましたが、緑タグの対応については、柔道整復師が行える処置が沢山あることが分かりました。過去に本当の災害時に医療救護に参加する経験が殆ど無い我々としては、今回の訓練で、DMAT隊医師・看護師との連携の重要性と、トリアージ後の医療救護所への搬送でも担架の操作方法についても事前訓練が必要と感じました。

災害は、いつどこで起こるかは誰にも分からない事なので、長野県柔道整復師会もDJAT隊の活用と災害現場での応急処置に使用する資材の準備や応急処置の訓練を定期的に行っておく必要が有ると思います。





# 令和7年度 松本市医療救護訓練

中信支部 廉澤 大輔

令和7年10月19日（日）（午前8：30～12：00）に松本市医療救護訓練が行われ、今年度は市内10救護所に11名の柔道整復師が参加をしました。松本市医療救護訓練の当日に向けて、令和7年10月16日（木）には、参加会員による事前打ち合わせ会議を行い、実技内容の確認（令和7年度は上肢負傷の応急処置）、前回の訓練の反省点、今年度の訓練についての課題や目的意識の共有を図りました。

私の参加した旭町中学校では、医師、歯科医師、薬剤師、松本市職員、学校職員、柔道整復師で訓練を行いました。

## 【訓練内容】

- 集合、出欠確認、アクションカードの説明、本部開設報告  
自己紹介、アクションカード説明、指揮命令系統の確立
- アクションカードに基づく救護所開設訓練（建物安全点検を含む）  
会場設営、医薬品・衛生材料搬送訓練
- トリアージ訓練、応急処置訓練、本部運営報告
- 避難所における医療的支援のケース検討（歯科医師による避難所における口腔ケア活動の確認）
- 反省会、片付け

## 【実際に訓練をしてみても】

当日は、救護所開設訓練予定場所の柔剣道場に集まり、出欠確認、自己紹介の後、医師会の先生を班長としてアクションカードに基づいた、指揮命令系統の確立、救護所開設訓練、トリアージ訓練、応急処置訓練を行い、旭町中学校では体育館が避難所に指定されているので、災害発生から3日後を想定した医療的支援のケ

ース検討を参加者全員で話し合った。避難所においては、胃腸炎が出た場合、発熱者が出た場合、感染症の蔓延が危惧される場合などにどのように避難者と分けて対応するか話し合った。能登半島地震の際、一番困ったのはトイレと言われており、感染症が出た場合などどう分けるか、またトイレの必要数について意見が交わされた。

旭町中学校では、救護所開設予定場所は柔剣道場に指定されており、開設に必要な物品を保健室、体育館、視聴覚室、柔剣道場にて細かく確認し、柔剣道場に物品を運ぶルートもしっかりと確認することが出来た。アクションカードに基づいた訓練は、回数を重ねるごとに参加者も慣れてきてスムーズに行えるようになってきているように感じ取られた。

応急処置訓練では、松本市職員よりソフトシーネを用いての固定を依頼されたので、前腕部の負傷を想定したソフトシーネ固定をして三角巾での提肘を実演、説明し、災害時に物資が整っていない場合がある時は、日常生活で使用しているものを用いて応急処置をすることについても説明をしました。

## 【まとめ】

今回で3回参加させていただいて、アクションカードに基づいた医療救護所開設に対する理解が、参加者全員において深まってきていると感じました。災害時に迅速に対応できるように定期的に訓練を行い、他団体と信頼できる関係を築いておくことの重要性、また日ごろから防災への意識を高めておくことが大切だと改めて



強く感じました。参加会員の皆様からの意見・要望などは次年度の参考にさせていただき改善していけるように努めていきたいと思ひます。

参加された会員の皆様におかれましては大変お疲れ様でした。

今後の医療救護訓練にも参加、協力の程宜しくお願ひします。





## 第3回 佐久平ハーフマラソン 救護活動報告

東信支部 廣川 喜博

令和7年10月19日（日）佐久市にて第3回佐久平ハーフマラソンが開催され、私たち（公社）長野県柔道整復師会 スポーツ支援部及び東信支部会員10名が救護活動の依頼を受け、医師及び看護師、地元ボランティアなどの方々と協力し、約4000名のランナーが出場する大会の救護活動に参加いたしました。ゲストランナーは、地元の佐久長聖高等学校出身の佐藤悠基選手（SDホールディングス所属）でした。

当日は、早朝の気温が13℃と寒い中、寺嶋久程 東信スポーツ支援部部長のもと熱気あふれる10名が、第2～第8救護所とAED装備した自転車部隊に分かれ対応しました。1マイル（ファミリーコース）、5キロコース、20キロコースの3コースあるため、参加ランナーの年齢層も幅広く、小学生低学年から高齢者まで広範囲にわたり救護いたしました。コース上の救護所では、下腿筋断裂を起こしたランナーの対応などの報告がありました。

私は、昨年同様にゴール直後の第8救護所担当のため、ゴール直後に嘔吐した少年への対応、転倒による擦過傷のランナーへのゴール直後に蹲っているランナーに水分の供給と声掛けを行いました。また芝生の上で仰向けになって休憩をとっているランナーにも声掛けや巡回を行い、負傷者の見逃し防止に努めました。ゴール後の歩行困難になったランナーを救護所まで抱え込んで応急手当後、「先生のおかげで歩けるよ」と金沢市から参加したランナーにも喜んでいただきました。ガールスカウトやスタッフの方と連携し、女性ランナーや子供などの盗撮

防止などにも配慮しました。参加された高齢ランナー御夫婦から「皆さんのお陰で無事夫婦揃って完走できたよ。今日誕生日だから良い1日になった。ありがとう。」とお声をかけて頂き、来年の再開もお約束させていただきました。

外傷だけではなく、脱水症や低体温症などのランナーもゴール後の路上で発生し、担架にて、本部の医師のもとへ搬送させていただきました。

普段、自院内では経験することがない体験をさせていただく機会を与えて頂いた大会運営の方々、一緒に素晴らしい時間を共有させて頂いたランナーとボランティアスタッフの方々に感謝いたします。秋季は中体連新人戦の救護ボランティアもある多忙の中で、スポーツ支援活動にご協力頂いた会員の皆さん有り難うございます。信州やまなみ国民スポーツ大会も控えている中、本当に良い経験ができ、心が温くなりました。



参加会員一同

## 「第37回諏訪湖マラソン大会」 救護ボランティア報告

南信支部 木村 浩士

令和7年10月26日（日）に第37回諏訪湖マラソン大会が開催されました。諏訪湖マラソンは諏訪湖ヨットハーバーを発着点とする日本陸上競技連盟公認のハーフマラソンコース（21.0975キロ）で行われ、フラットで走りやすく湖畔の景色を楽しみながら走れるので人気が高く、今回も、あいにくの天気にもかかわらず全国から約6000人もランナーが集まり、秋深まる諏訪湖の湖畔を沿道の声援を受けながら雨にも負けず走っていました。

今回、日本赤十字社長野県支部を通して当該大会委員長から派遣依頼があり、長野県柔道整復師会赤十字奉仕団として、救護ボランティア担架隊へ、宮下厚副会長・吉原賢一南信支部事業部長・丸山敬士会員・木村の4名が参加いたしました。

当日は6時30分に諏訪赤十字病院駐車場へ集

合し、その後、赤十字奉仕団の方々や一般市民ボランティアの方々と連携し、救護活動を実施しました。

活動内容は傷病者の担架搬送を主な任務とし、諏訪赤十字病院の理学療法士を班長とする7班に分かれて配置されました。それぞれが各持ち場にて待機し、救護本部からの指示に基づき出動しました。

幸い、重篤な傷病者は多くはありませんでしたが、吉原会員、丸山会員が所属する班では搬送要請があり、迅速に対応していました。

12時30分頃に参加ランナーの皆さんがゴールし、13時にボランティア活動も解散となりました。

大会側から送付された大会資料に長野県柔道整復師会の名称が記載されなかった点は残念に思いましたが、良い経験ができたと思います。



丸山敬士会員 宮下厚副会長 吉原賢一会員

# 令和7年度安曇野市医療救護訓練

中信支部 木船 崇

開催日時：令和7年11月16日（日）

AM 8：30～11：30

この訓練は災害時に医療機関が機能不全となった場合や、被災現場付近での応急処置のための救護所を設置する目的で行う。構成は三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）

柔道整復師会 助産師会 保健師 日本赤十字社（医療救護） 市職員からなる。

当会参加者 本部医務班

木船 崇 保尊伸昭

豊科医療救護所

倉科 正 郷津 純

三郷医療救護所

中村吉孝 井出克行

（以上6名）

救護訓練所は二箇所、今回は豊科と三郷の保健センターを使用した。ここでは医療救護所の設置から情報の伝達、トリアージ訓練を実施し、災害時における参集から初動期の活動について訓練を行い、本部医務班・医療救護所要員の災害対応力の向上を図った。

今回の訓練において、印象に残ったのはIP無線機（グループ通話）が初めて使用されたことである。チャット機能、写真転送機能等を有していて以前の無線機より格段に便利になっていると思われる。

本部医務班では柔道整復師は情報処理係とし

て、二箇所の救護所とIP無線機（形はスマホ似）を使用して連携業務を担当した。今回の無線通信で感心したのは、従来だと報告者が伝えてきた内容の聞き取りが不十分な場合に再度聞き直すことになるが、チャット機能が付帯されており、それを見返せば通信した内容が判るようになっていた。話した言葉がすぐに文章となることに驚いた。ただ、それが意図する意味とは違う漢字表記等になることもあり、読み取る側がしっかりと判別する必要がある。それができればほぼ間違いなく正しい情報が伝えられるだろう。

訓練後の感想として今回、私が受け持った情報処理係は専門的分野の構成員が望ましい。そういう者でないと、初見で機器を使いこなすにはハードルが高いと感じる。そうでなければチャート図等で理解しやすくして頂ければありがたい。

また課題点として、今後も世の中はDX（デジタルトランスフォーメーション）化が進み災害現場においても、これらが果たす役割が増えることが予想される。しかし、機器が思ったように使用できない状況になった場合の代替方法も準備しておく必要があるだろう。

最後に、実際に災害が起きた時の準備としての訓練にどれだけ近づけているか。それが大切な事であり、常にそれを心掛けて今後も望むことが大切である。





本部医務班の様様



本部医務班参加者・三師会と救急隊の方々と



トリアージ訓練（豊科救護所）



打ち合わせ（同左）

# 第44回日整全国柔道大会を終えて

東信支部 土屋 歩

令和7年11月16日（日）東京講道館において第44回日整全国柔道大会が開催されました。今大会から、全国11ブロックより選出された代表選手による3人制の団体戦となり、私は以下のメンバーとともに北信越ブロック代表として出場しました。

## 【北信越ブロック代表選手】

先鋒30代 窪田和樹（石川県）

中堅40代 土屋 歩（長野県）

大将50代 川口 稔（福井県）

代表選考が行われた6月からこの日のために練習量を増やし、時には地元の強豪高校、佐久長聖高校の選手の胸も借りながら稽古に励んできました。ところが大会2日前の14日、私の指導する軽井沢柔道クラブにて一般の選手と最後の乱取り稽古の最中、私の足技と相手の膝が激しくぶつかり足趾を負傷し、翌日15日に整形外科にて診断を仰いだ結果、左第2趾中節骨の骨折でした。柔道においては重心のかかりやすい、また瞬発的に技をかける際にも重要になってくる部位だったため、痛みも去ることながら、私自身初出場となるこの全国大会に向けて準備してきたこともあり、試合直前の気持ちの面でも辛い怪我となってしまいました。しかし試合を翌日に控えた状態で替えの選手もいません。出場を決心し、同会員の父に応急処置をし

てもらい、2人でテーピング固定の試行錯誤をし、当日痛み止めを飲んで何とか出場までたどり着くことができました。

初戦は東京都との試合でした。先鋒から大将までの3人引き分けの後、代表戦にて30代窪田選手が攻め勝ち旗判定3-0で勝利を収めました。

準々決勝の大阪との試合は、先鋒窪田選手が一本勝ちしたポイントを中堅、大将と引き分けで守り抜き、見事勝利しました。

準決勝、東海ブロックとの試合は接戦でした。先鋒窪田選手が惜しくも一本負けを喫し、中堅土屋が引き分け、そして大将の川口選手が一本を取り返し1-1に。内容も同スコアとなり、初戦に引き続き窪田選手が代表戦に出場し、相手チームも同様に先鋒の30代の選手が選ばれ再戦となりましたが、惜しくも一本で敗れてしまいチームも敗戦となりました。

しかし準決勝で敗れはしましたが、北信越チームは3位入賞という好成績を残すことができました。私自身最高のパフォーマンスとはいきませんでした。その日出せる実力は全て発揮できたと思います。団体戦として、他県の先生方と力を合わせて戦い抜くことができたことも非常に良い経験になりましたし、嬉しく思います。



第44回日整全国柔道大会 北信越代表選手



監督 佐々木西盛    50代 川口 稔    40代 土屋 歩    30代 窪田和樹

最後に、今年度の北信越ブロック柔道大会を  
主管してくださった福井県柔道整復師会、同チ  
ームの先生方、応援いただいた長野県柔道整復

師会の会員の方々に心よりお礼を申し上げ、大  
会報告とさせていただきます。



## 第34回日整少年柔道大会

中信支部 西川 陽一

令和7年11月16日（日）東京都文京区にある講道館において、文部科学大臣杯争奪・第34回日整全国少年柔道大会が開催され、長野県選抜メンバー5名の子供たちと参加させて頂きました。

### 【メンバー構成】

先鋒 4年 小林和史（滴水館道場）  
次鋒 5年 吉田秀平（長野市中央柔道教室）  
中堅 5年 速水來士（煌士会柔道教室）  
副将 6年 犬飼陽馬（滴水館道場）  
大将 6年 丸山 大（東御市柔道教室）  
コーチ 上原隆幸

この5名の精鋭が北信越ブロック並びに長野県柔道整復師会より、多大なるご支援を頂き強化練習を重ね試合に臨みました。

一回戦は東京Bと対戦し、4－0の勝利。

二回戦は徳島県が相手。先鋒は引き分け、次鋒は負け、中堅は引き分けでした。私は思わず、副将犬飼選手に「はるま、頼むぞ!」と声を掛けました。6年生が意地を見せ抑え込みで一本勝ちし、1対1に戻しました。大将の丸山

君は今回が三回目の出場で、主将として皆に気合を入れてくれたチームの大黒柱です。必ず勝ってくれると思っていた矢先、投げられて技ありを取られてしまいました。「もはやこれまで…」と思いましたがすぐに払い腰から抑え込みで逆転の合わせ技一本勝ち！ 2対1で勝つことができました。

三回戦は昨年優勝の宮崎県が相手でした。全員、頑張りましたが3対0の完敗でした。宮崎県は昨年に引き続き優勝を果たしました。

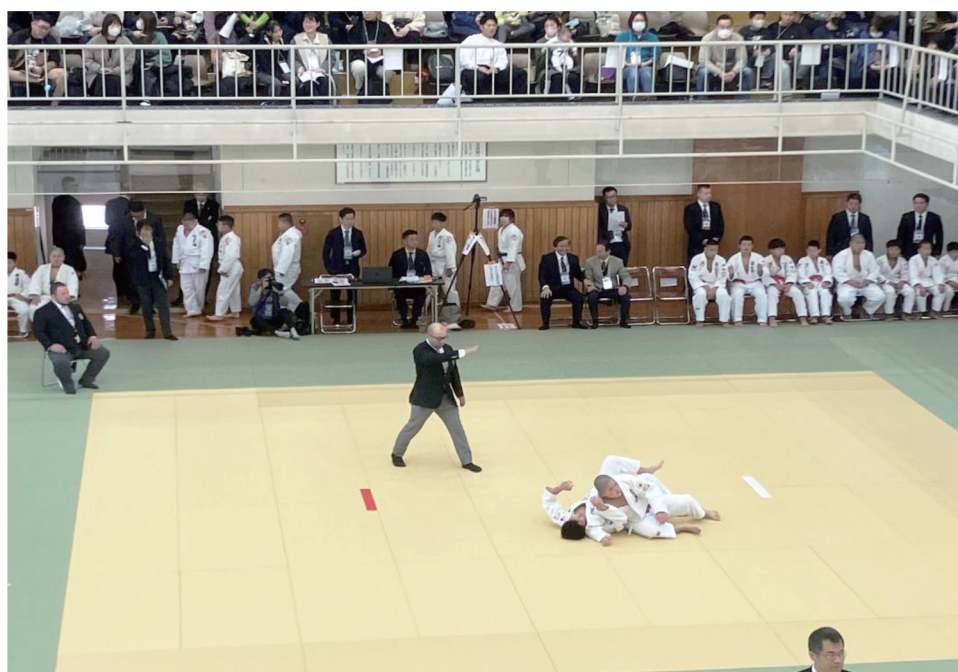
会場まで応援に来て下さった柏木久明会長、降旗秀徳スポーツ支援部長をはじめ、ご理解とご協力を頂きました長野県柔道整復師会の全ての先生方に深くお礼申し上げたいと思います。この大会がどれ程、子供たちを成長させたか計り知れないと今、心より感謝しております。

子供たちは大人が思う以上にプレッシャーを受けていたと思いますが、それを乗り越え最大限に努力をしてくれたと思います。今回、負けた悔しさを力に変えて、私は今後も指導者として子供たちと精進していきたいと思っています。

## 長野県少年選抜チーム



先鋒 小林和史    大将 丸山 大    副将 犬飼陽馬    次鋒 吉田秀平    中堅 速水來士



大将丸山大選手    合技一本勝ち    (二回戦 対徳島戦において)



# 第15回日整全国少年柔道「形」競技会・長野県予選会

スポーツ支援部柔道委員 伊藤 裕司

令和7年7月27日（日）柔道「形」競技の長野県予選会が、（公社）長野県柔道整復師会会館3階柔道場にて開催されました。本年度の出場選手として、南信地区から飯田武道館の「取」寺本栞選手（小学校4年生）と「受」池田詞葉選手（小学校4年生）、そして東信地区から開示塾の「取」瀧澤颯真選手（小学校6年生）と「受」黒川柚南選手（小学校6年生）が出場しました。

長野県代表として全国競技会に出場する選手を決める予選会は、両チームとも迫力があり、選手だけでなく会場全体が緊張感で張りつめていました。

競技後は、審査委員である瀧澤義人会員、小

林修先会員より講評を頂きました。全国大会に向けて瀧澤義人会員直々に「形」の指導を頂き、選手及び監督の皆様が真剣に聞き入る姿がとても印象的でした。

厳正なる審査の結果、瀧澤颯真選手・黒川柚南選手が、11月に講道館で行われる全国競技会に出場が決定し、両選手には健闘することを期待しています。

結びに今競技会で審査委員を務めて頂いた、瀧澤義人会員、小林修会員、競技会設営にご協力いただいた事務局、部員の先生方に今競技会が盛大に開催できた事を心よりお礼申し上げます。





## 結果報告 令和7年7月27日（日）AM10:00～11:30 本会会館3F柔道場

出場チーム 先行 飯田武道館（取）寺本 栞（受）池田 詞葉  
 後行 開示塾（取）瀧澤 颯真（受）黒川 柚南  
 （審査員）瀧澤 義人 小林 修

採点結果 優勝 開示塾 準優勝 飯田武道館

先行 飯田武道館

（瀧澤 義人）

（手技）①浮落5.5 ②背負投6 ③肩車5.5  
 （腰技）④浮腰6.0 ⑤払腰6.0 ⑥釣込腰6.5  
 （足技）⑦送足払6.0 ⑧支釣込足5.5 ⑨内股5.5  
 ⑩全体の流れ5.5 ⑪（礼法）6.0

合計64点（100点計算）58.1点

（小林 修）

（手技）①浮落5 ②背負投4 ③肩車4  
 （腰技）④浮腰4 ⑤払腰4 ⑥釣込腰4  
 （足技）⑦送足払4 ⑧支釣込足4 ⑨内股3  
 ⑩全体の流れ4 ⑪礼法6

合計46点（100点計算）41.8点

瀧澤 義人 64点 小林 修 46点 審査平均点数 55点

後行 開示塾

（瀧澤 義人）

（手技）①浮落7.0 ②背負投6.5 ③肩車7.0  
 （腰技）④浮腰6.5 ⑤払腰7.0 ⑥釣込腰7.5  
 （足技）⑦送足払7.0 ⑧支釣込足7.0 ⑨内股7.5  
 ⑩全体の流れ7.0 ⑪（礼法）7.0

合計77点（100点計算）70点

（小林 修）

（手技）①浮落7.5 ②背負投7.0 ③肩車7.0  
 （腰技）④浮腰7.0 ⑤払腰6.5 ⑥釣込腰7.0  
 （足技）⑦送足払7.0 ⑧支釣込足7.0 ⑨内股5.5  
 ⑩全体の流れ7.0 ⑪礼法7.0

合計75.5（100点計算）68.6点

瀧澤 義人 77点 小林 修 75.5点 審査平均点数 76.2点

# 第44回日整全国柔道大会 北信越ブロック予選会 in福井2025

スポーツ支援部長 降旗 秀徳

令和7年6月28日（土）福井県立武道館に於いて、コロナ禍を挟み6年ぶりに北信越地区の柔道大会が開催されました。以前までは東部・西部に分かれてのチーム編成でしたが、今回は一つのチームに統一され、その各年代の代表選手を決定する予選会となりました。



長野県から50歳代 内山貴之会員、40歳代 土屋歩会員、30歳代以下 土屋樹会員の3名が選手として出場し、監督は小林修会員の陣容で大会へ臨みました。

40歳代で土屋歩会員が優勝を果たし、北信越代表として全国大会への出場を決めました。



また大会前には北信越ブロック柔道功労者として小林修会員、村山洸介会員、土屋歩会員の表彰が行なわれました。



## 第30回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会南信予選会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会南信予選会

スポーツ支援部 南信柔道委員 伊藤 篤

令和7年5月18日（日）飯田市武道館柔道場において、9チーム男女あわせて94人の参加があり盛大に開催されました。コロナが明けてから徐々に参加人数も増え、とても活気ある大会となりました。

この大会は県につながる大会ということもあり、子供たちはもちろん指導者や保護者の熱量も凄いです。それはアップの時から感じられます。やはり勝ちたいですからね！

そして、試合を通じて子供たちは多くのことを学び成長していきます。試合開始すぐに投げられ負けてしまう子や、先にポイントを取られるも逆転の一本勝ちする子、あるいは3分で決着つかず判定までもつれる試合など、様々な経験をしていました。

また、観覧する保護者の方々も「ガンバレー」と力強い声援を送り、館内に響き渡ることでも私思わず手に力が入っていました。

また、今回の大会には幼児チャレンジマッチという独自の催しがあり、役員が柔道を盛り上げようとして企画しました。今回は試験的に開いたので1組の試合のみでしたが、来年はもっと増やして開催したいと語っていました。

でも、運営側としては無事終了してくれと願うばかり…。大きな怪我をする子もなく昼過ぎに全ての行程を終了した時にはホッとしていました。

最後になりますが、今回改めて「元気に戦う子供たちの姿っていいな、柔道って面白いな」と思い子供たちから元気をもらいました。





# 第15回日整全国少年柔道「形」競技会

スポーツ支援部長 降旗 秀徳

令和7年11月16日（日）文部科学大臣杯争奪第34回日整全国少年柔道大会とともに、標記の競技会が東京の講道館にて開催されました。7月の長野県予選会を経て、東信の内山貴之会員が指導する選手2名が全国大会の舞台に臨みました。

健闘及ばず決勝の演武への進出は叶いませんでしたが、きっと良い経験を積むことが出来たのではないかと思います。今後の柔道への精進をさらに期待いたします。

## ※ 以下、引率された内山監督からの報告

### 【長野県代表・結果】

取 瀧澤 颯真 6年 所属道場 開示塾  
 受 黒川 柚南 6年 （同 上）  
 監督 内山 貴之  
 結果 予選Cブロック 12チーム中 7位

### 〈監督コメント〉

県代表2名の「形」の正確性は、決して他のチームに劣るものではない。

アクションの大きさとスピードの差が敗因であったと感じた。

これは、半年くらいの稽古で身につくものではなく、2年、3年と継続して稽古をすることによって身につくものである。

実際のところ今年優勝した東京都や2位の兵庫県、3位の新潟県は、同ペアで2～3年継続してこの大会に参加し、見事な結果を収めた。

そのことから、今後県代表が入賞するには、継続したチーム作りや指導を行う必要がある。

## 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会 第30回長野県少年・少女チャンピオン大会東信予選会

東信支部 柔道委員 上原 隆幸

令和7年6月1日（日）長野県立武道館において、第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会・第30回長野県少年・少女チャンピオン大会東信予選会が開催されました。

当日、延期された小学校の運動会が重なってしまい、午前中に中学生以上の無段者と有段者の部の個人戦と一般団体戦を行い、午後より小学生の予選会を行いました。

ルール改正に伴う大きなトラブルもなく、小

学生から社会人まで1回でも多く勝ち進もうと気迫に満ちた試合を繰り広げ、役員、指導者、応援者は、大きな拍手と声援で盛り上げていました。

最後になりましたが、石坂支部長をはじめ14名の会員の方におかれましては大変ご尽力いただき誠にありがとうございました。

心よりお礼申し上げます。



# 第30回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会 第34回 (公社) 長野県柔道整復師会少年柔道大会

スポーツ支援部 南信柔道委員 伊藤 篤

令和7年6月15日(日)県立武道館において、男女あわせて288人の参加のもと盛大に開催されました。各地区の予選会を勝ち抜いた選手が集まるだけあって、物凄く活気ある大会です。

この大会は日整全国少年柔道大会の選手選考や北信越強化選手選考および県強化選手選考も兼ねており、優勝を狙っている子の気迫が伝わってきます。やはり勝ちたいという気持ちはみんな一緒なので、気合いが入っていました。

試合は日々の稽古で練習した技や技術を試し合い、どれだけ身につけているかを確認できます。当然ですが勝負なので勝ち負けがあります。勝てば嬉しいですが、負ければ悔しいと泣く子もいます。勝負の中から多くのことを学び成長しています。それは選手だけでなく指導者も同じです。勝負の結果から指導方法が合っているか、間違っているかが現れるからです。そうやって選手と一緒に成長していきます。それが柔道精神の「自他共栄」なのです！

また、運営側も大会を盛り上げようとして開会式を観覧しやすいようにステージでなく会場

中央で行ってみたい、表彰式をトロフィーでなくメダル授与にしてみたりと創意工夫していました。とくに表彰台の演出が素晴らしかったので、保護者の方々にも好評だったようです。

そして、救護員も応急処置に活躍されていました。今後は新人の研修にもぜひ活用し、救護の手順を学ぶ機会にもしてほしいなと思いました。でも、怪我無く無事終了することが理想的なので、大きな怪我をする子もなく終了した時にはホッとしていました。

最後になりますが、大会を運営するためには多くの人達の力が集まり成り立つことを改めて感じました。嘉納先生の教えに「心身の力を社会の存続と発展のために良い方法で用いて社会全体の繁栄を目指す」とあります。これが柔道の目的であり「精力善用」なのです。この大会は正にこれを体現しているのではないかなと思いました。

11月16日(日)の日整全国少年柔道大会へ出場される選手の皆さんが、講道館で大活躍されることを期待します。





## 第30回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会中信予選会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会中信予選会

中信支部 スポーツ支援部柔道委員 高原 祐樹

令和7年5月11日（日）、三郷文化公園体育館柔道場にて上記大会が開催されました。

中信地区で日頃から柔道稽古に励む誠心館道場、克己塾、滴水館道場、安曇野市柔道協会、大町柔道会の選手が各学年に分かれ、熱戦を繰り広げました。厳しい稽古に励んできた各選手からは気合が感じられ、これから始まる試合は壮絶を極めるものと期待が膨らみました。

今大会は県大会に繋がる為、選手は激しい技の攻防や鮮やかな一本を決め、会場からは大きな拍手や歓声が沸いていました。上位入賞者、

県大会出場順位の選手の皆さん、県大会においても更なるご活躍を期待いたします。

（公社）長野県柔道整復師会降旗秀徳副会長をはじめ5名の会員にお手伝いいただき、大会運営を無事に終える事が出来、また私は救護員を務めましたが、大きな怪我もなく安全に大会が運営されたことに安堵しています。

最後になりましたが、中信柔道連盟大会役員及び審判員の会員の皆さまにおかれましては、今大会に壮大なご尽力を頂き誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

## 第30回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会南信予選会 第34回（公社）長野県柔道整復師会少年柔道大会南信予選会

南信支部 スポーツ支援部柔道委員 大森 千草

令和7年5月18日（日）、飯田市武道館柔道場に於いて開催され、当日は大会を祝福するかのような快晴に恵まれることができました。

大会では、渡邊尋会員に挨拶と賞状授与をしていただき、羽生優会員には救護を、伊藤篤会員には大会運営にご協力頂きました。

競技は日頃の鍛錬をそれぞれに出し合いながら白熱した試合が繰り広げられ、監督やコーチ

の選手に対する適切なアドバイスのもと、選手同士で技の掛け合いをする攻防に観客は魅了されました。又、保護者の方々の所属チームの子供への応援で、大会が盛り上がりました。

最後に、多くの方々のご尽力とご協力のもとに盛大な大会が開催され、無事終了できた事に感謝申し上げます。

# 2025年 スポーツ支援部 活動報告

スポーツ支援部長 降旗 秀徳

## ・はじめに

公益社団法人長野県柔道整復師会スポーツ支援部の2025年救護・トレーナー活動について、長野県中学校体育連盟（中体連）の大会を中心に報告致します。今年度から、中体連による部活動の地域クラブチームへの移行が本格化し、移行プロセスにおいては、指導者不足や受け入れ体制の整備、選手の安全管理など複数の課題が浮き彫りとなっています。学校部活動の地域移行やアスレティックトレーナー（AT）養成への社会的要請が高まる中、当会が果たすべき役割と課題の整理を目的とし、今後のスポーツ現場における医科学的支援体制の構築に向け、客観的かつ積極的な視点で現状と展望をまとめました。

## ・スポーツ支援部の活動概要

2025年、スポーツ支援部は県内の競技団体や教育機関と連携し、選手の健康管理・障害予防・競技力向上に重点を置いた支援活動を展開するため、活動現場でのストレッチ指導、外傷・障害発生時の応急対応、競技会場でのメディカルサポートを中心に救護派遣事業が実施できるよう、体力向上・スポーツ医科学専門委員会や競技力向上対策専門委員会の会議に出席しました。

2028年には、長野県で「やまなみ国スポ（国民スポーツ大会）」の開催が予定されています。この大会に向けて、長野県版AT養成講習会に係る要項（案）が示され、初級講座のカリキュラムが開始されます。受講者としては、先般実施されたJATACの講習に参加し、認定を受けた方を中心に推薦を考えておりますが、特に若年層の会員の収益確保のひとつと考えていることから、競技力向上対策本部の医科学専門委員会に

おいて受講者の推薦等について再度確認し、今後は関係団体と緊密に連携を図り、柔道整復師の専門性を活かしたサポート体制を強化して、対応を検討していきたいと考えています。

競技力向上対策本部では、県内競技者のパフォーマンス向上を目的に、トレーニング指導・コンディショニングチェック・障害予防プログラムの立案・実施を行なっています。特にトップアスリートへの個別サポートや、指導者向け勉強会の開催が活発に行われ、現場から高い評価を得ています。今後は、データ収集・分析を通じた支援方法の最適化を目指します。

体力向上・スポーツ医科学専門委員会は、スポーツ現場の医科学的課題に対応するため、最新知見の収集・共有を行っています。令和7年度は、障害発生状況の調査研究、予防プログラムの開発、現場への啓発活動を中心に展開しました。今後は、県内医療機関・教育現場との連携を強化し、科学的根拠に基づく支援体制の確立を目指します。

## ・今後の目的と課題

- ・地域クラブ移行に伴う救護・トレーナー派遣の課題と目的の整理
- ・AT養成修了者への継続支援と配置拡大
- ・柔道整復師会による現場ニーズへの迅速な対応
- ・競技力向上対策本部のデータ活用による支援精度向上
- ・医科学専門委員会と他機関との連携構築

## ・まとめ

最後に公益社団法人長野県柔道整復師会スポーツ支援部は、地域スポーツの安全と競技力向上に向け、積極的に活動を展開して参ります。今後も、社会的課題に即応した支援体制の構築

を進め、県内スポーツの発展に寄与できるよう  
努力して参ります。

以下に各支部での救護派遣事業114名383回の  
詳細を報告致します。

北信支部 スポーツ支援活動報告（44名136回）

氏 名	日 付	大 会 名（種 目）	会 場
赤沼 将充	6月15日	中体連夏季北信大会（バレーボール女子）	東部中
荒野雄一郎	10月19日	中体連新人北信大会（柔道）	ことぶきアリーナ千曲柔道場
石澤 廉也	8月21日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	オリンピックスタジアム
	8月22日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	オリンピックスタジアム
	10月26日	中体連新人北信大会（サッカー）	千曲川リバーフロント
伊藤 裕司	6月8日	中体連夏季北信大会（バスケットボール男子）	北部中
	7月20日	中体連夏季県大会（柔道）	ことぶきアリーナ千曲
	10月12日	中体連新人北信大会（軟式野球）	中野市営球場
	11月23日	中体連新人北信大会（卓球）	中野市民体育館
伊豫田幹幸	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
大口 友久	2月3日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	6月15日	中体連夏季北信大会（軟式野球）	中野市営球場
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	オリンピックスタジアム
	8月19日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	中野市営野球場
窪田 勝	1月10日～12日	第43回皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	京都市 たけびしスタジアム
	3月23日	春の高校伊那駅伝2025	伊那市
	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
	10月2日～6日	滋賀国スポ（陸上競技）	滋賀県 平和堂HATOスタジアム
	12月7日	マルチサポート（陸上競技）	長野市営陸上競技場
倉石 雅之	6月8日	中体連夏季北信長水更埴予選会（卓球）	南長野運動公園体育館
小島 弘光	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
小橋 義彦	6月8日	中体連夏季北信大会（バスケットボール男子）	豊野中
	7月6日	中体連夏季県大会（体操競技）	ホワイトリンク
	10月19日	中体連新人北信大会（バスケットボール男子）	城南中
小林 隆治	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
小林 克徳	2月2日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
西條 義明	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
櫻田 大岳	6月8日	中体連夏季北信大会（サッカー）	千曲市サッカー場
	10月19日	中体連新人北信大会（サッカー）	千曲市サッカー場
佐藤 晃次	2月3日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	6月8日	中体連夏季北信中高飯水予選会（卓球）	中野市民体育館
	8月20日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	県営長野野球場
	10月19日	中体連新人北信大会（サッカー）	千曲川リバーフロント
篠崎 裕一	2月1日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	2月2日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ



篠崎 裕一	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	8月19日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	オリンピックスタジアム
高原 義勝	2月2日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	2月4日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	3月29日	第20回長野春季オープン小学生バドミントン大会	南長野運動公園体育館
	3月30日	第20回長野春季オープン小学生バドミントン大会	南長野運動公園体育館
	6月14日	第20回全日本フロアホッケー競技大会	ホワイトリング
	6月22日	中体連夏季北信大会（バレーボール男子）	篠ノ井西中
	7月12日	中体連夏季県大会（バレーボール）	ホワイトリング
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	佐久運動公園野球場
	8月31日	中体連新人北信大会（水泳）	須高広域総合（サマーランド）
	11月16日	中体連新人北信大会（バレーボール男子）	篠ノ井西中
武士 和哉	6月8日	中体連夏季北信大会（ソフトテニス男子）	長野運動公園庭球場
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
田中 利幸	6月15日	中体連夏季北信大会（軟式野球）	須坂市営球場
野竹 康之	1月10日～12日	第43回皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	京都市 たけびしスタジアム
	3月23日	春の高校伊那駅伝2025	伊那市
	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	10月1日～7日	滋賀国スポ（陸上競技）	滋賀県平和堂HATOスタジアム
萩原 明里	6月22日	中体連夏季北信大会（剣道）	松代中
原 和正	2月3日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	県営長野野球場
	8月20日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	オリンピックスタジアム
	9月7日	日本プライベートフットボール秋季リーグ戦	南長野運動公園Uスタジアム
	10月19日	日本プライベートフットボール秋季リーグ戦	リバーフロントスポーツガーデン
	12月7日	日本プライベートフットボール秋季リーグ戦	南長野運動公園Uスタジアム
林 佑樹	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	6月8日	中体連夏季北信大会（サッカー）	千曲川リバーフロント
端山 千草	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
久井 真	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	6月8日	中体連夏季北信大会（バスケットボール女子）	東北中
	6月15日	中体連夏季北信大会（バレーボール女子）	三陽中
	7月12日	中体連夏季県大会（軟式野球）	長野県営球場
	7月13日	中体連夏季県大会（バレーボール）	ホワイトリング
	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	オリンピックスタジアム
廣川 さつき	6月8日	中体連夏季北信大会（バスケットボール女子）	城南中
福田 晋也	6月8日	中体連夏季北信大会（バスケットボール女子）	戸倉上山田中
	6月15日	中体連夏季北信大会（ハンドボール）	戸倉体育館
	6月22日	中体連夏季北信大会（バレーボール女子）	戸倉上山田中
	6月28日	長野県小学生ハンドボール春季大会	戸倉体育館

福田 晋也	9月14日	U-15ジュニアセレクトカップ ハンドボール大会	ことぶきアリーナ千曲
	9月15日	U-15ジュニアセレクトカップ ハンドボール大会	ことぶきアリーナ千曲
	10月19日	中体連新人北信大会（バスケットボール女子）	戸倉上山田中
藤巻 雄太	6月22日	第66回北信越高等学校柔道大会	長野運動公園総合運動場
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
布施谷貴博	2月1日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	2月2日	長野県高等学校北信新人体育大会柔道競技	ことぶきアリーナ千曲
	2月16日	北信少年柔道大会	ことぶきアリーナ千曲
	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	5月18日	長野県高等学校北信総合体育大会柔道競技	ことぶきアリーナ千曲
	6月22日	第66回北信越高等学校柔道大会	長野運動公園総合運動場
	6月29日	中体連夏季北信大会（柔道）	ことぶきアリーナ千曲柔道場
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
	10月12日	中高柔道選手権大会	中野市武道館柔道場
淵田 高章	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	6月22日	中体連夏季北信大会（卓球）	須坂市民体育館
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
堀内健太郎	2月2日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	6月15日	中体連夏季北信大会（バドミントン）	長野運動公園総合体育館
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
松田 和也	11月24日	中野市長杯争奪少年柔道大会	中野市武道館柔道場
松林 豊	6月15日	中体連夏季北信大会（バレーボール女子）	戸倉上山田中
	7月13日	中体連夏季県大会（ハンドボール）	戸倉上山田中学校体育館
丸山 桂	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	中野市営野球場
	8月19日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	中野市営野球場
水澤 亞廉	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	10月26日	中体連新人北信大会（剣道）	松代中
宮川 莉緒	6月22日	中体連夏季北信大会（バスケットボール男女）	高山中
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町
	8月20日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	県営長野野球場
	10月26日	中体連新人北信大会（卓球）	中野市民体育館
宮崎 音羽	6月22日	中体連夏季北信大会（軟式野球）	長野オリンピックスタジアム
	11月9日	中体連新人北信大会（卓球）	長野運動公園体育館
	8月19日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	県営長野野球場
宮本 義豊	10月26日	長野県中学校新人体育大会（体操競技）	ホワイティング
森嶋 舞	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	9月28日	長野県四地区対抗柔道大会	長野市立松代中学校海津体育館
柳瀬 了	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
山内 明	4月20日	第27回長野マラソン	長野オリンピックスタジアム
	6月8日	中体連夏季北信大会（バスケットボール男子）	川中島中
	6月15日	中体連夏季北信大会（軟式野球）	長野オリンピックスタジアム
	6月22日	中体連夏季北信大会（軟式野球）	長野県営球場
	7月6日	中体連夏季県大会（バスケットボール男女）	ホワイティング

山内 明	10月5日	中体連新人北信大会（軟式野球）	長野県営球場
	10月12日	中体連新人北信大会（軟式野球）	長野県営球場
	10月19日	中体連新人北信大会（バスケットボール男子）	飯綱中・B&G
	11月2日	中体連新人北信大会（バスケットボール）	豊野中
	11月16日	中体連新人北信大会（バレーボール女子）	戸倉上山田中
山口 智弘	6月8日	中体連夏季北信大会（サッカー）	須坂市北部グラウンド
	11月16日	中体連新人北信大会（バドミントン）	長野運動公園体育館
山崎 裕	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選抜大会	中野市営野球場
吉澤 賢治	2月4日	第45回全国中学校スケート大会	エムウェーブ
	7月13日	小布施見にマラソン	小布施町

## 東信支部 スポーツ支援活動（28名139回）

氏 名	日 付	大 会 名（種 目）	会 場
浅川 健一	6月7日	中体連夏季東信大会（男子バスケットボール）	軽井沢中
	6月8日	中体連夏季東信大会（テニス）	乙女湖テニスコート
	6月14日	中体連夏季東信大会（サッカー）	軽井沢中
	10月4日	中体連秋季東信大会（テニス）	乙女湖テニスコート
	10月12日	中体連秋季東信大会（サッカー）	軽井沢中
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（サッカー）	御代田中
飯田 秀男	6月1日	第34回(公社)長野県柔道整復師会少年柔道大会	長野県立武道館
	5月3日	第11回上田パーティカルレース	大星神社
	10月12日	第8回EBOSHI SKYRUN	東御市ワインテラス御堂
石坂 陽大	9月23日	テーピング講習会	上田西高校
	10月5日	第74回上田市民総合体育大会柔道の部	上田城跡公園体育館柔道場
	11月30日	第3回上小柔道大会	上田城跡公園体育館柔道場
井出 陽人	6月7日	中体連夏季東信大会（女子バスケットボール）	佐久市総合体育館
	6月14日	中体連夏季東信大会（剣道）	長野県立武道館
	6月21日	中体連夏季東信大会（軟式野球）	御代田雪窓公園野球場
	10月11日	中体連秋季東信大会（卓球）	佐久市総合体育館
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（卓球）	佐久市総合体育館
出田 雅士	4月20日	(祝)佐久市誕生20周年第56回佐久市競歩大会	佐久市総合体育館
	5月4日	第11回上田パーティカルレース	大星神社
	6月14日	中体連夏季東信大会（軟式野球）	県営上田球場
	6月22日	中体連夏季東信大会（軟式野球）	県営上田球場
	10月12日	第8回EBOSHI SKYRUN	東御市ワインテラス御堂
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（女子バスケットボール）	東御東部中
内山 貴之	5月17日	長野県高等学校新人体育大会（柔道）	小諸市武道館
	10月11日	長野県高等学校新人体育大会（柔道）	小諸市武道館
荻原 誠	6月21日	中体連夏季東信大会（剣道）	長野県立武道館
	7月12日	中体連長野県中学校体育大会（剣道）	ユメックスアリーナ
	10月25日	中体連秋季東信大会（剣道）	小諸市武道館



荻原 誠	10月26日	中体連秋季東信大会（剣道）	小諸市武道館
	11月29日	長野県ジュニア強化錬成大会兼中学校新人県大会	穂高西中
兼田 佑	4月20日	(祝)佐久市誕生20周年第56回佐久市競歩大会	佐久市総合体育館
	5月4日	第11回上田バーティカルレース	大星神社
	6月7日	中体連夏季東信大会（テニス）	古戦場テニスコート
	6月8日	中体連夏季東信大会（テニス）	古戦場テニスコート
	6月14日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	上田一中
	6月15日	第30回長野県柔道整復師会少年柔道大会	長野県立武道館
	6月21日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	上田一中
	6月22日	中体連夏季東信大会（テニス）	古戦場テニスコート
	8月3日	第30回信州爆水RUN in 依田川	上田丸子総合グラウンド
	10月11日	第8回EBOSHI SKYRUN	上田市市民の森公園
	10月12日	第8回EBOSHI SKYRUN	東御市ワインテラス御堂
	10月18日	中体連秋季東信大会（軟式野球）	御代田雪窓公園野球場
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（女子バスケットボール）	望月総合体育館
	11月2日	中体連秋季東信大会（女子バスケットボール）	佐久市総合体育館
河島 侑里	10月4日	中体連秋季東信大会（テニス）	古戦場テニスコート
菊池 和哉	6月7日	中体連夏季東信大会（サッカー）	臼田総合運動公園
	6月14日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	浅間中
	6月21日	中体連夏季東信大会（サッカー）	佐久総合運動公園
	10月4日	中体連秋季東信大会（テニス）	臼田テニスコート
	10月12日	中体連秋季東信大会（サッカー）	臼田総合運動公園
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（サッカー）	野沢中
	10月26日	中体連秋季東信大会（サッカー）	風越グラウンド
	11月1日	中体連秋季東信大会（男子バスケットボール）	佐久穂中
	11月2日	中体連秋季東信大会（男子バスケットボール）	佐久市総合体育館
北松 豪太	6月21日	中体連夏季東信大会（軟式野球）	県営上田球場
	7月12日	第64回長野県中学校総合体育大会軟式野球競技	佐久総合運動公園野球場
	8月3日	第30回信州爆水RUN in 依田川	上田丸子総合グラウンド
	8月18日	第5回全日本大学軟式野球選手権大会	県営上田球場
	10月5日	第39回上田古戦場ハーフマラソン	県営上田球場
	10月11日	中体連秋季東信大会（卓球）	上田城跡公園体育館
	10月18日	中体連秋季東信大会（テニス）	古戦場テニスコート
國友 康晴	5月16日	長野県高等学校体育大会 ハンドボール競技	佐久市総合体育館
	5月17日	長野県高等学校体育大会 ハンドボール競技	佐久市総合体育館
	5月18日	長野県高等学校体育大会 ハンドボール競技	佐久市総合体育館
	6月21日	第61回北信越高等学校ハンドボール選手権大会	上田自然運動公園体育館
	9月28日	長野県高等学校新人体育大会ハンドボール競技	佐久市総合体育館
	10月5日	第39回上田古戦場ハーフマラソン	県営上田球場
棚澤 秀樹	6月21日	中体連夏季東信大会（卓球）	小諸市総合体育館
黒岩 大輝	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
小池 和良	5月25日	南佐久少年健全育成柔道大会	佐久穂町海瀬社会体育館
小平 一人	5月4日	第11回上田バーティカルレース	大星神社
	6月7日	中体連夏季東信大会（テニス）	臼田テニスコート

小平 一人	6月8日	中体連夏季東信大会（テニス）	臼田テニスコート
	6月15日	第30回長野県柔道整復師会少年柔道大会	長野県立武道館
	6月21日	中体連夏季東信大会（男子バスケットボール）	軽井沢中
	6月22日	中体連夏季東信大会（軟式野球）	御代田雪窓公園野球場
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	11月3日	第37回佐久市柔道選手権大会	長野県立武道館
小宮山 潤	5月3日	第11回上田バーティカルレース	大星神社
	6月21日	中体連夏季東信大会（男子バレーボール）	小諸東中
	11月15日	中体連秋季東信大会（女子バレーボール）	浅間中
桜井 秀信	10月11日	中体連秋季東信大会（卓球）	丸子総合体育館
佐藤 映治	6月29日	滋賀国スポ選手選考会（柔道）	小諸市武道館
田口 信宏	6月14日	中体連夏季東信大会（サッカー）	サニアパークB・C
	6月21日	中体連夏季東信大会（テニス）	丸子テニスコート
	10月4日	中体連秋季東信大会（テニス）	丸子テニスコート
	10月18日	中体連秋季東信大会（テニス）	丸子テニスコート
	10月25日	中体連秋季東信大会（サッカー）	丸子中
竹田 悠毅	10月25日	中体連秋季東信大会（サッカー）	中込中
田中 敏浩	6月14日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	東御東部中
	6月21日	中体連夏季東信大会（男子バレーボール）	芦原中
	6月22日	中体連夏季東信大会（男子バレーボール）	芦原中
	10月25日	中体連秋季東信大会（男子バスケットボール）	佐久穂中
	11月8日	中体連秋季東信大会（男子バレーボール）	芦原中
	11月9日	中体連秋季東信大会（男子バレーボール）	芦原中
寺嶋 久程	4月20日	(祝)佐久市誕生20周年第56回佐久市競歩大会	佐久市総合体育館
	5月25日	わんぱく相撲東信場所 in 小諸	小諸八幡宮相撲場
	6月14日	中体連夏季大会東信大会（軟式野球）	御代田雪窓公園野球場
	6月15日	エンジョイ軟式野球フェスティバル2025長野大会	佐久総合運動公園野球場
	6月21日	三商工会議所青年部スポーツ交流会	中佐都小学校
	6月22日	中体連夏季東信大会（女子バスケットボール）	佐久市総合体育館
	7月5日	エンジョイ軟式野球フェスティバル2025北信越大会	佐久総合運動公園野球場
	7月6日	エンジョイ軟式野球フェスティバル2025北信越大会	佐久総合運動公園野球場
	10月11日	中体連秋季東信大会（野球）	佐久総合運動公園野球場
	10月18日	中体連秋季東信大会（野球）	佐久総合運動公園野球場
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（男子バスケットボール）	御代田中
	11月1日	中体連秋季東信大会（女子バスケットボール）	佐久市総合体育館
	11月3日	第37回佐久市柔道選手権大会	長野県立武道館
	11月9日	第19回佐久市小学生駅伝大会	佐久運動公園陸上競技場
西村 公紀	9月23日	テーピング講習会	上田西高校
野田 広己	6月21日	中体連夏季東信大会（テニス）	東御中央公園テニスコート
	8月3日	第30回信州爆水RUN in 依田川	上田丸子総合グラウンド
	8月19日	第5回全日本大学軟式野球選手権大会	県営上田球場
	10月5日	第39回上田古戦場ハーフマラソン	県営上田球場
	11月1日	中体連秋季東信大会（女子バレーボール）	東御東部中
廣川 喜博	5月4日	第11回上田バーティカルレース	大星神社
	6月7日	中体連夏季東信大会（男子バスケットボール）	佐久穂中

廣川 喜博	6月14日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	立科中
	6月21日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	立科中
	6月22日	中体連夏季東信大会（女子バレーボール）	立科中
	10月12日	中体連秋季東信大会（サッカー）	御代田中
	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市
	10月25日	中体連秋季東信大会（サッカー）	浅科中
	11月1日	中体連秋季東信大会（女子バレーボール）	小諸東中
	11月8日	中体連秋季東信大会（男子バレーボール）	小諸東中
	11月15日	中体連秋季東信大会（男子バレーボール）	上田一中
堀内 将之	5月18日	第71回上田市民少年柔道大会	上田城跡公園体育館柔道場
	6月22日	中体連夏季東信大会（男子バスケットボール）	佐久市総合体育館
	11月16日	中体連秋季東信大会（男子バレーボール）	上田一中
母袋 直也	5月3日	第11回上田バーティカルレース	大星神社
	5月4日	第11回上田バーティカルレース	大星神社
	10月5日	第39回上田古戦場ハーフマラソン	県営上田球場
柳原 靖	10月19日	第3回佐久平ハーフマラソン	佐久市

# 中信支部 スポーツ支援活動報告（23名70回）

氏 名	日 付	大 会 名（種 目）	会 場
今村 勇治	7月6日	中体連夏季長野県中学校大会（相撲）	木曽町木曽町民相撲場
	9月23日	中体連夏期中信新人大大会（相撲）	木曽町木曽町民相撲場
小澤 成幸	6月8日	中体連夏期中信大会（卓球）	スカイパーク
	6月15日	中体連夏季中信大会（軟式野球）	セキスイハイム松本
	6月22日	中体連夏季中信大会（バレーボール）	三郷文化公園体育館
	6月29日	中体連夏季中信大会（卓球）	スカイパーク
	7月13日	中体連夏季長野県中学校大会（バドミントン）	信州スカイパーク体育館
	8月18日	全日本大学軟式野球選抜大会（軟式野球）	信州GRS四賀球場
	10月12日	中体連中信新人大大会（軟式野球）	筑北村本城グランド
	10月13日	中体連中信新人大大会（ソフトテニス）	松本浅間温泉庭球場
	11月16日	中体連中信新人大大会（バレーボール）	豊科北中学校体育館
忍田 行憲	10月19日	中体連中信新人大大会（卓球）	スカイパーク
折口 裕史	6月1日	安曇野ハーフマラソン	第5救護所
	6月15日	中体連夏季中信大会（バレーボール）	豊科北中学校体育館
	6月22日	中体連夏季中信大会（剣道）	ユメックスアリーナ
	7月13日	中体連夏季長野県中学校大会（サッカー）	松本市サッカー場
	7月20日	中体連夏季長野県中学校大会（卓球）	信州スカイパーク体育館
	10月12日	中体連中信新人大大会（軟式野球）	塩尻市営球場
	10月19日	中体連中信新人大大会（軟式野球）	セキスイハイム松本
	10月26日	中体連中信新人大大会（剣道）	ユメックスアリーナ
	11月2日	中体連中信新人大大会（バレーボール）	鉢盛中学校体育館
木谷 那津	11月2日	中体連中信新人大大会（バレーボール）	塩尻西部中学校体育館
	11月16日	中体連中信新人大大会（バレーボール）	穂高西中学校体育館
北野 亮太	6月8日	中体連夏季長野県中学校大会（卓球）	穂高総合体育館
倉科 正	6月1日	安曇野ハーフマラソン	第4救護所
	6月15日	中体連夏季中信大会（バレーボール）	塩尻中学校体育館



倉田 奨陽	6月8日	中体連夏季長野県中学校大会（卓球）	塩尻市立体育館
木船 崇	6月1日	安曇野ハーフマラソン	会場内救護所
郷津 純	6月1日	安曇野ハーフマラソン	コメディカル②
	6月22日	中体連中信夏期大会（ソフトテニス）	松本市浅間温泉庭球場
榊原 弘幸	7月5日	北信越国スポ マルチサポート（硬式テニス）	富山市岩瀬スポーツ公園 テニスコート
	7月6日	北信越国スポ マルチサポート	
	9月27日	滋賀国スポ マルチサポート	滋賀県大津市大石緑地 スポーツ村テニスコート
	9月28日	滋賀国スポ マルチサポート	
	9月29日	滋賀国スポ マルチサポート	
清水謙次郎	6月1日	安曇野ハーフマラソン	会場内救護所
関崎 直樹	6月1日	安曇野ハーフマラソン	コメディカル①
	6月15日	中体連夏季中信大会（軟式野球）	信州GRS四賀球場
	6月22日	中体連夏季中信大会（軟式野球）	筑北村本城グラウンド
	7月13日	中体連長野県中学校大会（軟式野球）	信州GRS四賀球場
征矢野勝利	6月1日	安曇野ハーフマラソン	会場内救護所
	6月8日	中体連夏季中信大会（サッカー）	旭町中学校
	6月15日	中体連夏季中信大会（バレーボール）	鉢盛中学校体育館
	6月22日	中体連夏季中信大会（水泳）	松本市民プール（今井）
	10月26日	中体連中信新人大会（サッカー）	旭町中学校
	11月2日	中体連中信新人大会（バレーボール）	塩尻中学校体育館
高原 祐樹	5月11日	少年少女チャンピオン大会中信予選会（柔道）	松本市柔剣道場
	6月22日	中体連夏季中信大会（柔道）	三郷文化公園体育館
	10月26日	松本市民祭春季大会（柔道）	松本市柔剣道場
中條 昌信	6月15日	中体連夏季中信大会（バレーボール）	穂高西中学校体育館
	6月22日	中体連夏季中信大会（バレーボール）	ANCアリーナ
	11月2日	中体連中信新人大会（バレーボール）	広陵中学校体育館
竹内 泰二	6月15日	中体連夏季中信大会（ソフトテニス）	松本市浅間温泉庭球場
	6月22日	中体連夏季中信大会（バドミントン）	スカイパーク
降旗 秀徳	4月27日	長野県スポーツ協会マルチサポート（器械体操）	大町ジムネット体操クラブ
	6月1日	安曇野ハーフマラソン	会場内救護所
	6月15日	長野県スポーツ協会マルチサポート（器械体操）	大町ジムネット体操クラブ
	6月22日	中体連夏季中信大会（男女バスケットボール）	穂高西中学校体育館
	8月31日	長野県スポーツ協会マルチサポート（器械体操）	大町ジムネット体操クラブ
	9月28日	長野県スポーツ協会マルチサポート（器械体操）	大町ジムネット体操クラブ
	10月19日	長野県スポーツ協会マルチサポート（器械体操）	大町ジムネット体操クラブ
	11月2日	中体連中信新人大会（男女バスケットボール）	穂高西中学校体育館
	12月21日	長野県スポーツ協会マルチサポート（器械体操）	大町ジムネット体操クラブ
保尊 伸昭	6月1日	安曇野ハーフマラソン	第2救護所
本郷 浩希	7月13日	中体連夏季長野県中学校大会（サッカー）	小坂田公園サッカー場
松村 直行	8月18日	全日本大学軟式野球選抜大会（軟式野球）	信州GRS四賀球場
三間慎一郎	6月1日	安曇野ハーフマラソン	第5救護所
鷺沢 亮	6月8日	中体連夏季中信大会（サッカー）	塩尻西部中学校
	10月19日	中体連中信新人大会（軟式野球）	信州GRS四賀球場
	10月26日	中体連中信新人大会（サッカー）	豊科南中学校

## 南信支部 スポーツ支援活動報告（19名38回）

氏 名	日 付	大 会 名（種 目）	会 場
赤羽 翔	6月8日	中体連夏季大会ソフトテニス男子個人	茅野市運動公園庭球場
	6月22日	中体連夏季大会バレーボール女子	富士見町民体育館
	7月13日	中体連夏季県大会軟式野球	茅野市運動公園野球場
	10月12日	中体連新人大会卓球男女個人予選	茅野市総合体育館
	11月9日	中体連新人大会ハンドボール決勝トーナメント	茅野市総合体育館
伊東 功一	6月22日	中体連夏季大会ソフトテニス団体戦順位決定戦	伊那センターテニスコート
	11月2日	中体連新人大会バスケットボール	伊那市立伊那中学校
牛丸 定孝	6月29日	第72回南信柔道大会	辰野町民体育館
	10月26日	中体連新人大会剣道男女団体戦	伊那市立伊那中学校
尾曾 共春	6月15日	中体連夏季大会卓球男子団体・個人予選	サンビレッジ体育館
	6月22日	中体連夏季大会バレーボール男子二次ラウンド	南箕輪村民体育館
小口 幸一	11月9日	中体連新人大会バレーボール男子二次ラウンド	飯島町体育館
奥村 崇宏	11月30日	第5回下伊那ベースボールパーク	県営飯田球場
北村 豊	11月9日	中体連新人大会バドミントン	伊那市立伊那中学校
北原 弘靖	6月8日	中体連夏季大会ソフトテニス女子個人	伊那センターテニスコート
	6月22日	中体連夏季県大会軟式野球	宮田野球場
	10月19日	中体連新人大会軟式野球	伊那スタジアム
木下 陽子	7月13日	中学校夏季県大会水泳	アクアパークIIDA
	9月7日	中体連新人大会水泳	アクアパークIIDA
後藤 安成	6月15日	第116回飯伊地区春季剣道大会	飯田市武道館
	8月3日	第45回飯田市中央道沿線都市親善剣道大会	飯田市武道館
	11月2日	第118回飯伊地区秋季剣道大会	飯田市武道館
酒井 肇	6月22日	中体連夏季大会軟式野球	駒ヶ根アルプス球場
	10月19日	中体連新人大会軟式野球	伊那市営球場
真田 芳拓	6月22日	中体連夏季大会卓球男女個人決勝	高森町民体育館
	11月16日	中体連新人大会卓球	高森町民体育館
清水 仁美	6月22日	中体連夏季大会バスケットボール	エレコムロジテックアリーナ
	11月9日	中体連新人大会バドミントン	エレコムロジテックアリーナ
羽生 優	9月7日	第45回飯田市中央道沿線都市親善柔道競技会	飯田市武道館
	10月25日	中体連新人大会柔道	飯田市武道館
	11月23日	第26回南信柔道飯田大会	飯田市武道館
原 翔一郎	10月5日	中体連新人大会卓球男女個人	高森町民体育館
増澤 孝信	11月2日	中体連新人大会サッカー	赤穂中学校
	11月9日	中体連新人大会バレーボール女子二次ラウンド	富士見町民体育館
松村 秀樹	6月8日	中体連夏季大会卓球男女個人予選	高森町民体育館
吉原 賢一	6月22日	中体連夏季大会新体操	エレコムロジテックアリーナ
	10月12日	中体連新人大会卓球男女個人予選	サンビレッジ体育館
渡邊 尋	6月22日	中体連夏季大会剣道男女団体	伊那市立伊那中学校

# 介護予防事業報告

## 【令和6年10月～令和7年9月】

介護支援部長 西森 六三

日頃は介護支援部の事業・活動にご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。令和7年5月の役員改選により新たなメンバーにて介護支援部がスタートしています。

令和9年度からの第10期介護保険事業計画策定に向け、国の指針にて介護を取り巻く体系が大きく変化してきています。多様なニーズに答える為、多様な職種がトータルケアを目的としてチームケアの体制をより強化するように、各自治体の判断で取り組むよう総合事業が発信されています。

今まで取り組んできた介護予防教室（短期に人を集めて行う）などの介護予防事業は、地域の運動教室等の住民主導のボランティア組織の上に成り立つ方向へと舵取りがおこなわれ、介護予防教室の開催実績は減少傾向にあります。

日整でも、一般介護予防事業の第1号被保険者の全ての者およびその支援のための活動に係る者を対象とした「地域リハビリテーション活動支援事業」の内容は、介護予防の取組を機能強化するため、通所、訪問、地域ケア会議、住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等による助言等の実施です。この部分への参入を推奨しています。

新しい総合事業体制に向け、チームケアの枠組みの中には「柔道整復師」の名前がありますが、取りまとめを行う行政担当者の中には柔道整復師がどのような事が出来る人達なのか理解している方々が少ないという現状があります。

機能訓練指導員である柔道整復師という資格

が、骨・筋・関節など運動器の専門家で、非観血的療法にて痛みに対しての対処法を知っているスペシャリストであること、介護予防運動教室の基礎を作ったのは長野県柔道整復師会にて、平成18年初版の機能訓練指導員のマニュアルも第4版へと改定し、レベルアップしてきている実績を踏まえ、各市町村の介護保険課や自治体の社会福祉協議会担当者にPRしていくことが急務と思うところです。

- ・今まで行ってきた介護予防教室の継続
  - ・通所型サービス・訪問型サービスへの新規参入支援
  - ・地域サポーター養成講座等への講師派遣
  - ・機能訓練指導員のフォローアップ講座等による資質向上
  - ・フレイル検査の受けられる施設への研究検討
  - ・他団体への協力
- を行っていききたいと思います。

以下に令和6年10月から令和7年9月までの介護予防教室実施状況について記載します。

令和6年度後期は、前年度並みの教室数、利用者数の確保が出来ていますが、令和7年度前期は、飯田市にて教室が1減となるなど縮小傾向にある事が読み取れます。

ただ、教室の開催回数は減少しているものの利用者数は増加しており、利用ニーズが増していることが読み取れます。長年にわたる教室担当実務者会員の「継続は力なり」の賜物だと心より感謝申し上げます。



令和6年度介護予防事業・後期  
(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

支 部	教 室 名	担当講師数	講師派遣総数	開催回数	利用者数	備 考
東 信	からだにやさしい転倒予防ひろば	1	23	23	169	R6.10.3～R7.3.27
東 信	住民主体の通いの場における体操指導 (大沢地区保険補導員自主活動)	1	1	1	17	R6.10.22
東 信	住民主体の通いの場における体操指導 (大沢新田地区保険補導員自主活動)	1	1	1	8	R6.11.16
中 信	木曽町いきいき運動教室(木曽福島・開田高原・御岳・日義)	1	8	8	74	R6.10.7～R7.3.10
中 信	塩尻市お元気体操教室(櫛川保健福祉センター)	1	10	10	69	R6.10.16～R7.2.26
中 信	塩尻市お元気体操教室(えんてらす)	1	10	10	156	R6.10.9～R7.3.5
中 信	塩尻市お元気体操教室(大門福祉センター)	2	11	10	228	R6.10.11～R7.3.7
南 信	諏訪市健康柔ら体操教室(8か所)	5	69	21	479	R6.10.11～R7.3.7
南 信	ほいほい呼ぼう教室竜東デイ	5	25	25	287	R6.10.5～R7.3.29
南 信	ほいほい呼ぼう教室いいだデイ	6	25	25	380	R6.10.5～R7.3.29
南 信	豊丘村はつらつクラブころばん塾	3	25	25	302	R6.10.4～R7.3.28
南 信	豊丘村地域ミニデイ教室	1	2	2	25	R6.11.26、R7.3.5
合 計		28	210	161	2194	

令和7年度介護予防事業・前期  
(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

支 部	教 室 名	担当講師数	講師派遣総数	開催回数	利用者数	備 考
東 信	からだにやさしい転倒予防ひろば	1	22	22	176	R7.4.3～R7.9.25
東 信	住民主体の通いの場における体操指導 (たんぽぽ会)	1	1	1	10	R7.7.11
東 信	住民主体の通いの場における体操指導 (今井いきいきサロン)	1	1	1	25	R7.7.3
中 信	木曽町いきいき運動教室(木曽福島・開田高原・御岳・日義)	1	8	8	68	R7.4.14～R7.9.22
中 信	塩尻市お元気体操教室(櫛川保健福祉センター)	1	5	5	55	R7.5.21～R7.9.17
中 信	塩尻市お元気体操教室(えんてらす)	1	10	10	171	R7.5.14～R7.9.24
中 信	塩尻市お元気体操教室(大門福祉センター)	2	12	10	236	R7.5.23～R7.9.12
南 信	諏訪市健康柔ら体操教室(8か所)	5	62	26	509	R7.4.15～R7.9.30
南 信	おまめでサロン教室いいだデイ	8	26	26	535	R7.4.5～R7.9.27
南 信	豊丘村はつらつクラブころばん塾	3	25	25	303	R7.4.4～R7.9.26
南 信	豊丘村地域ミニデイ教室	1	3	3	41	R7.5.26、R7.7.14、R7.9.10
合 計		25	175	137	2129	

- ・令和7年2月1日（土）「介護予防教室実務者研修会」を会館にて行う。
- ・令和7年2月2日（日）「機能訓練指導員フォローアップ講習会」を会館にて行い会員32名が参加。  
次に、令和6年度後期（1月～3月）分の他団体との連携事業につき報告します。
- ・令和7年1月23日（木）「令和6年度フレイル予防推進のための支援者研修会」にweb会議参加。
- ・令和7年2月20日（木）日整主催「全国介護予防担当者会議」にweb会議参加。
- ・令和7年3月6日（木）「長野県在宅医療推進連絡協議会」にweb会議参加。  
次に、令和7年度分（4月～12月）の他団体との連携事業につき報告します。
- ・令和7年7月24日（木）長野県健康福祉部主催「ずくだすガイド（第2版）」活用研修会にWeb研修参加。講義は早稲田大学スポーツ科学学術院教授 澤田亨 先生、今まであった「**+**10」にて運動習慣の大切さと実践を目的としてきたのに対し、「SW10」スイッチ・テンは活動的な生活習慣への取組みから、もっと活動的な運動の取組みへとスイッチしようとする取り組みとするためにと改めた。「BK30」ブレイク・サーティーは座り過ぎによる活動量の低下の改善を目的に、30分に一度はブレイクタイムを設け、3分程度の運動等体を動かす事を推奨する。各参加者によりグループワークにて各地区の取組みや考え方の意見交換をしました。
- ・令和7年9月11日（木）日整主催「全国介護予防担当者会議」にweb会議参加。
- ・令和7年10月3日（金）長野県在宅医療推進連絡協議会主催「令和7年度介護事業医療対応力向上研修会」松本市アルピコプラザホテルに参加。【講演1】「フレイル予防」厚生連長野松代総合病院リハビリテーション部主任理学療法士 飯田千晶 先生、【講演2】「認知症の症状とのつき合い方」厚生連北アルプス医療センター 精神科部長 荻原朋美 先生

生のお話を聞きました。

- ・令和7年11月7日（金）・17日（月）長野県健康福祉部 信州ACEプロジェクト主催「令和7年度歩行ケア転倒予防講習会」伊那合同庁舎会議室、県庁講堂に参加。一般社団法人歩行ケア協会事務局・マイクロストーン株式会社開発部長 野澤秀隆 氏による歩行ケアについての講義、機器を使った歩行診断、バランス良い歩行への改善体操、質疑が行われました。機器を使った歩行診断は日常の施術結果に応用できるもので、機会があれば会員に紹介できればと思う内容でした。
- ・令和7年12月7日（日）長野県医師会主催「在宅医療シンポジウムin信州」塩尻総合文化センターに参加【基調講演】「いのちの停車場」から在宅医療を考える～栃木での活動から日本映画まで～ つるかめ診療所 所長 鶴岡優子 医師のお話を聞きました。一人の人を看取るまでには、多くの人の関りが必要であり、当事者の尊厳を大切にしながら在宅医療・看護・介護も選択肢の一つとして考えてみては……。【パネルディスカッション】「地域の在宅医療を学ぼう」（塩筑地方の取り組み事例）コーディネーターに長野県医師会在宅医療推進委員長 杉山敦先生、パネリストに医師の立場から医療法人横山医院 院長 横山太郎先生、看護師の立場から桔梗が原病院訪問看護部 増谷直美氏、保健師の立場から塩尻市役所介護保険課 長崎早苗氏より実践例を挙げ意見交換がされました。事例報告と実践例の中、先ずは最寄りの地域包括支援センターに気軽に相談いただき、不安に思う事や今後の進め方について一緒に考える機会として頂きたい。訪問医療や看護もウエルカムの体制は整っていますとのお話を頂きました。

最後に、会員各位の介護予防に関する意見やお知恵をお寄せいただき、最終目的である本業の接骨業務に役立つ活動としていきたいと思っています。今後ご理解ご協力をお願い申し上げます。

## NJS北信越ブロック親睦ゴルフ大会 夕食会

中信支部 木船 崇

令和7年9月20日（土）18時より、松本市駅前のビアガーデン・スターライトにて標記の夕食会が催されました。北信越各地より17人が出席をし、翌日のゴルフコンペは当日の合流組を含めて24名の参加となる予定です（私は夕食会のみ…、残念）。

柏木久明長野県会長の歓迎の挨拶に続き、金子益美新潟県会長の乾杯のご発声により、和やかな会の始まりとなりました。この日は、あいにくの風雨により本来ならばロマンティックな星空を眺めながらの7階屋上での酒宴となるはずでしたが、残念ながら室内へと移動。しかし、そういうことは誰も気にしない。飲めればよいのです（笑）。



何種類もの生ビールを楽しめるビアガーデンは、人生のオアシスですね～。出席会員は杯を重ねるごとに打ち解け、各々の趣味や翌日のスコアの展望などについての会話が弾んでいきました。保険請求など何かと世知辛い業界ではありますが、世の中で周りを見渡すと、さらにご苦労されている方々が大勢いる中、一時でもこのような場にいられることに有難さを実感します。

さて楽しいひと時は瞬く間に過ぎ去り、名残惜しい雰囲気を感じつつ、最後は森田満富山県副会長の大きな掛け声での一本締めにより夕食会は閉会となりました。その後は夜の街へ足取り軽くそれぞれ消えていきました。

みなさまのコンペでの健闘をお祈りいたします！



# 令和7年NJS北信越ブロック親睦 ゴルフコンペ長野大会

中信支部 三澤 茂明

令和7年9月21日（日）9時30分より豊科カントリー倶楽部にて、NJS北信越ブロック親睦ゴルフコンペ長野大会が行われました。総勢23名が参加し、心配された天気も雨には至らず、プレーを行うことが出来ました。新ペリア方式（より公平なハンディ算出方法）による成績優秀者は以下の通りです。

優 勝	竹林 浩平（富山県）
準優勝	浅川 透（富山県）
3 位	虎谷 光茂（富山県）
ブービー賞	三澤 茂明（長野県）

敬称略

グロス（18ホールの総スコア）での成績優秀者も竹林浩平（富山県）会員で85というスコアでした。上位3名が富山県の会員、下位3名が長野県の会員というおもてなしとなりました。

遠方の富山県・新潟県より、多くの会員にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、元気に再会できることを楽しみにしています。



優勝 竹林浩平 会員



準優勝 浅川 透 会員



3位 虎谷光茂 会員

# 石川県柔道整復師会創立100周年 社団法人設立50周年 石川県柔道整復師協同組合設立30周年 記念式典・祝賀会

副会長 降旗 秀徳

令和7年11月9日（日）午前11時より石川県金沢市の「ホテル金沢2Fダイヤモンド」にて、上記の記念式典・祝賀会が盛大に開催され、長野県からは柏木久明会長、宮下 厚副会長、西條賢治副会長とともに4名が出席をしました。会場のホテル金沢は金沢駅の真横にあり、北陸新幹線開通に伴い、長野駅から一番早い新幹線「かがやき」に乗車すれば、1時間あまりで到着します。日本海側最大の都市である加賀100万石・金沢市のシンボリックな鼓門とおもてなしドームに迎えられ、40年前に北信越柔整専門学校で青春時代を過ごした面影はどこにもありません。しかも当時は交通機関を使っ

ての移動には丸1日かかったことを記憶しています。



記念式典では二ツ谷剛彦石川県会長の歓迎の言葉から始まり、馳 浩石川県知事からのお祝いのご挨拶、長尾日整会長をはじめとする多くの来賓からの祝辞に続いて県知事表彰・日整会長表彰・永年表彰などが行なわれましたが、中でも44名の石川県公益社団会員に対して、能登半島地震災害救護ボランティア活動の感謝状が贈られ、公益社団法人ならではの表彰となりました。

会場のホテル金沢2Fフロアーには、加賀友禅の織物も展示されており、古都金沢の雰囲気を感じられました。記念式典表彰が終わり、12時30分より別会場にて祝賀会が開催され、祝宴前のアトラクションでは石川県指定無形文化財の「御陣乗太鼓」の演舞が15分ほど披露され、迫力ある太鼓の響きに招待者一同の拍手が鳴り止みませんでした。







「御陣乗太鼓（ごじんじょだいこ）」とは、能登半島の石川県輪島市に伝わる伝統芸能であり、県の無形文化財に指定されています。その起源は戦国時代にさかのぼり、上杉謙信の軍勢が能登に攻め入った際、地元の住民たちが鬼の面をかぶり、太鼓を打ち鳴らして敵を威嚇したことに由来すると伝えられています。荒々しいリズムと勇壮な動きが特徴で、地域の誇りとして受け継がれています。近年では、能登半島地震からの復興を願う場面でも披露されるなど、地元の人々にとって精神的な支えともなっています。

祝賀会は大盛況の中、2時間半ほどで終了し、最後に竹藤日整副会長の万歳三唱にてお開きとなり、金沢の地をあとにしました。



# 富山県柔道整復師会 社団法人設立65周年 富山県柔道整復師 協同組合設立20周年 記念式典・記念講演会

副会長 降旗 秀徳

令和7年12月7日（日）午後2時から、富山市の「ホテルグランテラス4F瑞雲の間」にて、上記の記念式典・祝賀会が開催され、長野県からは柏木久明会長、宮下 厚副会長、西條賢治副会長とともに4名で出席をしました。北陸新幹線開通とともに、富山駅前も見違えるほど素敵な北陸の玄関口となっています。金沢市で柔道整復師の国家資格を取得した後、富山市内の整形外科で3年間勤務をしてから34年が過ぎ、病院での先輩方ともお目にかかれ、懐かしく当時を振り返ることができました。また街の様子も一変し、改めて新幹線効果の経済性を目の当たりにしました。



記念式典の前には「ホテルグランテラス富山2Fこし路」にて富山県柔道整復師会木下会長の配慮により、講演会を予定している長尾日整会長を囲んでの昼食会に29名が出席し、北信越ブロック理事の先生方との意見交換や情報交換・情報共有を得る良い機会となりました。また式典会場前には自由民主党 参議院議員 自見はな子氏からの祝電なども披露されていました。



午後2時から、富山県社団法人設立65周年・協同組合設立20周年記念式典と表彰が執り行われ、木下会長と魚谷協同組合理事長の式辞に続き、新田富山県知事の代理出席 守田厚生部次長の祝辞をはじめ来賓各位の祝辞の後、富山県知事表彰・富山労働局長表彰などが行なわれ式典は終了しました。



引き続き長尾日整会長の協同組合設立20周年記念講演会が午後3時20分より始まり、「柔道整復師の未来ビジョン～業務拡大と社会的信頼の確立に向けて～」との演題にて、講演がありました。68枚のスライドにて柔道整復師の歴史から始まり、日整の現状と今後の取り組み、長尾体制での信頼と協調についてなど、現在全ての都道府県公益社団が抱えている問題を整理し、結びとして「対立や分断ではなく、信頼と実績で未来を創る」とのプレゼンで終了しました。

今後の長野県公益社団の運営に当たり、非常に考えさせられ、そして有益となる講演となりました。

## 柔道整復師の未来ビジョン

～業務拡大と社会的信頼の確立に向けて～

富山県社団65周年記念講演

協同組合20周年記念講演

公益社団法人 日本柔道整復師会

会長 長尾 淳彦



# 旭日双光章受章 高田保会員

11月4日 火曜日

市民タイムス

総合・経済

(第3版第2面掲載)

秋の叙勲 喜びの受章者紹介②

(関係分)

旭日双光章

文化財保護功勞

栗山 光博さん (74)

南木曾町農書

木村を手作りでつくった「板へぎ」の技術で、数々の文化財の修理に携わる村内の家業に就いた。板へぎは定規などを使わず、自分で見極めて木板を繋ぎ合わせる。板へぎを継ぎ合わせる「板へぎ」を支持する。最終的な厚さは約3センチになる。きれいに継ぎ合わせる。



## 板へぎ継承 文化財を守る

のは板を支える「手足」の感覚が頼りだ。初めて本格的に継ぎ合わせた仕事で、思入れが深い国家の安楽寺八角三重塔(上田市)をはじめ、善光寺(長野市)、延慶寺(大津市)など各地の文化財を修理に携わる。文化財を守る誇りを持って取り組んでいる」と語る。



旭日双光章

保健衛生功勞

高田 保さん (71)

上松町駅前通り1

松本市出身。松商学園高校では柔道部に所属し、男子65kg級で県大会優勝などを果たした。専門学校を経て一般企業に就職。柔道仲間から柔道整復師の道に誘われたのを機に働

## 柔道整復師 働く環境改善

押し強い柔道家が多い会員をまとめる立場として「何事も言葉尽くし、納得してもらうことを心掛けた」と振り返る。令和元年には同会の社団法人設立50周年、創立95周年を迎え、式典を長野市で滞りなく執り行った。現在は同会顧問として、柔道整復師の業界環境改善に向けた中央への要望活動などに携わる。「若い柔道整復師たちが快適に働き、生活していける環境をつくってほしい」と話す。

元県柔道整復師会長。趣味はゴルフ。(石尾 出)

旭日双光章

保健衛生功勞

杉山 敦さん (71)

松本市警署4

松本市医師会会長を務めた当時、新型コロナウイルス感染症が流行し、診療や検査体制の構築、ワクチン接種の体制づくりを先導した。松本深志高校から東京医科大学に進んだ。杉山外科医を継ぎ、

## の診療体制築く

在宅療養支援診療所として多くの患者をみてきた。数え切れないくらい手術をした外科医が、がんが再発したり食べられなくなったりした患者を自宅で見守る。職責合わせができていたのか、市医師会会長を平成20(2008)年から5年間務め、医師会会館移転、終末期医療の希望を記す「松本市版」を

瑞宝中級章

教育研究功勞

菅根 一男さん (81)

松本市堀ヶ崎6

医師のキャリアは半世紀を超える。「自分が一生懸命やったことが、いつか社会に役立つ」という思いで、昭和61(1986)年に教授として母校に赴任。海外での医療・医学協力にも尽力し、退職後はセイコーエフソンの経営顧問に就いた。

## の研究に携わる

研究期間がたった10分程度から研究に携わる。信大大学院では、生体肝移植に関連して、腫瘍細胞の増殖を抑制する研究。1000人規模の組織を率いる研究はあったが、成果も大きかったと振り返る。特定研究に費やしてきた中、今も診療の現場に立つ。「病気を診



## 医療タイムス

2025年（令和7年）11月10日（月曜日）【2】

## 秋の叙勲

## 喜びの受章者

瑞宝中級章  
教育研究功勞

信州大学名誉教授

菅根 一男氏（松本市）

信大医学部を卒業。1986年から、後、東京大学医学部研究員、研究所附属病院内科で感染症の発展を目的に「

瑞宝中級章  
保健衛生功勞

元国立病院機構まつもと医療センター院長

米山 威久氏（松本市）

「多くの皆さんのご支援とご協力のおかげ、これだけは伝えた」1986年に松

旭日双光章  
保健衛生功勞

年間に及ぶ医師会活動の中で「いちばんつらかったこと」と振り返る。市内の病院勤務を経て1981年に竹重病院を継承。脳卒中に起

「国際協力機構の支援を得て発展途上国での感染症診療にも当たった。家に帰る間もなほ、多忙な日々を過ごしたが「現場で患者を診ることが研究にも生きた」と語る。現在は松本市立病院の感染センター長として週5日勤務し「体力は落ちたが、ほどほどに続けたい」と意欲を示す。（坂下雪彦）

旭日双光章  
保健衛生功勞

元県柔道整復師会長

高田 保氏（木曽郡上松町）

「大変名誉で身に余る光栄」と喜びを語る。柔道整復師の資格を取得後、2年間は地

瑞宝双光章  
看護業務功勞

元信大病院看護部長

伊藤 寿満子氏（松本市）

38年間信大病院の看護育成に尽力。受章に際して、安全で良質な医療・看護の提供や、専門性の高い看護を表す。

瑞宝双光章  
学校保健功勞

知里から移住して小谷村唯一の歯科診療所として地域歯科医療を支えてきた。83年から村内の小・

開業した。開業から40年を超え、長年通院する人も多いという「話をしたくて来る年配の人もいる。施術をしながら世間話などをするのが楽しく、生きがいになっている」と顔をほころばせる。介護予防事業に係る転倒予防教室の実施など地域住民の健康保持増進にも取り組む。県柔道整復師会長を

# 長野県JSPO公認スポーツドクター協議会 教育研修会 参加報告

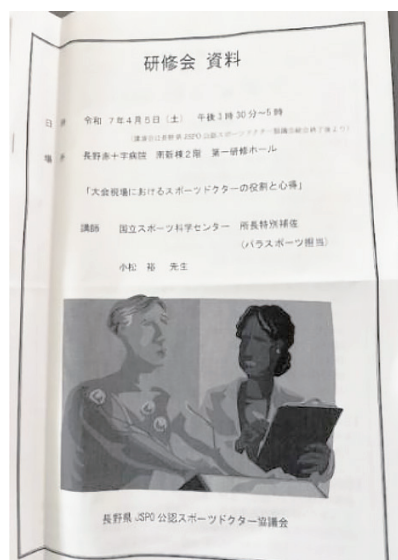
北信支部 安藤 泰範

令和7年4月5日に行われた長野県JSPO公認スポーツドクター協議会教育研修会に、(公社)長野県柔道整復師会会員として参加してまいりました。研修内容は「大会現場におけるスポーツドクターの役割と心得」と題し、国立スポーツ科学センター 所長特別補佐 小松 裕先生による講演を聴講してまいりました。本会会員も3名の参加がありました。



「チームに帯同するドクターは選手が万全な心と体の状態で試合に臨むことが出来るようにサポートし、選手やコーチ、メディカルスタッフ、事務方とも信頼関係を築き、同じ目標に向かってチームの一員を担う。大会の現場では医学的に正しいことが最善な判断基準とはならないこともある。過去に多くのオリンピックなどの総合競技会や世界選手権などに帯同した経験をもとにその心得や、2024パリオリンピック・パラリンピックでのサポート経験などを話します。」(資料引用)

華やかな選手の活躍の裏に、様々なスタッフの力が結集している。選手のため、チームのため、ともに勝利を目指して、スタッフは何を思い、どのようにして働いているのか。5回のオリンピック帯同、45回以上の国際大会に帯同経験のある、競技スポーツの現場を日本一よく知るスポーツドクターである小松先生がトッパスリートを支えた経験をお話しされました。



講演で小松先生はまず、国立スポーツ科学センター、通称JISSについて紹介されました。JISSは2001年に設立された「スポーツ科学・医学・情報など先端的な研究のもと、充実した最新施設、器具・機材を活用し、各分野での研究者、医師などの専門家集団が連携し合って我が国の国際競技力の向上のための支援に取り組む施設」であることを詳しくお話しされました。また、2008年にはJISSの隣にナショナルトレーニングセンターが開設され、各競技別の専用練習場を備えた屋内・外のトレーニング施設や宿泊施設が完備され、JISSのサポートも活用しな

がら、効果的なトレーニングを行って、アスリートたちの国際競技力向上を図ろうという取り組みもなされているそうです。現在は国立スポーツ科学センター（JISS）＋ナショナルトレーニングセンター＝ハイパフォーマンスセンター（HPSC）が設立され、ハイパフォーマンススポーツの拠点となりました。

小松先生は、循環器の医師から内科的課題で悩む選手たちが多いことを伝えられ、1994年のアトランタ大会で初のチーム帯同のドクターとして同行した際は、**スポーツドクターとはチーム帯同の総合診療医である**との思いを強くされたそうです。

### 「メディカルチェックは選手たちの健康管理に役立てるための指揮者」

メディカルチェックとは、選手のための人間ドックのようなものです。一般的な検診とは違い、**選手が最高のパフォーマンスを発揮するために医学的な問題点はないか？**という視点から診察します。問題点を洗い出し、検診から得られた情報を選手にフィードバックしていきます。同時に医療以外の現場とも連携して、競技団体のスタッフとも情報を共有して、その問題点の解決にも関わります。解決できているか調べることも、その後の大切な役割です。

### 「先生、医学的にはどう思う…、それは監督が決めること」

「すべて私の責任です。」監督とはそういう立場なのです。愚痴や不満は聞くだけ、答えを求めているわけではないのです。監督とは愚痴をこぼせる距離感が大切です。信頼関係が築かれれば、何かあれば選手の方からやってくるのです。大騒ぎしても結果にはつながらないのです。選手を不安にさせない、いろいろなことが起こっても、何があっても受け入れる。とにかく周りが大騒ぎしない。大丈夫じゃなくても、大丈夫…。

チームのスタッフであること、医師という立場、決してコーチング・スタッフではないこと、そうしたことのバランスを取らなければならない…。静かに選手たちを見守り、目立たないように選手たちの輪の中に加わり、選手たちから相談を受けたら、的確に医学的な知識を生かし、アドバイスをする。**自分の役割を把握し、チームに貢献する**ということが大切なのです。

### 「支える側の人間は主役になってはいけない」

あくまでも選手が主役で、自分たちは脇役。選手たちの信頼を得て、サポートすることが大切なのです。小松先生は、有名選手と仲良くなって、自分も有名になろうとどこかに意識のあるスタッフは、最終的には成功しないのではないかと語っております。選手と一体化すること、選手を育てたのは自分だと過信することは、最終的に選手との信頼関係を壊すことになってしまうのです。

### 「一流の選手から学んだこと＝人間力が試されること」

感謝の気持ちを持って、人の話を聞く。  
不平、不満を言わない。言い訳をしない。  
結果を気にせず、すべて出す。  
迷いを捨てる、決めることは捨てること。  
ゆっくり動くと、心が落ち着く…。

### 「ハイパフォーマンス」から「ライフパフォーマンス」へ

スポーツや体を動かすことが嫌いな人はたくさんいます。「疲れるから」、「スポーツが苦手だから」、「昔、スポーツで嫌いになる経験をしたから」。体を動かすことを忌避する要因が社会にはまだまだあります。そうであるならば、子供のころからスポーツに親しみやすくする仕組み、仕事や家庭が忙しい人たちでもスポーツができる環境づくり、「心の余裕」が生まれる社会、そういった「社会の仕組みづくり」が大



事なのだと思います。強くなることは、生き生きと元気に皆の健康なのです…。講演だけでなく、小松先生の著書「スポーツの現場ではたらく」でもこのようにスポーツへの思いを語られておりました。

#### 「リスペクト」

小松先生の著書の最後に印象深い言葉がありました。「スポーツマンシップを一言で表すと何であろうか？ それはリスペクトです。尊敬、尊重することです。一緒に戦う仲間をリスペクトし、戦う相手もリスペクトし、ルールをリスペクトし、支えていてくれる人たちや家族をリスペクトし、正々堂々戦う。これは社会においても最も大事な姿勢です。」

私たち柔道整復師も日々の施術において、あるいはスポーツの現場でスポーツをする様々な人たちと接しております。講演で小松先生は、帯同ドクターの役割は「最高のコンディショニングで競技に臨むためのお手伝い」であると語られました。私たちも柔道整復の特徴を活かしたお手伝いが求められているのだと確信いたしました。そして、スポーツという人間活動が社会を様々な分野でリスペクトしているとも感じ、柔道整復師も人間社会というチームが最高のコンディショニングを維持できるために「社会に帯同するお手伝い」として今後もこの社会を「リスペクト」し続けていきたいという強い思いに駆られました。



## 第21回人体解剖学実習会参加報告

北信支部 安藤 泰範

今年度も国立大学法人 浜松医科大学におきまして、第21回人体解剖学実習会が行われました。毎年行われているこの実習会は、浜松医科大学解剖学教室 佐藤 康二教授のご指導により実施され、全国的にも貴重な実習会です。今

年度においても、佐藤教授のお計らいにより、浜松医科大学付属病院の2名の整形外科医の先生を迎えして、非常に充実した実習会となりました。公益社団法人 長野県柔道整復師会会員も10名参加がありました。



講義実習棟

今回の実習では左右の上肢、下肢とかなり解剖が進んでおり、四肢の関節構造から靭帯、筋、それら付着部まで丁寧に剖検することが出来ました。また、献体も様々で、ご指導くださる整形外科医の先生方に様々な質問をしながら、柔整の会員同士の協力もあり、解剖学の再確認と知識の整理ができ、大変有意義なものでした。以前の実習会で他の柔整の会員同士での会話において、「毎回、初参加しているような緊張感がある。」「基礎医学を実習で復習することで、新たな発見がある。」ということを私も毎回の参加で実感しております。この新たな発

見というのも、多数の献体を毎回の実習会で観察させていただき、ご生前の生活の中で患った外傷、関節の機能不全という疾患において、「解剖学、運動学的視点から身体的不調が Quality of Lifeにどのように影響していたのか…」を深く考えさせられました。

私たち柔道整復師にとって解剖学は非常に重要な要素である。実習を終えてから、臨床において私自身の触診技術が数段レベルアップした感覚があり、日々の施術において手ごたえを感じております。





案内板

(半田山というお山全体が医科大学…、とにかく広い。)



マンホール蓋も浜松医科大学

(ゆるキャラ…、時代ですね。)

浜松医科大学付属病院の整形外科医の先生から実習時間最後のご挨拶で「診ている患者様は同じであるのだから整形外科医と柔道整復師の連携をしましょう。今日は私たちも勉強させていただきました。」という大変ありがたいお言葉を頂きました。これはひとえに佐藤教授らの私たち柔道整復師への大きな期待とメッセージでもあると私は今回の実習会で実感しました。人体解剖実習会は、私たち柔道整復師が大学医学部と繋がりを持つことができる唯一の会でもあると思います。医学部で行われる実習を通じ

て基礎医学をさらに研鑽することで、時代が移り変わっても柔道整復学が医学の一分野であることを再認識することができます。

最後に、解剖学教室 佐藤 康二教授、浜松医科大学付属病院の2名の整形外科医の先生、国立大学法人 浜松医科大学、公益社団法人 静岡県柔道整復師会様、関係する皆様方に感謝申し上げます。そして、ご献体になってくださった方々の、尊いお気持ちに深く感謝しつつ、今後も精進していきたいと思います。



医学部付属病院



講義実習棟広場



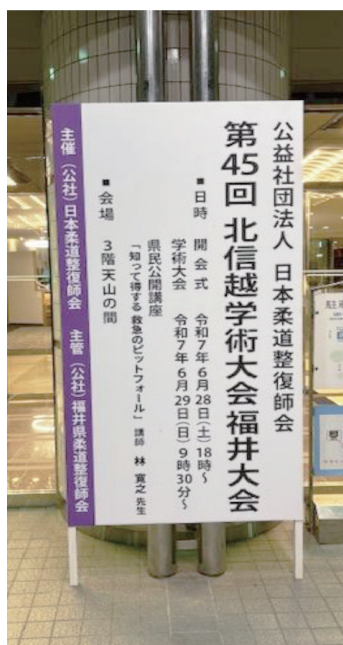
## 第45回北信越学術大会 福井大会

北信支部 安藤 泰範

6月28日、29日にホテル・グランユアーズ福井にて第45回北信越学術大会福井大会が盛大に開催されました。特別講演では「知って得をする 救急のピットフォール」という演題で、福井大学医学部附属病院救急科総合診療部教授 林寛之先生をお迎えして、貴重な講演をして頂

きました。午後からは会員研究発表が行われ、長野県柔道整復師会から2名の会員が発表されました。

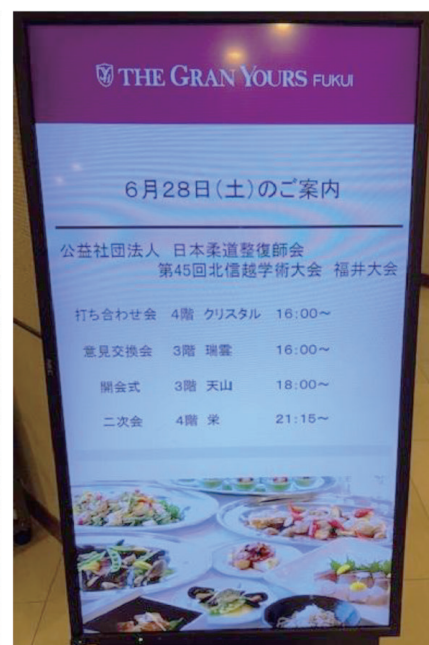
本当に参加毎に感じることはありますが、北信越学術大会は非常に内容が素晴らしい学術大会でした。



ホテル正面



ホテル横、夜景



ホテルインフォメーション

ホテルの真横は福井城址公園、幻想的な雰囲気でした。私は土曜日の夜、現地到着。参加は出来ませんでしたが、開会式もきっと盛り上がったでしょう…。

実技発表では、北信支部の井出和光会員による「私が行う肩関節脱臼の整復（スキー場での応急処置体験）」という演題で座長の古岩井裕之会員とともに発表されました。井出会員は柔道整復師免許取得後、志賀高原の入り口に位置する湯田中温泉整骨院にて住み込みで研修を行い、数多くのスキー外傷を診てきたそうです。

その経験から日本柔道整復師会主催の「匠の技伝承プロジェクト」の長野県指導員として令和3年から活動されており、今回の実技発表は、今までの現場で撮り貯めた臨床動画の一部と養成校における柔道整復学教科書や日整水準との比較を行い発表されたそうです。

統計的には、北志賀竜王スキーパークの救護室で、平成11年から平成20年までの10年間、ご対応された全負傷箇所は約3790部位で、負傷全体から見ると、肩関節脱臼は15.3%であったそうです。発表の中で井出会員は、臨床画像・動

画を用いて複数の脱臼整復の症例を取り上げ問診・触診・整復・固定等、その注意点も都度、丁寧にご説明されておりました。また、「匠の技伝承プロジェクト」形式の日整基準との比較、ご自身の多彩な臨床経験による新たな提案、実施された脱臼整復法を症例から踏まえて解説されておりました。井出会員がスキー場救護での経験されてきた肩関節脱臼整復の症例を、日整基準と比較検討されたところによると、数ある整復法の中でもシンプルな脱臼整復法がより優れており、その中でも施術者自身で最も得意な整復法を習得するべきであると述べられております。また、様々な症例に対応するために2種類以上の脱臼整復法を習得されることが望ましいとも述べられておりました。

学術発表では、南信支部の清水仁美会員による「通所型サービスA-1事業における当院の取り組みについて」という演題で座長の原翔一朗会員とともに発表されました。

介護予防・日常生活支援総合事業は、平成29年4月よりすべての市町村において実施されることになった事業であり、その中にサービス提供時間や職員配置等の基準を緩和した「通所型サービスA-1」があり、これはサービス提供時間が2～3時間程度、食事・入浴の提供を行わないミニデイサービスで、生活機能向上(QOL)のための機能訓練に特化したサービス

事業である。伊那市は柔道整復師の様々な活動が評価され、非法人においても介護事業認可を得られる長野県市町村でも稀な地区である。清水会員の施術所では、平成30年6月より利用者の受け入れを開始され、今年で8年目となるそうです。利点・問題点を含めて、「通所型サービスA-1」事業への取り組みを報告されました。

清水会員は利用者に対するサービスを施術所の既存設備を活かしながら柔軟に工夫され、個々の利用者の体力・体調に合わせながら、2～3時間程度の利用時間内において効率的にサービスを提供しているそうです。また、運動内容を工夫することで認知症予防にも取り組まれているそうです。

施術所での常勤柔道整復師3名という人員を活かし、柔道整復業務と介護予防業務を分担させながら職員の長時間労働を避けている、という現在の医療・介護現場においての問題点にも積極的に取り組み、柔道整復師施術所の新たな地域・社会貢献の「伸びしろ」を感じました。清水会員の発表から、小規模にならざるを得ない施術所においても運営を多角化することで高齢、過疎化地域での疾病予防、医療過疎に貢献していけることに感銘を受けました。



井出和光会員



清水仁美会員





柏木会長を囲んで 左の清水仁美会員 と 右の井出和光会員



大会表彰記念撮影

特別講演での「知って得をする 救急のピットフォール」福井大学医学部附属病院救急科総合診療部教授 林寛之先生のご講演では、「頸部痛や腰部痛の落とし穴（ピットフォール）」および「熱中症」について、救急搬送や外来受診された実例をもとに解説されました。とてもユニークなスライド資料内のじゃんけんマークを使いながら、聴衆への挙手参加型としてご講

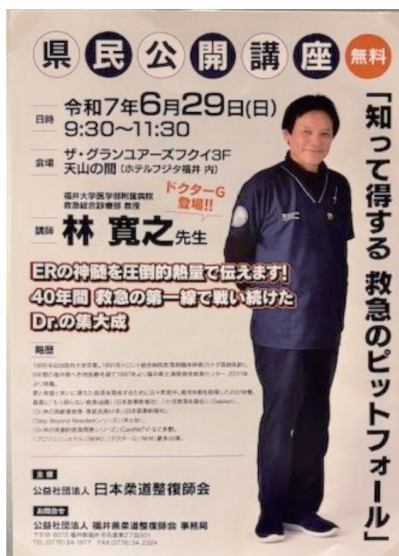
演頂きました。

「心筋梗塞」3人に1人は胸が痛くない…、肩も痛くない…。全体の43%が胸痛無…。「大動脈瘤」トイレで左腰部痛。「尿路結石」と思われた症例は、実際には腹部大動脈瘤だった。講演内容は救急診療という高度なものでありながらも、会員は回答を試み、楽しみながら講演内容への理解を深めることができました。





林寛之先生との記念撮影



林寛之先生のご講演

我々、柔道整復師が日々の臨床において遭遇する症例の一つとして圧迫骨折があります。林先生はご講演で、圧迫骨折2度あることは3度あるとし、高齢者の転倒予防の重要性を述べられておりました。また、高齢者疾患の鑑別の重要性にも言及され、施術所臨床においての的確な鑑別の注意点をご紹介されました。

公益社団法人 福井県柔道整復師会より「エコー（超音波観察装置）を柔道整復師の手に」と題し、山口登一郎会員、小野博道会員によるご講演。実技エコー担当の粕谷大和会員、顎関節脱臼整復法、外果骨折実技担当の西野巧軌会員、伊原慶一会員によるワークショップが開催されました。



長野県柔道整復師会会員の施術所においては、エコーの普及率も高く、日々の臨床で重要な医療機器であることはご存知のとおりですが、全国的に見れば、まだまだ普及が進んでいないのだと、ワークショップ講演で感じました。患者様側から見れば、エコーは柔道整復師

施術所における唯一の画像観察装置であり、われわれ施術者側からも臨床に医科学的根拠をもたらす大切な医療機器であり、今後さらに普及し、柔道整復の発展に大きく寄与するものであると感じます。



エコー実習



顎関節脱臼整復法



外果骨折整復法実技



外果骨折固定法実技

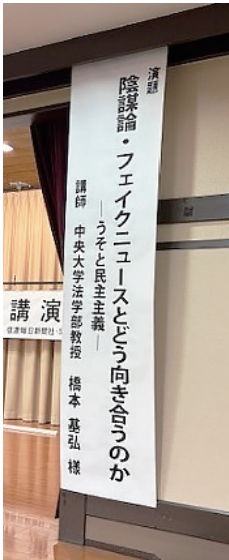


# 市民講演会 参加報告

## 演題「陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか」

### 中央大学法学部教授 橋本基弘先生の講演を聴講して…

北信支部 安藤 泰範



令和7年7月19日土曜日の午後、2025年度中央大学市民講演会が長野ターミナル会館にて中央大学白門会長野支部様により開催されました。以前までは、学術講演会として開催されておりましたが、広く長野市民の皆様に向けて開催するというご意向により、今年度より市民講演会と改称して開催されました。大学の法学部教授を毎年お招きし、素晴らしい講義を聴講することが出来るのは以前と変わらず、今年度においても、私も個人的に参加させていただきました。今回の演題は「陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか ―うそと民主主義―」というもので、中央大学法学部教授橋本基弘先生をお招きして開催されました。以下、講演内容です。

うそと日常生活、うそと無縁の人はいない。うそは禁止されなければいけないのか？許されるうそと許されないうその線引きはどこにするのか？「明らかに嘘だ。」と証明されない以上（もしかすると本当かもしれないと思う限り）、表現・言論する自由はあるのだろうか？これは法理論や制度論では片付けられない問題なのです。インターネット、SNSがもたらした革命は、誰しものが全世界に向けて発信ができる社会なのです。精査、検証を受けない表現・言論の拡散、匿名表現、AIによるディープフェイクの問題、これらはこの革命の副産物なのです。

フェイクニュースとは何か？それは偽情報

（デイスインフォメーション）と誤情報（ミスインフォメーション）の融合です。陰謀論とは何か？容易には呑み込めない出来事を「何者かの計画によるものだ。」として社会を理解しようとする営みです。したがって、これらのいわゆる情報騒乱は「ミスインフォメーション（誤情報）」、「デイスインフォメーション（偽情報）」、「マルインフォメーション（悪意ある情報）」の3つに大別できる。「フェイクニュース」は、過失か故意にかかわらず、間違った情報全般を指すので、デイスインフォメーションとミスインフォメーションの双方に相当するといわれるのです。

人間を「われわれ」と「やつら」に分け、敵と味方に分ける。その上で、「われわれ」が抱えている問題を「やつら」のせいにする。「こんなにわれわれが・・・であるのはやつらのせいだ。」とストーリー仕立てでその責任を押しつける。陰謀論のストーリーは単純だ。物事を二つに分け対立を煽る話は分かりやすい。だから、多くの人にアピールする力を持っている。私たちはストーリー仕立てで物事を理解するから、困難に直面した時に誰かのせいにして、その負のエネルギーを発散しようとする。人類は陰謀論に踊らされ、多くの過ちを犯してきたのです。「われわれ」は、その社会において多数者であることが多い。したがって、陰謀論は、多数者が少数者である「やつら」を抑圧する理屈として（あるいは大義として）用いられるのである。多数者にとって異質なものの、目障りなものを排除していくストーリーが陰謀論なのである。また、陰謀論は権力と戦う正義のヒーローを作り出すストーリーとして用いられるこ



ともある。架空の舞台を作り上げ、現実世界での立場を逆転させるのです。

しかし、世の中は二つに分けられるほど単純ではない。「われわれ」と「やつら」に分節できるほど単純でもない。陰謀であるのか、フェイクであるのか、極論であるのか、その存在はいずれも証明されることは少ないのです。証明できないことでも信じることは自由ではあるが、「**信じていることが真実である**」と考えるのはあまりにも傲慢ではないのでしょうか。何を信じていても自由ではあるが、**表現・言論の自由を武器化し、他者の尊厳を奪うことはもはや、それは自由ではないのです。**分かりやすいストーリーの先には落とし穴が待っているのです。敵と味方の二項対立の先には、必ずスケープゴートにされうる誰かがいることを忘れてはいけません。

小学校以来、私たちは「民主主義とは多数決で物事を決める仕組みだ。」と習ってきました。しかし、「**多数者は少数者を抑圧してはならない。**」というルールが守られてこそ、初めて民主主義は機能するのです。「声を上げられない者たちを攻撃することは卑怯だ。」ということを理解しなくてはならない。私たちは時々、「熱狂」する。しかし、この「熱狂」している時にこそ、「しらふ」に戻らなければならないのではないのでしょうか。

以上、橋本先生のご講演から私は、複雑な事象、あるいは困難で容易に理解しがたい事象について、ストーリー形式で単純化した話を判りやすくすることの困難さを痛感しました。これは、故意でなければ、あるいは間違った認識に従えば、フェイクニュースとして成り立ってしまうのだろし、悪意を含むかどうかは別とし

ても、故意であればもはや、それは陰謀論として成り立ってしまうのではないのでしょうか。マルインフォメーション（悪意ある情報と定義されますが、悪意が無くとも恣意的であれば、もはや、それはフェイクニュースの範疇を超えているのでは？と私は感じるのです。）として情報操作が行われている事象はイコール陰謀論になるのではないのでしょうか。

私たち柔道整復師もインターネット空間において、様々な真偽不明の情報にさらされ続けております。柔道整復師から見れば、明らかな虚偽であるとされる情報もまことしやかに、「われわれ」、「やつら（柔道整復師）」というストーリー仕立てで語られ、柔道整復師に対する情報操作がされていると感じております。

反論、反証できない状況において、表現・言論の自由を武器に柔道整復師を一方的ともいえる情報でその印象を操作することは、陰謀論ともいえるのではないのか。このようなことは、**どの業界、社会、個人でも身近に現在進行形で行われているのではないのでしょうか。**

「現代は情報に関するコストが人類史上最も低下した時代と言えるでしょう。情報は誰にでも、いくらでも入ってくるのだけれども、その処理装置を持つことは簡単ではないのです。これは現代社会が抱える大きな問題ですし、このギャップをなるべく縮めることを試みていかなければならないのです」（情報分析力 小泉悠 著引用）

「われわれ」に求められていることは、様々な真偽不明のインフォメーションをインテリジェンス（分析）する能力なのではないのでしょうか。

## 安曇野市 市制施行20周年記念式典

中信支部 木船 崇

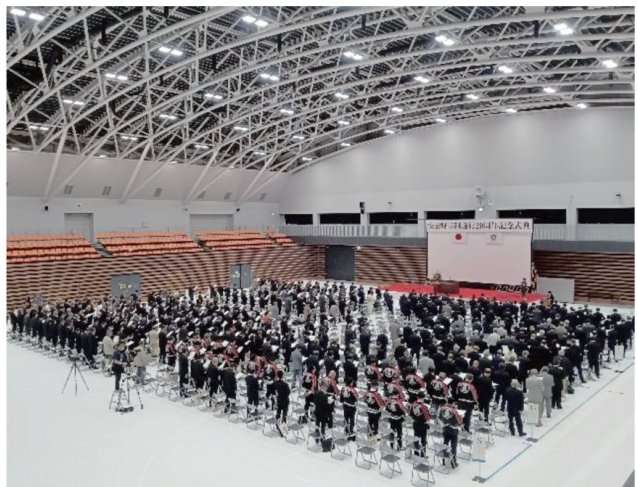
（公社）長野県柔道整復師会中信支部は、信州安曇野ハーフマラソン大会へ開催初年度より途切れることなく救護員として会員を派遣して参りました。その功績に対して安曇野市より感謝状が贈られることとなり、今回の式典に合わせて授与式が執り行われ、中信支部常任顧問である降旗秀徳県副会長が代表として出席しました。正式には柏木久明県会長が招かれていましたが、その大会に関しての貢献度を鑑み、降旗秀徳副会長の出席という形となりました。

安曇野市は豊科町・穂高町・明科町・三郷村・堀金村が合併して平成17年（2005）に誕生し、初代市長に平林伊三郎氏が就任し、2代目宮沢宗弘氏、現在は3代目の太田寛氏（令和7年11月28日急逝 投稿時後任未定）が安曇野市政の舵取りをしています。安曇野ハーフマラソンは平成27年6月が記念すべき第一回大会でした。大会が進むにつれ年々人気が高まり、五輪

メダリストのマラソンの有森裕子さんや柔道の篠原信一さんが安曇野市のスポーツ大使に就任するなど、益々盛況となっています。

令和7年9月28日（日）安曇野市豊科高家にある、ANCアリーナにて午前10時より式典は挙行されました。開式の言葉に始まり国歌斉唱と続き、厳かに進行。式典後半には豊科高校書道部による『書道パフォーマンス』で、「悠久」をなぞらえて「悠録」と大きく書き出され、その書画に会場から大きな拍手が送られました。柔道整復師会としてもイベント等を通じ市行政と関わり合いを持ちながら、地域に必要とされる団体となるように心がけ、次世代へつなげていければ良いと願っています。

当日は秋晴れが本場にさわやかで、まるで天からも受賞者の皆さまを祝っているかのようでした。閉式の言葉を持って式典は終了し、受賞者で記念写真を撮影し解散となりました。





# 長野県医師会様との親睦ゴルフコンペ

副会長 降旗 秀徳

2025年11月23日（日祝）穏やかに暖かく晴れ渡る晩秋の空のもと、松本カントリークラブに

て、長野県医師会の先生方4名をお迎えして親睦ゴルフコンペを開催しました。

スタート		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
1組	9:10	野邑 敏夫	前澤 毅	柏木 久明	宮下 厚
2組	9:17	田中 昌彦	塩ノ崎 文博	西條 賢治	降旗 秀徳

（敬称略）



競技終了後はコンペルームにて談笑の中、アップルパイのケーキセットで表彰式を行ない、優勝は医師会 田中昌彦常務理事、準優勝 宮下厚副会長、3位に医師会 塩ノ崎文博常務理事、BB賞 西條賢治副会長でした。来年度は春と秋に2回親睦ゴルフを行ないましょうとお約束して閉会と致しました。

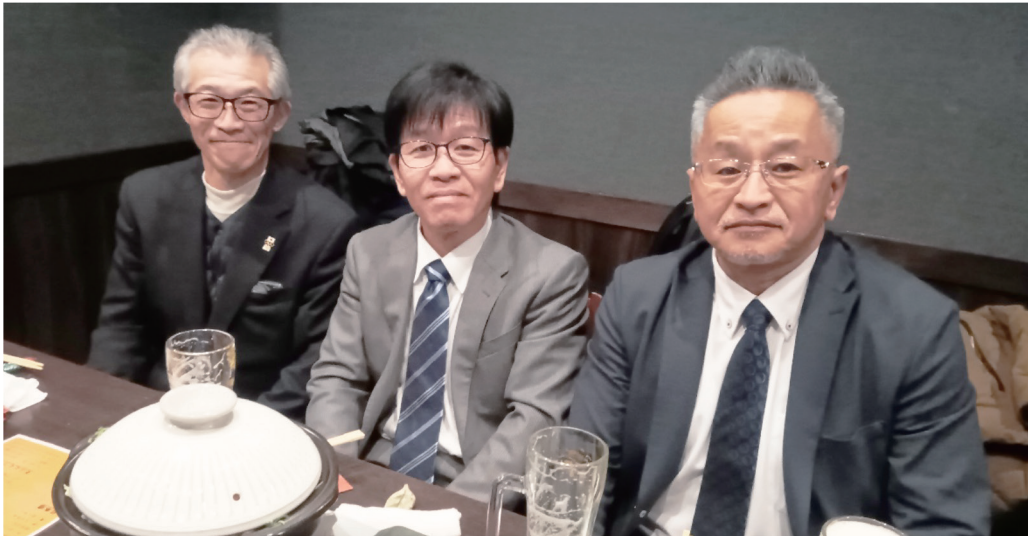




## 懇親談話会

中信支部長 木船 崇

令和7年12月14日（日）、中信支部学術大会終了後に標記の会が開催されました。毎年学会へアドバイザーとして出席して頂いている中信支部外部顧問であると同時に、この学会顧問でもあるドクターのお二人と、その年の講演会講師をお招きし、医師との懇親を深める場として毎年企画されています。



小林博一先生（学会顧問）林正徳先生（学会講師）磯部研一先生（学会顧問）



降旗秀徳中信支部常任顧問による乾杯の挨拶



吉澤貴史中信支部学術部長（右端）

出席者が出揃い、降旗秀徳中信支部常任顧問の乾杯の発声により楽しい宴が始まりました。皆さんの杯の進み具合が素晴らしい（笑）。私は今回初めて学会実行委員長として参加をさせて頂きましたが、医師のみなさま方と今後も連携を図り、次代へ繋げていくことを改めて認識したところです。宴たけなわとなったところで最後の締めを支部長がやれとの掛け声があり、僣越ながら私が務めさせて頂きました。

「みなさまのお手を拝借！ よう～～ パン！」

出席いただいた3名のドクターと会員みなさま、愉快的ひと時をありがとうございました。

日本にとって、令和8年が素晴らしい年となりますように…。



## ご挨拶

---

北信支部 さえき整骨院 佐伯 総太

昨年の11月 5日から長野市篠ノ井布施五明で開院いたしました「さえき整骨院」の佐伯総太と申します。

私は、小学校から高校まで、野球に打ち込んでいました。その時に怪我で整骨院に通院したことで、身体の調子も良くなり、柔道整復師という資格を知りました。また、スポーツ現場で捻挫などの怪我を施術する柔道整復師の先輩方の素晴らしい技術を目の当たりにし、柔道整復師を目指しました。

3年間通学した専門学校のご紹介により卒業後、地元北信の酒井整骨院で10年間研修させていただきました。

今は亡き恩師、酒井正彦先生は厳しく、時には優しく指導していただきました。施術の仕

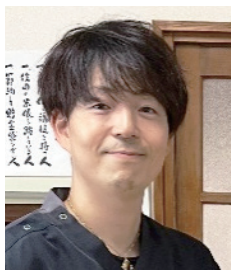
方、患者さんへの接し方など沢山学ばせていただきました。

昨年11月に開業させていただき仕事をする中、酒井先生に教えていただいたことが、常に思い出されます。

今は教えていただいた事を深く胸に刻み込み、微力ではございますが、患者さんの健やかな生活のため、日々、精進し努力していく所存でございます。

まだまだ至らぬ点が多々あるかと思いますが、長野県柔道整復師会の諸先輩先生方に少しずつ近づけるよう精一杯頑張ってお参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。





## ご挨拶

北信支部 すのはら整骨院 **春原 大樹**

令和6年9月に約14年間、修行させていただいた「柴田整骨院」を引き継ぐ形で須坂市高梨町（柴田整骨院の隣地）に開業いたしました、春原大樹と申します。

祖父、父が整骨院を営んでいた事もあり、私には幼い頃から「整骨院」、「患者様」がとても身近な存在でした。

学校の帰り、父の所に遊びに行くような感覚で施術室に顔を出し、父への“ただいま”と患者様への“お大事に”が私の日常でした。私は中学、高校とバスケットをしており、怪我をすると父の施術を受けていました。

施術する父の姿、喜んで“ありがとう”と、帰っていく患者様。その様な光景を見て私もこの道を志し、信州医療福祉専門学校（現 信州スポーツ医療福祉専門学校）へ進学しました。

卒業後1年ほど父の元で研修をし、ご縁があり柴田会員を師事し、約14年間お世話になりました。

施術技術のみならず、施術に臨む姿勢、日々の心持ちなど、今の私があるのは、師である柴田会員のお陰です。

本当にありがたい事に、開業して間もない私の所に、柴田整骨院を頼りにしていた患者様が多く通っていただいております。師匠から受け継いだこと、祖父や父を見て志した気持ちで、患者様に寄り添い“ありがとう”と喜んでいただける様、日々精進していきたいと思います。

開業間もなく至らずご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、長野県柔道整復師会の諸先輩方、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





## ご挨拶

中信支部 神田整骨院 碓井 裕平

はじめまして。松本市の神田整骨院、碓井裕平（うすい ゆうへい）と申します。

私は平成24年5月から松本市の神田整骨院に勤務し、令和7年7月末に前院長の神農厚会員が引退され、この度、神田整骨院を引き継ぐ事になりました。

私は幼少の頃より柔道を習っており、練習中の怪我で頻繁に近所の整骨院に通院しており、そのような経験があったため柔道整復師を志す事を決めました。

東京の専門学校に入学し、在学中から整形外科と接骨院で研修させていただき、柔道整復師

の免許を取得後も、東京で研修を続け退職後に縁があり、神田整骨院で研修させていただくこととなりました。

神田整骨院では、13年間研修し、整骨院のノウハウを学び、今までの勤務経験の中で培ってきた神田整骨院の良い点は残しつつ、私自身の個性も加え、神田整骨院に通院される患者様や地域の皆様に親身になって寄り添いながら、健康維持に少しでもお役に立てられるように、日々精進して行きたいと思っております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。





## ご挨拶

中信支部 本庄泉の森整骨院 西脇 歩

はじめまして。このたび、新施術所開院に伴い「本庄泉の森整骨院」の院長を務めさせていただくことになり正会員となりました西脇歩と申します。

これまで当院は前院長・神農来洙会員のもと、地域の皆様の健康を支え、多くの方々に親しまれてまいりました。このたび前院長が新施術所へと拠点を移され、私はその後を引き継ぎ、本庄泉の森整骨院をさらに地域の皆様に信頼していただける整骨院として発展させていきたいと考えております。

私は柔道整復師としての臨床経験とともに、パワーリフティング・ベンチプレス競技の選手として国際大会への出場経験もあり、競技を通じて体の使い方やケガの予防、コンディショニングの重要性を学んでおり、その経験を活かし

て施術に取り組んでおります。

スポーツによるケガの施術はもちろん日常生活でのアクシデントによる不調も根本より見直していただき、再発防止へのお声がけをさせていただきつつ、日常生活の中で感じる体のトラブルにも丁寧に傾聴し、患者様一人ひとりに寄り添い施術をしております。また、地域の健康づくりイベントやスポーツ教室、介護予防活動などへの関心もあり、機会を整え介入できたらと患者さまの健康づくりをサポートするため考えております。

皆様の笑顔と元気のために全力で努めてまいりますので、どうぞ今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





## 自己紹介

南信支部 稲岡鍼灸接骨院 **奥村 崇宏**

私は妻との結婚を機に婿養子となり、義父が開業している稲岡鍼灸接骨院を継ぐために、31歳まで金融業の仕事をしていましたが脱サラをし、第一子が生れたタイミングで、単身で名古屋の専門学校に入学しました。

13歳年下の同級生と人生2回目の学生生活を送り、柔道整復師の国家資格を取得することができ、全国柔道整復学校協会の優秀卒業生として表彰されました。

稲岡鍼灸接骨院で3年間働き、これまで賛助会員として活動してきましたが、4年目の令和6年10月から接骨院を継承し、長野県柔道整復

師会の正会員となりました。

小学生の時は野球、中学・高校はサッカーをしており、怪我が多かったため、よく接骨院にお世話になっていましたが、まさか自分が施術者になるとは思ってもいませんでした。

地元では消防団員を17年、壮年団員を8年しており、現在も在籍して地域貢献をしておりま。今後とも信頼される柔道整復師となるべく、また諸先輩たちに早く追いつけるよう日々精進して参りますので、これからも何卒ご指導のほどよろしくお願い致します。







## 「継ぐ」

南信支部 いいだ整骨院 原 友仁

この度、正会員として改めて入会させていただきました、飯田市の「いいだ整骨院」原 友仁（はら ともひと）と申します。

これまでは賛助会員として活動しておりましたが、昨年、前院長であった父の急逝に伴い整骨院を継承し、院長として新たな一步を踏み出してから、早くも一年が経とうとしております。

賛助会員として入会した当時は、まだ父の背中を追いながら、現場で経験を積む毎日でした。その中で、会員方から温かいご指導や励ましのお言葉を頂き、多くを学ばせていただいたことに、心より感謝申し上げます。

父が病に倒れたときには、「自分に継承する資格があるのか」「本当に務まるのか」と葛藤し、父が他界してからは、会員方や患者様から伺う父の人柄や活動の数々、そしてふとした瞬間に思い出す父の言葉に、何度も胸が熱くなり

ました。

今でも迷いが生じたときは、父の写真の前で自身の気持ちを問いかけながら整え、日々の業務に取り組んでおります。

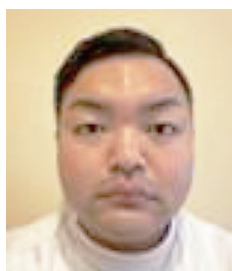
父や会員方が地域に根ざし、信頼される柔道整復師として長年努めてこられた姿を間近で見てきたからこそ、その責任と重みを、改めて強く感じております。

突然の継承でしたが、父が築いてきた「いいだ整骨院」を守り、地域の皆さまにより一層貢献できるよう誠実に、そして丁寧な患者様と向き合っています。

まだまだ未熟ではございますが、会員方のご指導を仰ぎながら、柔道整復師として、人として、一層の成長を目指し、日々精進してまいります。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。





## ご挨拶

南信支部 増澤接骨院 増澤 孝信

令和7年8月1日より、父から増澤接骨院を継承し、院長に就任いたしました増澤孝信と申します。

高校卒業後は東京の専門学校へ進学し、柔道整復師の資格を取得しました。資格取得後は東京・築地の接骨院にて約8年間経験を積み、平成28年に生まれ故郷である岡谷市へ戻り、両親と共に増澤接骨院で地域の皆さまの健康維持に努めてまいりました。

地元に戻ってからは、消防団や地域の各種団体の活動にも積極的に参加し、多くの方々とのつながりを大切にしていまいりました。患者さま

一人ひとりのご縁を大切に、地域に根ざした信頼される院を目指しております。

趣味は溪流釣りで、自然の中で過ごす時間が心のリフレッシュとなっています。また、最近では筋力トレーニングにも取り組み、心身を鍛えることが施術の質の向上にもつながっていると感じております。

まだまだ未熟な点も多いですが、これまで支えてくださった地域の皆さまへの感謝を忘れず、技術と人間性の両面で成長していけるよう日々精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



# 会 務 報 告

令和7年1月～令和7年12月31日現在

## 新入会員

支部	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入会年月日	備考
北信	浦 野 紗 弥 香	388-8011	長野市篠ノ井布施五明3146	賛助会員	R7.4.1	
北信	静 谷 真 佑	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	R7.4.1	
北信	廣 野 は る な	381-0024	長野市大字南長池440-9	賛助会員	R7.7.1	
北信	牧 口 空 生	380-0803	長野市三輪1313-1	賛助会員	R7.8.1	
中信	本 郷 浩 希	399-0035	松本市村井町北1-4-28	賛助会員	R7.2.1	
中信	木 谷 那 津	399-0744	塩尻市大門1080-1	賛助会員	R7.5.1	
南信	小 尾 一 弥	394-0032	岡谷市若宮2-4-4	賛助会員	R7.4.9	

## 会員の異動

支部	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	異動年月日	理由
東信	田 中 健 司	386-0027	上田市常盤城5-6-6	正会員	R7.3.1	退会
東信	磯 部 明 弘	385-0021	佐久市長土呂904-1	正会員	R7.3.31	退会
北信	村 山 高 之	387-0007	千曲市屋代778-13	正会員	R7.4.30	退会
北信	小 林 竜 太 郎	380-0816	長野市三輪1313-1	正会員	R7.4.30	退会
北信	萩 原 明 里	380-0816	長野市三輪1313-1	正会員	R7.5.1	賛→正
北信	石 田 拓 未	381-2224	長野市川中島町原1372-1	正会員	R7.6.30	退会
北信	高 橋 秀 樹	388-8008	長野市合戦場2-143-4	正会員	R7.11.30	退会
北信	中 澤 袈 裟 春	381-2221	長野市川中島町御厨1074-4	正会員	R7.12.31	退会
北信	金 児 仁	388-8014	長野市篠ノ井塩崎3639-9	正会員	R7.12.31	退会
中信	磯 部 栄 二	390-0874	松本市大手4-8-13	正会員	R7.3.31	退会
中信	三 間 慎 一 郎	399-7102	安曇野市明科中川手3774	正会員	R7.4.1	賛→正
中信	神 農 厚	380-0821	松本市筑摩4-21-7	正会員	R7.7.31	退会
中信	碓 井 裕 平	390-0821	松本市筑摩4-21-7	正会員	R7.8.1	賛→正
南信	木 下 正 人	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪11994-4	正会員	R7.2.17	退会
南信	増 澤 孝 信	384-0023	岡谷市東銀座2-13-20	正会員	R7.8.1	賛→正
南信	平 沢 俊 秀	399-4301	上伊那郡宮田村131-7	正会員	R7.8.31	退会
北信	竹 節 真 人	383-0042	中野市西条564	賛助会員	R7.3.31	退会
北信	小 林 聖	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	R7.4.1	退会
北信	山 田 浩 正	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	R7.4.1	退会
北信	滝 沢 将 太	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	R7.6.30	退会
北信	柳 瀬 了	380-0024	長野市大字南長池440-9	賛助会員	R7.6.30	退会
北信	丸 山 正 夫	389-1211	上水内郡飯綱町牟礼502-1	賛助会員	R7.12.31	退会
中信	三 間 敕 義	399-7102	安曇野市明科中川手3774	賛助会員	R7.4.1	正→賛
中信	倉 田 奨 陽	399-0745	塩尻市大門桔梗町2-3	賛助会員	R7.7.31	退会
南信	両 角 友 紀	394-0032	岡谷市若宮2-4-4	賛助会員	R7.3.31	退会
南信	増 澤 誠 司	394-0023	岡谷市東銀座2-13-20	賛助会員	R7.8.1	正→賛





2025年12月現在の内容です。

AIG 損保

長野県接骨師協同組合のみなさまへ

## 集団扱自動車保険のご案内

### 集団扱自動車保険の特長

- ① 一般の契約でご加入されるより保険料が**約5%お得!** ※1
- ② ご契約時は、**キャッシュレス!**
- ③ 自動車保険の**ノンフリート等級・事故有係数適用期間はそのまま継承** ※2!
- ④ **ご家族 ※3 の自動車も集団扱自動車保険で  
ご加入可能!**
- ⑤ 保険期間が**1年超(2年または3年)の契約にも適用!**

※1 一括払でも12回払でも一般の自動車保険より約5%お得です。  
※2 一部等級を継承できない共済があります。  
※3 ご家族とは、ご契約者の配偶者および“ご契約者またはその配偶者”の同居の親族・別居の扶養親族をいいます。

こんなに  
お得

さらに  
割引

弊社で初めて自動車保険にご加入いただく場合 ※1  
保険期間の開始日より1か月早くご契約いただければ  
**「早期契約割引」**を適用できます。

保険料が **約3% ※2 OFF!**

※1 純新規(保険料の割引・割増を継承する他の保険契約がない契約)、または他社からのご契約の場合をいいます。  
※2 ご契約条件によっては3%割引にならない場合があります。また、適用に関しては条件があります。  
(注) 保険期間が1年超(2年または3年)の契約にも適用できます。

**休日・深夜の事故でも安心!**  
**24時間・365日、平日同様に  
事故受付および初期対応サービス※を行います!**

※ 初期対応サービスとは、「相手の方への連絡」「代車の手配」「病院への手配」などをいいます。  
(注) 事故状況などによっては、初期対応サービスをご提供できない場合があります。

いつも  
安心

●この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレット等をご覧いただくか、取扱代理店・扱者または弊社にお問い合わせください。  
また、ご契約に際しては、保険商品についての重要な情報を記載した重要事項説明書(「契約概要」「注意喚起情報」等)を、事前に必ずご覧ください。

●引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約締結の代理権を有しています。

【引受保険会社】

**AIG損害保険会社**

03-6848-8500

午後9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)



<https://www.aig.co.jp/sonpo>

お問い合わせ・お申し込みは

代理店：メットライフ生命(株)長野エイジェンシー オフィス 松本明彦  
〒380-0824 長野県長野市南石堂町1293 長栄南石堂ビル4F

TEL 026-268-1011 FAX 026-223-0031



(D-008023 2026-12)

湿熱感覚ホットパック

湿熱+セラミック温熱により血行をよくする

# カナホット モイスト

日本製

## 気持ち良さには理由がある

- 1.湿熱の特殊カバー
- 2.赤外線を出すセラミック板
- 3.大型パックであるゆる曲線にフィット
- 4.最大80Wの省エネ設計

湿熱感を持続させる  
特殊カバーを使用

### カナホットモイスト

KB-248 54,000円(税込59,400円)

(クラスII) 認証番号 16300BZZ01121000

- 定格電圧：AC100V (50/60Hz)
- 消費電力：80W
- 時間設定：60タイマー(ゼンマイ式)
- 温度設定：40℃以上70℃以下(自動調整)
- 寸法重量：本体サイズ 約380mm×620mm 重さ 約900g  
カバーのサイズ 約430mm×730mm 重さ 約500g
- 安全装置：本体内蔵サーモスタット

内容物  
本体(パック)、  
電源スイッチ(60分タイマー)、スベアーカバーを含む2枚、  
取扱説明書(保証書添付)、添付文書、ユーザー登録はがき

KANAKEN

## Biomini II

— バイオミニ II —

- 定格電圧：DC5V、単三形乾電池4本、専用ACアダプタ UCB312-0520 (入力 AC100V)
- 定格消費電力：0.3W
- 寸法：(高さ)37.1mm×(幅)223.5mm×(奥行)124.6mm
- 重量：290g
- 最大出力電流：2mA rms (1000Ω 負荷時)
- 定格出力電圧：12.6Vp-p (1000Ω 負荷時)
- 出力周波数：0.27~333Hz
- パルス幅：1ms~1850ms
- 出力波形：パルス波
- 出力チャンネル数：2チャンネル
- 治療時間：15、20、35分
- 使用環境条件：温度 10~40℃、湿度 30~75%、気圧 700~1060hPa
- 安全装置：ゼロスタート方式、電源スイッチ、出力レベルDOWNスイッチ
- 適合規格：JIS T2003 2011

### バイオミニ II

KE-562 本体価格 154,000円(税込 169,400円)

クラス II/特管 認証番号：226AFBZX00071000

マイクロカレント  
微弱電流

4つのモードから選ぶ  
簡単操作!!

こり 痛み 美肌(再生) 疲労(リンパドレナージュ)

体のIC回路を調整



### 付属品

粘着導子 KE-549E 2,200円(税別)

オクトパスコード KE-509K 12,000円(税別)

ワニ口アダプター KE-563A 2,880円(税別)



設立 1971年

株式会社 カナケン

本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39  
TEL 045-901-5471 FAX 045-902-9262

大阪営業所：TEL 06-6935-3016

新潟営業所：TEL 025-286-0521

福島営業所：TEL 024-961-7211

仙台出張所：TEL 022-287-6273

FAX 06-6935-3017

FAX 025-286-8870

FAX 024-961-7221

FAX 022-287-6218

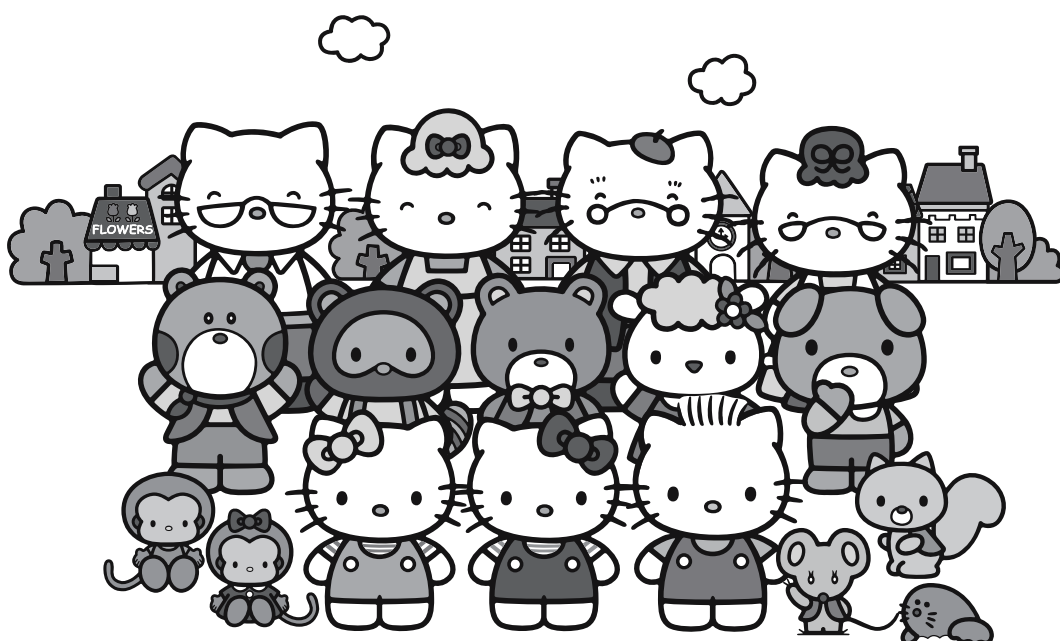


オンラインショップ

公式サイトはこちら

<http://e-kenkou.jp/>

フコク生命は、  
「ハローキティ」とともに  
夢と安心をあなたにお届けします!!



# Hello Kitty

© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L660292  
「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 松本支社

〒390-0874 松本市大手 2-3-18 松本フコク生命ビル 6F TEL : 0263-32-1963

人と人の間に  
**フコク生命**  
THE MUTUAL

登 広-045-0105(2026.1.31)



おかげさまで  
創業10周年

# 特別感謝価格

デモ体験をされた方に  
飲むO<sub>2</sub>サブリ  
プレゼント!

詳しくはお問い合わせ  
ください。

当社取扱商品は安心の日本製! 保証付き!!

高気圧酸素で疲労回復&健康寿命をサポート。トッパスリートも採用!

**酸素ルーム O<sub>2</sub>Room®**  
治療院や企業の福利厚生、一般家庭まで  
幅広く導入可能!



メーカー認定  
代理店

(一社)日本気圧メディカル  
協会認定  
健康気圧マスター取得

- 疲労回復
- ケガの早期回復
- 美容効果
- 睡眠の向上
- 免疫力の向上
- リラクゼーション

酸素ルームの  
効果を紹介する  
動画です。  
こちらもご  
覧ください。



**酸素カプセル**

シングルベッドと同スペースで設置可能。  
美容から健康までサポート!



※1: 当社以外で導入された方は、  
別途保守契約にて対応いたします。

デモカーにて各種無料体験可! 要予約 お気軽に下記までお電話ください。 ※日程によりお時間をいただく場合がございます。

NEW

ラジオ波による温熱療法

ユーフォーリア  
**Yuphoria RF**

全身温浴マッサージ器!

- 手足をプレートに乗せるだけ
- 完全自動のオペレーション
- スパークを防ぐ安全機構
- 免疫力の向上
- 血流改善
- 自律神経調整



体温を  
上げると  
健康効果  
UP!

NEW

ウォーターリラクゼーションベッド

アクア ヴィーナス  
**Aqua Venus**

省電力・ハイパワー&コンパクト!

- 水圧振動刺激
- ターボファン技術の特殊ノズル
- 筋膜リリース
- リンパ液の流れを促進
- 軽量化で移動もラクラク
- 家庭用100VでOK



深い  
リラクゼー  
ション!

200Vの最新AI搭載機も  
ございます!  
(デモカーにて無料体験可)

今話題の水素吸入器

スライブ  
**Suilive SS-300+**

- 水素発生量300ml/min
- 血行促進・免疫力アップ
- 悪玉活性酸素排除
- 先進医療Bに認定



免疫の  
活性化!

水素吸入器の  
効果を紹介する  
動画です。  
こちらもご  
覧ください。



レンタル料金  
**19,800円/月**  
**29,800円/月**  
※初期導入費9,900円  
※いつでも解約可能  
ご相談ください

急性症状に『冷やす』電気

マトリクスウェーブHV  
**MATRIXWAVE-HV**

- 次世代型直流電気刺激装置
- 神経・筋肉・関節の深部までケア
- 急性外傷やトレーニング、  
可動域改善など様々な分野に適応

服を着た  
ままでも  
OK!

マトリクス  
ウェーブHV  
(4CH)



マトリクス  
ソーマ  
(2CH)



■お問い合わせ

健康機器販売

**JCM**

TEL: 090-4158-3456 (代表 立川)  
Mail: n.tachikawa@ngn.janis.or.jp

詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください▶▶▶



## Aplio air

小型・軽量・ワイヤレス。  
1台でリニアとコン  
ベックスの2Way。約  
70分駆動可能なバッ  
テリー搭載。



■製造販売元：キヤノンメディカルシステムズ株式会社  
■認証番号：306ACBZX00021000

## FAMUBO-D

小型可動式でリーズナ  
ブルな「FAMUBO」  
シリーズにカラードッ  
プラー機能が付いた  
「FAMUBO-D」



■製造販売元：株式会社誠鋼社  
■認証番号：304AKBZX00002000

多様なニーズに応えるタブレット&コンパクト超音波を充実展開。  
最適な1台をエス・エス・ビーから。

## KOSMOS

Lexsaリニアプローブ  
は筋骨格のアプリケー  
ションで最適化された  
表在イメージを提供。



■外国指定管理医療機器製造等事業者：ECHONOUS, INC. [米国]  
■選任製造販売業者：有限会社ユーマンネットワーク  
■認証番号：306AIBZI00001000

## ポケットエコー miruco CL5

導入しやすい価格帯で、  
日々の施術に役立つ基本機  
能を搭載したケーブルレス  
ポケットエコー。



■製造販売元：日本シグマックス株式会社  
■認証番号：306AFBZX00100000

**Sun** 株式会社 サンメディカル

### エレサス

ケガを治すだけでは  
なく、違和感などアウ  
トプットの正常化が可  
能。



### ハイチャージ ネオ

身体にエネルギー  
チャージする事でリカ  
バリーから修復スピー  
ドのアップまで幅広く  
対応可能。



### エレクトロ アキュスコープ80L

ケガを治すだけ  
ではなく、違和感  
などアウトプット  
の正常化が可能。



治療器も幅広く取り扱い開始！まずは体験デモを！

**SEIKOSHA**  
Innovative Republic

### RAFOS Trainer

コンパクトでも脅威のハ  
イパワー！立ち上がり10  
秒の高速熱到達！ラジオ  
波で唯一のポータブルタ  
イプ！



### RAFOS Black Physio

充実のセット内容でラジオ波の施  
術をこれ1台で！筋膜リリース(筋  
膜の周りのほぐしをサポートする)  
を効率的に行います！優れた熱制  
御と静音性を考慮した設計！



**SSB** 株式会社 エス・エス・ビー

茨城県つくば市榎戸748番地2 沼尻産業ビル

《お問い合わせ》 音声ガイダンス【4】(受付時間/月~金 9:00~17:30)

**TEL 029-839-0346**

<https://www.sanshiro-net.co.jp/> エス・エス・ビー 検索



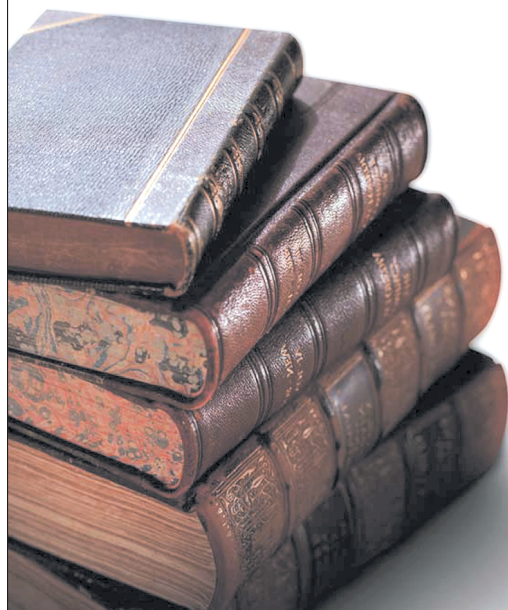


地元密着型の印刷パートナー  
あなたのビジネスをサポート



### 印刷のご相談はお気軽に当社へ！

名刺から広報誌まで、  
あなたのビジネスを支える印刷の力！  
まずはご相談ください。

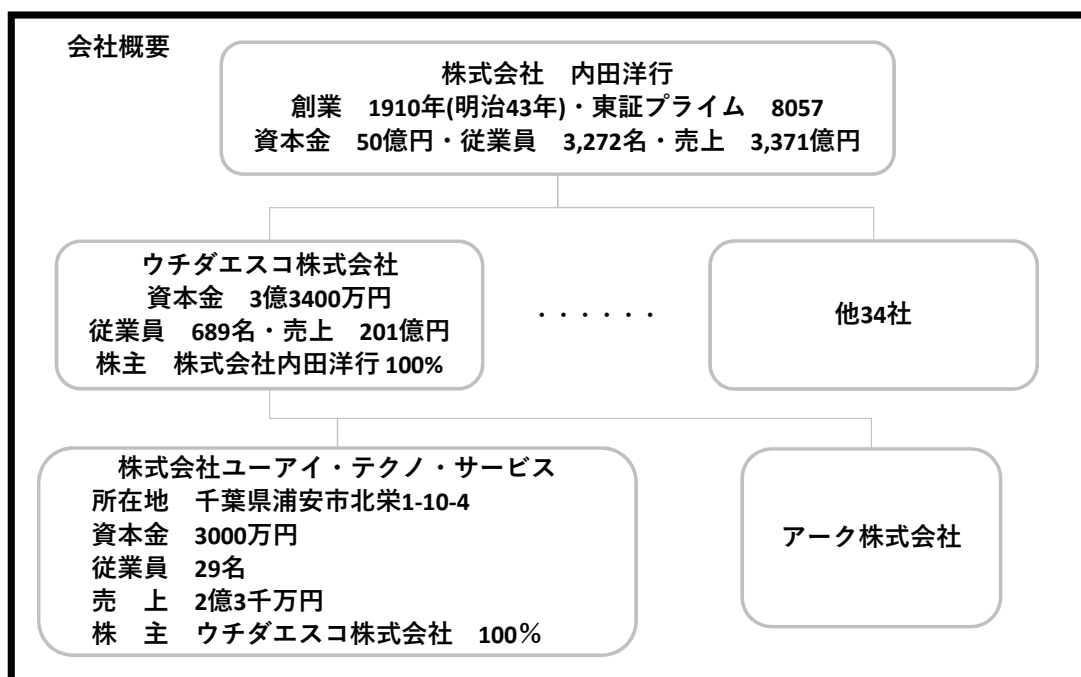


 **明和印刷株式会社**

〒381-0037 長野県長野市西和田 1-30-3  
TEL.026-219-3026 FAX.026-219-3027  
E-mail [info@meiwa-ms.co.jp](mailto:info@meiwa-ms.co.jp)  
URL <http://www.meiwa-ms.co.jp>



株式会社内田洋行のグループ企業です



複雑な事務処理からの解放！！  
お客様とともに改良を重ねてきたレセコン

**レセプト太郎**

1,800院以上の  
導入実績が  
あります！

レセプト太郎導入の3つのメリット

1.低価格

お見積り作成は無料で行いますので、他社との価格比較をお願いいたします。  
是非お気軽にお見積り作成依頼をお願いいたします。



2.安心のサポート体制

レセコンでわからないことは、専用のフリーダイヤルにご連絡ください！！  
遠隔サポートで遠方のお客様も安心してご利用いただけます！！



3.簡単入力

保険証登録、負傷名来院入力は入力する項目を極力減らし、簡単に運用することができます！



【お問合せ先】 株式会社ユーアイ・テクノ・サービス

〒279-0002 千葉県浦安市北栄1-10-4

TEL 047-305-8551 FAX 047-355-2331

担当：営業部 小川：TEL 090-3814-0544



## ほねつぎ第116号発行予定日と締切予定日

### ▶投稿される方へのお願い◀

1. Wordで作成された原稿・写真はU S Bメモリーに書き込みお送りいただくか、E-mailの貼付ファイルで送信してください。
2. 原稿にテーマ・タイトル・支部名・氏名など記載していただき、提出してください。
3. 寄稿者の顔写真も貼付してください。
4. 投稿用写真には必ず説明文を記載してください。

業界の年鑑となるよう様々な情報・事業報告・ご提言等多くお寄せください。

原稿締切	◆2026年12月10日◆
宛先	(公社)長野県柔道整復師会 広報部宛
電話	026-224-6800      ファックス      026-224-7575
Mail address	chousei@orion.ocn.ne.jp
発行予定日	2027年1月

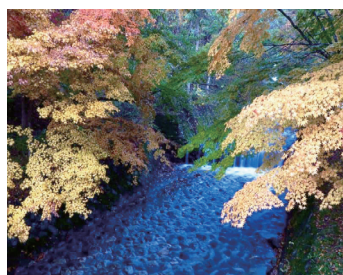
### ▶編集後記◀

「広報ほねつぎ」115号をご覧いただきありがとうございます。今号では特集記事として、部活動の地域移行について取り上げました。現在移行している最中であり、まだ不確定要素も多い状況ではありますが、本会が長年行っている中体連の大会への救護ボランティア活動等にも関連する事案ですので、引き続き注視していきたいと考えております。

また本誌は今号より、予算状況やペーパーレス化など様々な観点から、会員の皆様には本会ホームページから閲覧していただく、という新たな形をとる事に致しました。何卒ご理解を賜りますとともに、むしろホームページを閲覧する機会が増えるきっかけになれば、と期待しております。ホームページ自体も、今までよりもさらに内容を充実させるべく検討してまいりますので、皆様から忌憚のないご意見を頂戴できれば有難く存じます。

最後に本誌作成にあたり、原稿をご執筆いただいた皆様、編集に携わった広報部、日頃より本誌に加え内報誌作成にもご尽力をいただいております本会事務局の皆様に、心より御礼を申し上げますとともに、令和8年もますます皆様のご活躍されることを祈念いたしまして、編集後記とさせていただきます。

東信支部 浅川 健一



### 表紙写真の説明

#### 「牛伏川フランス式階段工の紅葉」

松本市を流れる牛伏川に整備された「牛伏川フランス式階段工」。本写真は、溪流沿いに広がる紅葉と、階段状に連なる石組みを水が静かに流れる情景を写した一枚です。治水と景観の調和を目的として築かれたこの構造物は、自然と人の知恵が共存する象徴ともいえます。

環境と向き合いながら、患者様の身体の回復と調和を支える柔道整復師の姿勢を重ね、本号の表紙としました。

公益社団法人長野県柔道整復師会機関誌  
広報 ほねつぎ（第115号）

発行所 長野市大字安茂里字伊勢宮2167-9  
公益社団法人 長野県柔道整復師会

発行 令和 8 年 1 月 末日

発行人 柏 木 久 明

編集責任者 木 船 崇

印刷所 明和印刷株式会社



